スキーマリファレンスマニュアル

Sun™ONE Messaging and Collaboration

iPlanet™ Messaging Server 5.2; Sun ONE Calendar Server 5.1.1

2002 年 8 月
816-6451-10

Copyright © 2002 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Sun™、Sun Microsystems™、Sun™ ONE、Sun のロゴマーク、および JavaScript™ は、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標、または登録商標です。UNIX® は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。Netscape™ および Netscape N のロゴマークは、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation の登録商標です。その他の Netscape のロゴマーク、製品名、およびサービス名は、米国の Netscape Communications Corporation の商標であり、国によっては登録商標になっている場合があります。

Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

本書で説明されている製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布、および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。Sun Microsystems, Inc. および該当するライセンス所有者による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本書は「現状のまま」をベースとして提供され、すべての明示または黙示の条件、事実の表明、および商品性、特定目的に対する適合性、版権の黙示保証を含む保証については、責任の否認が法的に無効である場合を除き、当事者は一切の責任を負わないものとします。

目次

本書について **11**
対象読者 11
お読みになる前に 12
内容の紹介 12
表記上の規則 13
　モノスペースフォント 13
　太字のモノスペースフォント 13
　斜体フォント 13
オンラインでこのマニュアルを入手するには 13

第 1 章 概要 **15**
基本データモデル 15
iPlanet Messaging Server スキーマの概要 16
　メール宛先 17
　個人アドレスブック 18
　ホストドメインおよびドメイン組織 19
　管理の委任 20
Sun ONE Calendar Server スキーマの概要 21
　カレンダーオブジェクトクラスおよびその属性 21
　ディレクトリ情報ツリー (DIT) レイアウト 23

第 2 章 オブジェクトクラス **25**
オブジェクトクラスのリスト 25
オブジェクトクラス 27
domain 27
groupOfUniqueNames 28
icsAdministrator 28

icsCalendarDomain 29
icsCalendarDWPHost 30
icsCalendarGroup 30
icsCalendarResource 31
icsCalendarUser 32
inetAdmin 32
inetDomain 33
inetDomainAlias 34
inetDomainAuthInfo 34
inetDomainOrg 35
inetLocalMailRecipient 36
inetMailAdministrator 36
inetMailGroup 37
inetMailGroupManagement 38
inetMailUser 39
inetManagedGroup 40
inetOrgPerson 40
inetResource 41
inetSubscriber 42
inetUser 42
ipUser 43
mailDomain 44
msgVanityDomainUser 45
nsManagedDept 45
nsManagedDeptAdminGroup 46
nsManagedDomain 47
nsManagedFamilyGroup 47
nsManagedISP 48
nsManagedMailList 48
nsManagedOrgUnit 49
nsManagedPerson 49
nsUniquenessDomain 50
pab 51
pabGroup 52
pabPerson 52
userPresenceProfile 53

第 3 章 属性 55
属性のリスト 55
属性の定義 62
adminRole 62
aliasedObjectName 63
businessCategory 63

calCalURI 64
calFBURL 65
cn 65
co 66
commonName (「cn」を参照) 67
countryName (「co」を参照) 67
dataSource 67
dateOfBirth 67
dc 68
description 69
domainUidSeparator 69
domOrgMaxUsers 70
domOrgNumUsers 71
facsimileTelephoneNumber 71
givenName 72
icsAdminRole 72
icsAlias 73
icsAllowedServiceAcess 74
icsAllowRights 76
icsAnonymousAllowWrite 77
icsAnonymousCalendar 77
icsAnonymousDefaultSet 78
icsAnonymousLogin 78
icsAnonymousSet 79
icsCalendar 79
icsCalendarOwned 80
icsCapacity 80
icsContact 81
icsDefaultAccess 81
icsDefaultSet 82
icsDomainAllowed 83
icsDomainNames 84
icsDomainNotAllowed 84
icsDoubleBook 86
icsDWPBackEndHosts 87
icsDWPHost 87
icsExtended 88
icsExtendedDomainPrefs 88
icsExtendedGroupPrefs 89
icsExtendedResourcePrefs 89
icsExtendedUserPrefs 90
icsFirstDay 94
icsFreeBusy 94

icsGeo 95
icsMandatorySubscribed 95
icsMandatoryView 96
icsPartition 96
icsPreferredHost 97
icsQuota 98
icsRecurrenceBound 98
icsRecurrenceDate 99
icsRegularExpressions 99
icsSessionTimeout 100
icsSet 100
icsSourceHtml 102
icsStatus 102
icsSubscribed 103
icsTimezone 104
inetCanonicalDomainName 105
inetCOS 106
inetDomainBaseDN 106
inetDomainCertMap 107
inetDomainSearchFilter 107
inetDomainStatus 109
inetMailGroupStatus 110
inetResourceStatus 111
inetSubscriberAccountId 111
inetSubscriberChallenge 112
inetSubscriberResponse 113
inetUserHttpURL 113
inetUserStatus 114
mail 115
mailAccessProxyPreAuth 116
mailAccessProxyReplay 116
mailAdminRole 118
mailAllowedServiceAccess 118
mailAlternateAddress 121
mailAntiUBEService 122
mailAutoReplyMode 122
mailAutoReplySubject 123
mailAutoReplyText 124
mailAutoReplyTextInternal 124
mailAutoReplyTimeOut 125
mailClientAttachmentQuota 125
mailConversionTag 126
mailDeferProcessing 127

mailDeliveryFileURL 128
mailDeliveryOption 128
mailDomainAllowedServiceAccess 129
mailDomainCatchallAddress 132
mailDomainConversionTag 132
mailDomainDiskQuota 133
mailDomainMsgMaxBlocks 134
mailDomainMsgQuota 134
mailDomainReportAddress 135
mailDomainSieveRuleSource 135
mailDomainStatus 136
mailDomainWelcomeMessage 137
mailEquivalentAddress 138
mailForwardingAddress 139
mailHost 139
mailMessageStore 140
mailMsgMaxBlocks 140
mailMsgQuota 141
mailProgramDeliveryInfo 142
mailQuota 142
mailRejectText 143
mailRoutingAddress 144
mailRoutingHosts 144
mailRoutingSmartHost 145
mailSieveRuleSource 146
mailSMTPSubmitChannel 148
mailUserStatus 148
maxPabEntries 150
memberOf 150
memberOfManagedGroup 151
memberOfPAB 151
memberOfPABGroup 152
mgmanAllowSubscribe 152
mgmanDenySubscribe 153
mgmanGoodbyeText 154
mgmanHidden 154
mgmanIntroText 155
mgmanJoinability 155
mgmanMemberVisibility 156
mgmanVisibility 157
mgrpAddHeader 157
mgrpAllowedBroadcaster 158
mgrpAllowedDomain 159

mgrpAuthPassword 160
mgrpBroadcasterPolicy 160
mgrpDeliverTo 161
mgrpDisallowedBroadcaster 162
mgrpDisallowedDomain 163
mgrpErrorsTo 163
mgrpModerator 164
mgrpMsgMaxSize 165
mgrpMsgPrefixText 166
mgrpMsgRejectAction 166
mgrpMsgRejectText 167
mgrpMsgSuffixText 168
mgrpNoDuplicateChecks 168
mgrpRemoveHeader 169
mgrpRequestTo 170
mgrpRFC822MailMember 170
mnggrpAdditionPolicy 171
mnggrpBillableUser 172
mnggrpCurrentUsers 172
mnggrpDeletionPolicy 173
mnggrpMailQuota 173
mnggrpMaxUsers 174
mnggrpStatus 174
mnggrpUserClassOfServices 175
msgVanityDomain 176
multiLineDescription 176
nickName 177
nsDefaultMaxDeptSize 178
nsMaxDepts 178
nsMaxDomains 179
nsMaxMailLists 179
nsMaxUsers 180
nsNumDepts 180
nsNumDomains 181
nsNumMailLists 181
nsNumUsers 182
nsSearchFilter 182
nsdaCapability 183
nsdaDomain 184
nsdaModifiableBy 184
nswcalDisallowAccess 185
nswmExtendedUserPrefs 185
o 186

objectClass 187
organizationName 187
organizationUnitName (「ou」を参照) 188
ou 188
owner 188
pabURI 189
postalAddress 190
preferredLanguage 190
preferredMailHost 191
preferredMailMessageStore 192
seeAlso 192
sn 193
telephoneNumber 193
uid 194
un 194
uniqueMember 195
userid (「uid」を参照) 196
userPassword 196
vacationEndDate 197
vacationStartDate 197

付録 A　一般的な情報 199
LDAP の概要 199
属性の構文 200
オブジェクト識別子 201
標準のタイムゾーン 201

用語集 205

索引 217

本書について

このマニュアルは、LDAP を使用する Sun™ ONE Messaging and Collaboration 製品、特に iPlanet™ Messaging Server と Sun ONE Calendar Server のスキーマ情報を参照するためのマニュアルです。Sun ONE は、以前 iPlanet として知られていた商標です。移行中のため、このマニュアルには両方の商標が使用されています。iPlanet および Sun ONE はどちらも米国 Sun Microsystems, Inc. の商標です。

この章には、以下の項目があります。

- 対象読者
- お読みになる前に
- 内容の紹介
- 表記上の規則
- オンラインでこのマニュアルを入手するには

対象読者

LDAP を使用して iPlanet Messaging Server または Sun ONE Calendar Server をプロビジョニングする場合は、このマニュアルをお読みください。このマニュアルの対象読者は、次の方々です。

- 企業データベースや課金システムなどの、ユーザ、グループ、およびドメイン情報に関連する既存のソースと、LDAP ディレクトリ内の Sun ONE /iPlanet 製品のエントリとのインタフェースとなる、カスタマイズされたプロビジョニングツールを開発するシステム設計者。
- ドメイン、ユーザ、グループ、またはリソースのエントリを LDAP を使用して作成する方法を知りたいサイト管理者。

このマニュアルは、LDAP、ディレクトリサーバ、および電子メールまたはカレンダーの基本的な概念を理解していることを前提としています。

お読みになる前に

このマニュアルでは、読者が以下の予備知識を持っていることを前提にしています。

- インターネットおよび WWW (ワールドワイドウェブ)
- iPlanet (Sun ONE) Administration Server
- iPlanet (Sun ONE) Directory Server および LDAP
- 電子メールとその概念
- カレンダーとその概念
- iPlanet (Sun ONE) コンソール
- RFC 2798、および RFC 2445

  これらの RFC は、次の IETF Web サイトで参照できます。

  - http://www.ietf.org/rfc/rfc2798.txt
  - http://www.ietf.org/rfc/rfc2445.txt
- ISO8601 の日時フォーマット

  タイムゾーン名のリストは、付録 A の「標準のタイムゾーン」を参照してください。

内容の紹介

このマニュアルには、次の章および付録が含まれています。

- 本書について (この章)
- 第 1 章、「概要」
- 第 2 章、「オブジェクトクラス」
- 第 3 章、「属性」
- 付録 A、「一般的な情報」
- 用語集

表記上の規則

モノスペースフォント

モノスペースフォント **(Monospaced font)** は、コンピュータ画面に表示されるテキスト、またはユーザが入力するテキストを表します。また、ファイル名、識別名、関数および使用例を表す場合にも使用されます。

太字のモノスペースフォント

太字のモノスペースフォント (bold monospaced font) は、コード例中のユーザが入力するテキストを表します。

斜体フォント

斜体フォントは、メッセージングサーバに固有な情報を使って入力するテキストを表します。サーバのパスや名前、およびアカウント ID などに使用します。

たとえば、パス参照は、以下のような形式で表記されています。

server-root/msg-*instance*/...

この場合、「server-root」はサーバをインストールするディレクトリパスを表し、「msg-*instance*」はインストールするときに使用するサーバインスタンス (または、デフォルトのホストマシン名) を表します。たとえば、サーバを `/usr/iplanet/server5` ディレクトリにインストールし、`tango` というサーバインスタンスを使用する場合、実際のパスは次のようになります。

```
/usr/iplanet/server5/msg-tango/
```

オンラインでこのマニュアルを入手するには

『Sun ONE Messaging and Collaboration スキーマリファレンスマニュアル』は、PDF および HTML 形式を、オンラインで参照できます。

このマニュアルまたはほかの iPlanet Messaging Server 関連マニュアルを参照する場合は、次の URL をご利用ください。

http://docs.sun.com/prod/s1msgsrv

また、このマニュアルおよびほかの Sun ONE Calendar Server 関連マニュアルを参照する場合は、次の URL をご利用ください。

http://docs.sun.com/prod/s1.s1cals

第 1 章

概要

この章では、Sun™ ONE/iPlanet™ スキーマの概要を説明します。この章には、以下の節があります。

- 基本データモデル
- `iPlanet Messaging Server` スキーマの概要
- `Sun ONE Calendar Server` スキーマの概要

基本データモデル

オブジェクトクラスの基本データモデルは、コアオブジェクトクラス (*core object classes*) により生成される LDAP エントリの「タイプ (*types*)」(たとえば、ユーザ、グループ、ドメイン) を「共有クラス (*shared classes*)」(1 つまたは複数のサービスでオブジェクトクラスを共有できる) と「サービス固有のオブジェクトクラス (*service-specific object classes*)」(特定のタイプのサーバに固有のクラス) を使ってオーバレイすることにより拡張したものです。表 `1-1` で、このような関係を説明します。

表 1-1 エントリのタイプと対応するオブジェクトクラス

タイプ	コアクラス	共有クラス	Messaging Server のクラス	Calendar Server のクラス
DC ツリーのドメイン	domain、inetDomain	なし	mailDomain、nsManagedDomain	なし
Org ツリーのドメイン	organization	なし	nsManagedDomain	なし

表 1-1 エントリのタイプと対応するオブジェクトクラス

タイプ	コアクラス	共有クラス	Messaging Server のクラス	Calendar Server のクラス
ユーザ	person、inetUser、organizational Person、inetOrg Person	ipUser、userPresence Profile	inetMailUser、inetLocalMailRecipient、nsManagedPerson	icsCalendarUser、icsCalendarDWPHost
グループ	groupOfUnique Names	なし	inetMailGroup、inetLocalRecipient、inetMailGroupManagement、nsManagedMailList	なし
ファミリーアカウント	inetManagedGroup	なし	nsManagedDept	なし
リソース	inetResource	なし	なし	icsCalendarResource、icsCalendarDWPHost

RFC 2798、RFC 2252 とインターネット標準の詳細については、次の URL を参照してください。

`http://www.imc.org/rfcs.html`

iPlanet Messaging Server スキーマの概要

基本 iPlanet Messaging Server のスキーマモデルは、構造オブジェクトクラスによって作成された LDAP エントリを拡張します。拡張は、基本 LDAP エントリに補助的なオブジェクトクラスを使用して行われます。iPlanet Messaging Server に行った拡張は、このスキーマ参照の中で定義されます。

たとえば、`inetOrgPerson` は基本ユーザエントリを作成するために使用される構造化クラスです。このユーザエントリは、このドキュメントで定義された補助的なクラスによってオーバーレイされた場合に電子メールユーザになります。同様に、`groupOfUniqueNames` は基本グループエントリを作成するために使用される構造化クラスで、配布リストの補助オブジェクトクラスによってオーバーレイされた場合に、電子メール配布リストになります。

iPlanet Messaging Server の補助オブジェクトクラスは、機能によって次に示すカテゴリおよびサブカテゴリにグループ化できます。

- メール宛先

- 電子メールユーザ
- 電子メールグループ (配布リスト)
- 電子メールルーティング

- 個人アドレスブック
  - 個人アドレスブック
  - 個人アドレスブックグループ
  - 個人アドレスブックのユーザエントリ
- ホストドメインおよびドメイン組織
  - ホストドメイン
  - ドメインエイリアス
  - メールドメイン
  - ドメイン組織
- 管理の委任
  - 管理対象グループ
  - 保管管理者

メール宛先

メール宛先には、ユーザとグループの 2 種類の方法があります。ユーザおよびグループの電子メールはどちらも、ローカルメールルーティング属性に `inetLocalMailRecipient` 補助オブジェクトクラスを使用します。

電子メールユーザ

`inetOrgPerson` によって作成された LDAP エントリは、`inetUser`、`ipUser`、`inetMailUser`、`inetLocalMailRecipient`、および `userPresenceProfile` を使用してエントリをオーバーレイすると、メッセージングサービスとして利用できます。オプションで、ユーザがサブスクライバタイプ属性を保持するように `inetSubscriber` を使用する場合がありますが、これはメッセージングサーバユーザの作成には必要ありません。

電子メールグループ

groupOfUniqueNames によって作成された LDAP エントリは、inetMailGroup、inetMailGroupManagement、および inetLocalMailRecipient を使用してエントリをオーバーレイすると、メッセージングサービスとして利用できます。これらのオブジェクトクラスは、配布リストおよびメッセージングサーバによるオブジェクトクラスの使用方法を定義します。

電子メールルーティング

電子メールルーティング属性については、メッセージングサーバはオブジェクトクラス inetLocalMailRecipient を使用します。

個人アドレスブック

inetOrgPerson によって作成された LDAP エントリは、オブジェクトクラスの pab、pabGroup、および pabPerson を使用してエントリをオーバーレイすると、個人アドレスブックとして利用できます。個人アドレスブックエントリのデータモデルは、ゼロまたは 1 つ以上の個人 (pabPerson) およびゼロまたは 1 つ以上のグループ (pabGroup) エントリを含むアドレスブック (pab) です。

個人アドレスブック

個人アドレスブック (pab オブジェクトクラス) には、ゼロまたは 1 つ以上の pabPerson エントリとゼロまたは 1 つ以上の pabGroup エントリが含まれます。すべてのユーザとグループは、「All」と呼ばれるデフォルトの個人アドレスブックに所属します。

個人アドレスブックグループ

個人アドレスブックグループオブジェクトクラスの pabGroup は、個人配布リストに対応しています。グループは、ゼロまたは 1 つ 以上の個人アドレスブックに所属します。グループと個人アドレスブック間のリンクは、pabGroup の多値属性である memberOfPAB によって確立されます。

個人アドレスブックのユーザエントリ

個人アドレスブックのユーザオブジェクトクラスの pabPerson は、個人アドレスブックのユーザエントリです。ユーザ (pabPerson) は、ゼロまたは 1 以上の個人アドレスブックグループ (pabGroup) およびゼロまたは 1 つ以上の個人アドレスブック (pab) に所属します。

ユーザとグループ間のリンクは、 pabPerson の多値属性である memberOfPABGroup によって確立され、これによってユーザは多数のグループに所属できます。 また、ユーザは、 多くの個人アドレスブックに所属することもできます。このリンクは、 pabPerson の多値属性である memberOfPAB によって確立されます。

ホストドメインおよびドメイン組織

domain によって作成された LDAP エントリは、inetDomain、inetDomainAlias、inetDomainOrg、および mailDomain を使用してエントリをオーバーレイすると、メッセージングサービスとして利用できます。オプションで、mailDomain のデフォルト動作を優先させ格納した certmap に適切な属性を保持するには、inetDomainAuthInfo を使用します。

ホストドメイン

domain によって作成されたベースエントリは、inetDomain、mailDomain、および任意の inetDomainAuthInfo をオーバーレイすることによって拡張され、ホスト組織のメールサービスに適切なホストドメインノードを作成します。各ホストドメインには、inetDomain のインスタンスがあります。

ドメインエイリアス

LDAP エントリは、ほかのホストドメインオブジェクトを指す domain コンポーネントツリー内に作成することができます。各エイリアスエントリには、inetDomainAlias のインスタンスがあります。ホストドメインは、属性 aliasedObjectName によって、エイリアス化したドメインにリンクします。

メールドメイン

domain および inetDomain によって作成された LDAP エントリは、オブジェクトクラスの mailDomain を使用すると、ホストドメインとして利用できます。各ホストドメインには、mailDomain のインスタンスがあります。

1 つまたは複数のホストドメインが同じ組織のサブツリーを参照する場合、各ホストドメインに対して inetDomainAuthInfo のインスタンスが存在し、検索フィルタ、ドメインおよび標準的なドメイン名情報が含まれている必要があります。

バニティドメイン

メール、カレンダー、および Web アクセスなどのインターネットサービスをアウトソースする組織は通常、ホストドメインを定義して希望のサービスと関連付けることによってサポートされます。これらの各ホストドメインにかかる諸費用は、零細組織 (単一ユーザなど) には不適切な場合があります。ただし、これらの零細組織では、標準のホストドメインに必要な大量の諸費用を使用することなくバニティドメインを使用してメールサービスを受信できます。

`msgVanityDomainUser` オブジェクトクラスはユーザエントリ上にオーバーレイした場合、ユーザがバニティドメインに所属していることをメールサーバに伝えます。このクラスの `msgVanityDomain` 属性は、このドメインに書き換え規則を作成する必要があることを MTA に伝えます。ただし、書き換え規則が作成されてもユーザはバニティドメインを使用してメールサーバにログインすることはできません。ユーザは、プライマリログインスキーマを使用する必要があります。

ドメイン組織

管理対象のドメイン組織をサポートするには、構造化クラス `organization` と関連付けて補助的オブジェクトクラス `inetDomainOrg` が使用されます。ドメイン組織は通常、カスタマのサブツリーの下に階層を導入し、そのドメイン組織に管理者を指名して、作成されます。

管理の委任

管理対象グループオブジェクトクラスは、ユーザまたはグループ (および LDAP ディレクトリで定義されたほかのリソース) の任意のグループ化を指定する場合に使用され、これらのリソースの管理をほかのユーザに委任できるようにします。このようなグループ化の例として、DNS ドメイン境界、部門、およびファミリメンバーがあります。

管理対象グループ

管理対象グループには一般的に、メンバーの追加と削除を行う場合、別々の規則があります。グループを管理する場合にポリシーの違いを有効にするには、オブジェクトクラス `inetManagedGroup` のインスタンスがその関連付けられたポリシー属性とともに、各管理対象グループに存在することが必要です。

保管管理者

ドメインに対する管理者のグループを定義するには、オブジェクトクラスの inetMailAdministrator を使用してグループが定義された同じドメイン内のユーザに対する管理特権をグループのメンバーに許可します。

Sun ONE Calendar Server スキーマの概要

この節では、Sun ONE Calendar Server オブジェクトクラスおよびその属性を一覧表示して、ディレクトリ情報ツリー (DIT) のレイアウトを説明します。

カレンダーオブジェクトクラスおよびその属性

表 1-2 に、カレンダー固有のオブジェクトクラスおよびその属性を表示します。さらに、Sun ONE Calendar Server はカレンダー以外のオブジェクトクラスの inetResource も 1 つ使用します。

表 1-2 カレンダー固有のオブジェクトクラス

オブジェクトクラス	必須の属性	使用可能な属性
icsAdministrator (現在使用されていない)	なし	icsAdminRole, icsExtended, icsExtendedGroupPrefs

表 1-2 カレンダー固有のオブジェクトクラス (続き)

オブジェクトクラス	必須の属性	使用可能な属性
icsCalendarDomain (現在使用されていない)	なし	icsAllowedServiceAcess, icsAllowRights, icsAnonymousAllowWrite, icsAnonymousCalendar, icsAnonymousDefaultSet, icsAnonymousLogin, icsAnonymousSet, icsDefaultAccess, icsDomainAllowed, icsDomainNames, icsDomainNotAllowed, icsDWPBackEndHosts, icsExtended, icsExtendedDomainPrefs, icsMandatorySubscribed, icsMandatoryView, icsPreferredHost, icsQuota, icsRecurrenceBound, icsRecurrenceDate, icsSessionTimeout, icsSourceHtml, icsStatus, icsTimezone
icsCalendarDWPHost (現在実装されていない)	なし	cn,description, icsDomainNames, icsDWPHost, icsExtended, icsRegularExpressions, icsStatus
icsCalendarGroup	icsStatus	なし
icsCalendarResource (すべての属性が現在使用されているというわけではない)	なし	cn, icsAlias, icsCalendar, icsCapacity, icsContact, icsDoubleBook, icsDWPHost, icsExtended, icsExtendedResourcePrefs, icsGeo, icsPartition, icsPreferredHost, icsQuota, icsStatus, icsTimezone, uid

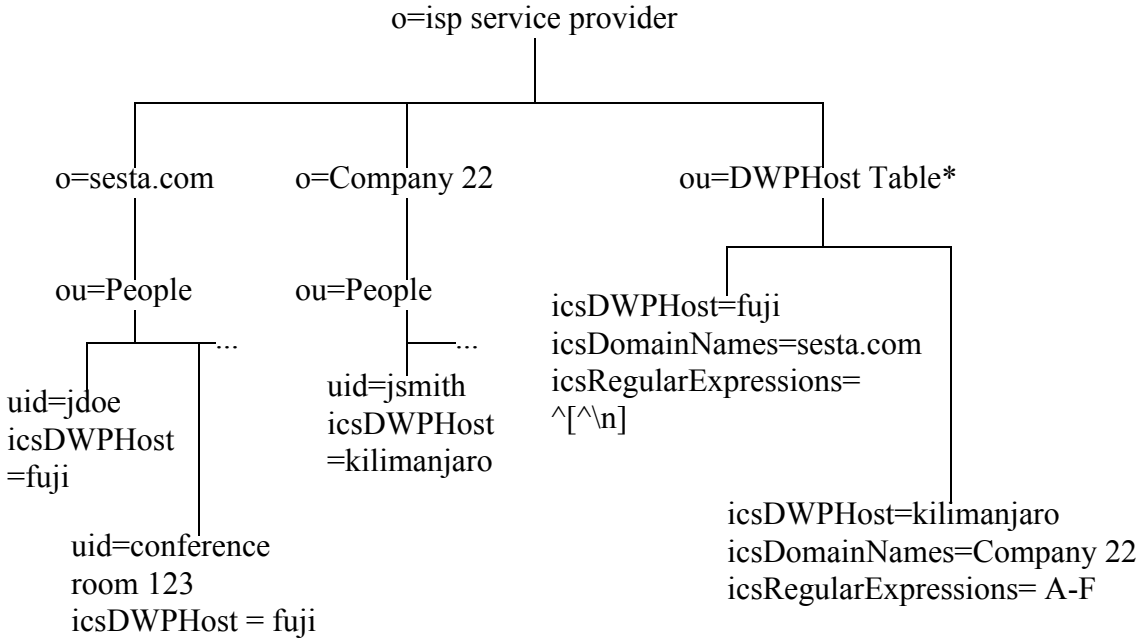
表 1-2 カレンダー固有のオブジェクトクラス (続き)

オブジェクトクラス	必須の属性	使用可能な属性
icsCalendarUser	なし	cn, givenName, icsAllowedServiceAcess, icsCalendar, icsCalendarOwned, icsDefaultSet, icsDoubleBook, icsDWPHost, icsExtended, icsExtendedUserPrefs, icsFirstDay, icsFreeBusy, icsGeo, icsPartition, icsPreferredHost, icsQuota, icsSet, icsStatus, icsSubscribed, icsTimezone, mail, nswcalDisallowAccess, preferredLanguage, sn, uid, userPassword 注 : icsPartition は現在実装されていません。

ディレクトリ情報ツリー (DIT) レイアウト

DWP サーバがドメインリソースごとであるか、クロスドメインリソースごとであるか、あるいはコンビネーションごとであるかによって、次に示す DIT は Calendar Server スキーマがどのように表示されるかを説明します。DWP サーバエントリは、各エントリにドメイン名が含まれるため、LDAP のどこにでも常駐できます。図 1-1 に、Sun ONE Calendar Server のサンプルディレクトリ情報ツリー (DIT) レイアウトを示します。

図 1-1 ディレクトリ情報ツリーのレイアウト



*ou=DWPHostTable の DN は、`ics.conf` に格納されます。ou=DWPHostTable はオプションです。

第 2 章

オブジェクトクラス

この章では、Sun ONE/ iPlanet™ 製品の LDAP オブジェクトクラスについて説明します。説明するオブジェクトは、アルファベット順に並べてあります。

オブジェクトクラスのリスト

この章では、Sun ONE Messaging and Collaboration 製品に関連する次のオブジェクトクラスについて説明します。

- 「domain」27 ページ
- 「groupOfUniqueNames」28 ページ
- 「icsAdministrator」28 ページ
- 「icsCalendarDomain」29 ページ
- 「icsCalendarDWPHost」30 ページ
- 「icsCalendarGroup」30 ページ
- 「icsCalendarResource」31 ページ
- 「icsCalendarUser」32 ページ
- 「inetAdmin」32 ページ
- 「inetDomain」33 ページ
- 「inetDomainAlias」34 ページ
- 「inetDomainAuthInfo」34 ページ
- 「inetDomainOrg」35 ページ
- 「inetLocalMailRecipient」36 ページ

- 「inetMailAdministrator」36 ページ
- 「inetMailGroup」37 ページ
- 「inetMailGroupManagement」38 ページ
- 「inetMailUser」39 ページ
- 「inetManagedGroup」40 ページ
- 「inetOrgPerson」40 ページ
- 「inetResource」41 ページ
- 「inetSubscriber」42 ページ
- 「inetUser」42 ページ
- 「ipUser」43 ページ
- 「mailDomain」44 ページ
- 「msgVanityDomainUser」45 ページ
- 「nsManagedDept」45 ページ
- 「nsManagedDeptAdminGroup」46 ページ
- 「nsManagedDomain」47 ページ
- 「nsManagedFamilyGroup」47 ページ
- 「nsManagedISP」48 ページ
- 「nsManagedMailList」48 ページ
- 「nsManagedOrgUnit」49 ページ
- 「nsManagedPerson」49 ページ
- 「nsUniquenessDomain」50 ページ
- 「pab」51 ページ
- 「pabGroup」52 ページ
- 「pabPerson」52 ページ
- 「userPresenceProfile」53 ページ

オブジェクトクラス

domain

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0、iPlanet Calendar Server 5.1

定義
DNS ドメインを表すエントリを定義するためのオブジェクトクラス。

このクラスは、組織、組織単位またはオブジェクトクラスが定義されている他のオブジェクトのタイプに対応しないエントリでのみ使用します。

このクラスは、Messaging 製品と Calendar 製品両方のコアクラスです。

上位クラス
`top`

オブジェクトクラスのタイプ
structural

OID
0.9.2342.19200300.100.4.13

必須の属性
`dc, objectClass`

使用可能な属性
`associatedName, businessCategory, description, destinationIndicator, fax (facsimileTelephoneNumber), internationalIsdnNumber, localityName, manager, o (organizationName), physicalDeliveryOfficeName, postOfficeBox, postalAddress, postalCode, preferredDeliveryMethod, registeredAddress, searchGuide, seeAlso, st, street, telephoneNumber, telexTerminalIdentifier, telexNumber, userPassword, x121Address`

groupOfUniqueNames

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0、iPlanet Calendar Server 5.1

定義
一意名のグループに対応するエントリを定義します。

上位クラス
`top`

オブジェクトクラスのタイプ
structural

OID
2.5.6.17

必須の属性
`cn, objectClass, uniqueMember`

使用可能な属性
`businessCategory, description, o, ou, owner, seeAlso`

icsAdministrator

サポートするソフトウェア
現在使用されていない

カレンダーの管理者を指定します。ほかのオブジェクトクラスとともに使用する必要があります。

上位クラス

オブジェクトクラスのタイプ
structural

OID
2.16.840.1.113730.3.2.145

必須の属性
なし

使用可能な属性
icsAdminRole, icsExtended, icsExtendedGroupPrefs

icsCalendarDomain

サポートするソフトウェア
Sun ONE Calendar Server 5.1.1

定義
保留。実装されていません。

カレンダーのドメインを指定します。inetDomain とともに使用する必要があります。

上位クラス

オブジェクトクラスのタイプ
structural

OID
1.3.6.1.4.1.42.2.27.9.2.4

必須の属性
なし

使用可能な属性
icsAllowedServiceAcess, icsAllowRights, icsAnonymousAllowWrite, icsAnonymousCalendar, icsAnonymousDefaultSet, icsAnonymousLogin, icsAnonymousSet,icsDefaultSet, icsDomainAllowed, icsDomainNames, icsDomainAllowed, icsDWPBackEndHosts, icsExtended, icsExtendedDomainPrefs, icsMandatorySubscribed, icsMandatoryView, icsPreferredHost, icsQuota, icsRecurrenceBound, icsRecurrenceDate, icsSessionTimeout, icsSourceHtml, icsStatus, icsTimezone

icsCalendarDWPHost

サポートするソフトウェア
Sun ONE Calendar Server 5.1.1

定義
保留。実装されていません。

1 つの DWP サーバに特有の構成とその他の情報を格納します。各エントリは、どのドメインを供給するかを追跡します。ドメイン名は、追跡内容を見るために使用されます。

上位クラス

オブジェクトクラスのタイプ
structural

OID
1.3.6.1.4.1.42.2.27.9.2.1

必須の属性
なし

使用可能な属性
cn,description, icsDomainNames, icsDWPHost, icsExtended, icsRegularExpressions, icsStatus

icsCalendarGroup

サポートするソフトウェア
iPlanet Calendar Server 5.1

定義
カレンダーのグループを指定します。

上位クラス

オブジェクトクラスのタイプ
structural

OID
1.3.6.1.4.1.42.2.27.9.2.5

必須の属性
icsStatus

使用可能な属性
なし

icsCalendarResource

サポートするソフトウェア
iPlanet Calendar Server 5.1

5.1.1 で修正 - icsDWPHost、icsPartition,uid の属性が追加されています。

定義
スケジュールする必要がある会議室や一部の設備などの、カレンダーリソースを指定します。inetResource とともに使用する必要があります。現在、すべての属性が使用されているわけではありません。

上位クラス
inetResouce

オブジェクトクラスのタイプ
structural

OID
1.3.6.1.4.1.42.2.27.9.2.3

必須の属性
なし

使用可能な属性
cn, icsAlias, icsCalendar, icsCapacity, icsContact, icsDoubleBook, icsDWPHost, icsExtended, icsExtendedResourcePrefs, icsGeo, icsPartition, icsPreferredHost, icsQuota, icsStatus, icsTimezone, uid

icsCalendarUser

サポートするソフトウェア
iPlanet Calendar Server 5.1

5.1.1 で修正 - `icsDWPHost`、`icsPartition` の属性が追加されています。

定義
DWP ホスト名を含む、カレンダーのユーザを指定します。

上位クラス

オブジェクトクラスのタイプ
structural

OID
1.3.6.1.4.1.42.2.27.9.2.2

必須の属性
なし

使用可能な属性
`cn`, `givenName`, `icsAllowedServiceAcess`, `icsCalendar`, icsCalendarOwned, `icsDefaultSet`, `icsDoubleBook`, `icsDWPHost`, icsExtended, `icsExtendedUserPrefs`, `icsFirstDay`, `icsFreeBusy`, `icsGeo`, `icsPartition`, icsPreferredHost, icsQuota, `icsSet`, icsStatus, icsSubscribed, `icsTimezone`, `mail`, nswcalDisallowAccess, `preferredLanguage`, `sn`, `uid`, `userPassword`

inetAdmin

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
管理者ユーザまたは管理者グループを識別します。

上位クラス
`top`

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
2.16.840.1.113730.3.2.112

必須の属性
`objectClass`

使用可能な属性
`memberOf, adminRole`

inetDomain

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
電子メール、 Radius、 カレンダーなどの、 Nortel および Sun/Netscape Alliance 相互運用仕様に準拠したサービスのための補助的なクラス。 `domain` によって作成されるベースエントリを拡張するために使用されます。 このオブジェクトクラスは、 ホストドメインのアカウントを表し、 ホスト組織のメールサービスに適したホストドメインノードを作成するために、 `mailDomain` と、 オプションの `inetDomainAuthInfo` とともに使用されます。 このオブジェクトクラスは、 ホストドメインのすべてのエントリに使用する必要があります。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
2.16.840.1.113730.3.2.129

必須の属性
なし

使用可能な属性
`inetDomainBaseDN, inetDomainStatus`

inetDomainAlias

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
ディレクトリ内にドメインのエイリアスエントリを作成する structural クラス。エントリは、ほかのホストドメインオブジェクトを指すドメインコンポーネントツリー内に作成することができます。このようなドメインエイリアスエントリでは、このオブジェクトクラスを使用する必要があります。親のオブジェクトクラスである `alias` (RFC 2256 を参照) から継承した属性の `aliasedObjectName` には、ノードがエイリアスである、LDAP エントリの DN が保持されます。

上位クラス
alias

オブジェクトクラスのタイプ
structural

OID
2.16.840.1.113730.3.2.131

必須の属性
`aliasedObjectName, dc`

使用可能な属性
なし

inetDomainAuthInfo

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
複数のホストドメインが同じ組織サブツリーを参照する場合は、検索フィルタ、ドメイン証明マップ、および標準ドメイン名で `domain` エントリを拡張するために、このオブジェクトクラスが使用されます。

上位クラス
`top`

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
2.16.840.1.113730.3.2.133

必須の属性
なし

使用可能な属性
`domainUidSeparator, inetDomainSearchFilter, inetDomainCertMap, inetCanonicalDomainName`

inetDomainOrg

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
管理ドメイン組織をサポートするための補助的なクラス。このオブジェクトクラスは、ドメイン組織を定義するために、structural クラスの `organization` とともに使用されます。ドメイン組織は通常、カスタマのサブツリーの下に階層を導入し、そのドメイン組織に管理者を指名して、作成されます。たとえば、`siroe.com` には、DN が `o=Siroe Inc.,o=ISP` のカスタマのサブツリーがあります。親ツリーの下に下位組織を作成し、その下位組織に管理者セットを指定するには、`organization` および `inetDomainOrg` オブジェクトクラスを使用して、ドメイン組織ノードを作成します。

上位クラス
`top`

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
2.16.840.1.113730.3.2.132

必須の属性
なし

使用可能な属性
`domOrgMaxUsers, domOrgNumUsers`

inetLocalMailRecipient

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
ローカル (組織内) の電子メールの受信者を表す方法として、LDAP エントリを示すための情報を格納します。受信者の電子メールアドレス (複数も可) を指定し、その関係するルーティング情報を提供することが目的です。これは、民間企業内の RFC 822 ベースの電子メールのルーティングで SMTP メッセージ転送エージェントをサポートすることだけを意図しており、一般のインターネット上のメールのルーティング処理には使用されません。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
2.16.840.1.113.730.3.2.147

必須の属性
なし

使用可能な属性
`mail, mailAlternateAddress, mailHost, mailRoutingAddress`

inetMailAdministrator

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
groupOfUniqueNames で定義された LDAP グループを、このオブジェクトクラスでオーバーレイすることができます。 属性 uniqueMember 内でリストされているグループのメンバーがこのオブジェクトクラスでオーバレイされ、そのグループのエントリが存在するのと同じドメイン内のすべてのユーザに対する IMAP proxyauth (プロキシ認証) の権利を取得するため、mailAdminRole に storeAdmin が設定されます。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
2.16.840.1.113730.3.2.148

必須の属性
なし

使用可能な属性
mailAdminRole

inetMailGroup

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
メール受取人のグループを定義するために、groupOfUniqueNames によって作成されたベースエントリを拡張することに使用されます。 inetMailGroup は、メーリングリストの属性を格納するために使用されます。Delegated Administrator に管理されるメーリングリスト用に、inetLocalMailRecipient および inetMailGroupManagement とともに使用されます。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
1.3.6.1.4.1.42.2.27.2.2.2

必須の属性
なし

使用可能な属性
dataSource, inetMailGroupStatus, mailConversionTag, mailDeferProcessing, mailDeliveryFileURL, mailDeliveryOption, mailEquivalentAddress, mailMsgMaxBlocks, mailProgramDeliveryInfo, mgrpAddHeader, mgrpAllowedBroadcaster, mgrpAllowedDomain, mgrpAuthPassword, mgrpBroadcasterPolicy, mgrpDeliverTo, mgrpDisallowedBroadcaster, mgrpDisallowedDomain, mgrpErrorsTo, mgrpModerator, mgrpMsgMaxSize, mgrpMsgPrefixText, mgrpMsgRejectAction, mgrpMsgRejectText, mgrpMsgSuffixText, mgrpNoDuplicateChecks, mgrpRemoveHeader, mgrpRequestTo, mgrpRFC822MailMember, preferredLanguage

inetMailGroupManagement

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
groupOfUniqueNames によって作成されるベースエントリを拡張するために使用されます。 inetMailGroupManagement は、Delegated Administrator for Messaging を使用した配布リストを管理する属性を格納するために使用されます。 このオブジェクトクラスは、inetMailGroup および inetLocalMailRecipient とともに使用されます。このオブジェクトクラス内の属性は、 メッセージサーバの MTA またはメッセージアクセス / メッセージストアの操作には影響を与えません。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
2.16.840.1.113730.3.2.149

必須の属性
なし

使用可能な属性
mgmanAllowSubscribe, mgmanDenySubscribe, mgmanGoodbyeText, mgmanHidden, mgmanIntroText, mgmanJoinability, mgmanMemberVisibility, mgmanVisibility, multiLineDescription

inetMailUser

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
メッセージングサービスのユーザを定義するために、inetOrgPerson によって作成されたベースエントリを拡張することに使用されます。このオブジェクトクラスはメールアカウントを表し、inetUser および inetLocalMailRecipient とともに使用されます。オプションで、一般的なアカウント管理を目的として、inetSubscriber を使用することもできます。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
2.16.840.1.113730.3.2.146

必須の属性
なし

使用可能な属性
cn, dataSource, icsQuota, mailAllowedServiceAccess,mailAntiUBEService, mailAutoReplyMode, mailAutoReplySubject, mailAutoReplyTimeOut, mailAutoReplyText, mailAutoReplyTextInternal, mailConversionTag, mailDeferProcessing, mailDeliveryOption, mailEquivalentAddress, mailForwardingAddress, mailMessageStore, mailMsgMaxBlocks, mailMsgQuota, mailProgramDeliveryInfo, mailQuota, mailSieveRuleSource, mailSMTPSubmitChannel, mailUserStatus, nswmExtendedUserPrefs

inetManagedGroup

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
管理グループを定義するために使用されます。管理グループが部署またはファミリーグループの場合、使用する構造クラスは `top` ですが、このオブジェクトクラスを使用して `groupOfUniqueNames` から静的に定義されたグループを作成し、それを管理グループにすることができます。

上位クラス
`top`

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
2.16.840.1.113730.3.2.137

必須の属性
`cn`

使用可能な属性
`description, mnggrpAdditionPolicy, mnggrpBillableUser, mnggrpCurrentUsers, mnggrpDeletionPolicy, mnggrpMailQuota, mnggrpMaxUsers, mnggrpStatus, mnggrpUserClassOfServices, nsdaModifiableBy, owner`

inetOrgPerson

サポートするソフトウェア
ここでの指定は参照専用です。

定義
すべてのユーザエントリは、このオブジェクトクラスを使って作成されます。詳細は、インターネットドラフトの『The LDAP inetOrgPerson Object Class』を参照してください。

上位クラス
organizationalPerson

オブジェクトクラスのタイプ
structural

OID
2.16.840.1.113730.3.2.2

必須の属性
なし

使用可能な属性
audio, businessCategory, carLicense, departmentNumber, displayName, employeeNumber, employeeType, givenName, homePhone, homePostalAddress, initials, jpegPhoto, labeledURI, mail, manager, mobile, o, pager, photo, roomNumber, secretary, uid, userCertificate, x500UniqueIdentifier, preferredLanguage, userSMIMECertificates, userPKCS12

これらの属性すべてが Sun ONE Messaging and Collaboration 製品でサポートされているわけではありません。

inetResource

サポートするソフトウェア
iPlanet Calendar Server 5.1

定義
リソースを指定します。

上位クラス

オブジェクトクラスのタイプ
structural

OID
2.16.840.1.113730.3.2.142

必須の属性
cn

使用可能な属性
facsimileTelephoneNumber, inetResourceStatus, mail, postalAddress, telephoneNumber

inetSubscriber

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
ユーザを定義するために、inetOrgPerson によって作成されたベースエントリを拡張することに使用されます。このオブジェクトクラスはサブスクライバのアカウントを表し、メールアカウントを作成するために、inetUser、inetMailUser、および ipUser とともに使用することもできます。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
2.16.840.1.113730.3.2.134

必須の属性
なし

使用可能な属性
inetSubscriberAccountId, inetSubscriberChallenge, inetSubscriberResponse

inetUser

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
inetOrgPerson によって作成されるベースエントリを拡張するために使用されます。このオブジェクトクラスはユーザアカウントを表し、メールアカウントを作成するために、inetMailUser および ipUser とともに使用されます。カレンダーのアカウントを作成するために、icsUser とともに使用することもできます。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
2.16.840.1.113730.3.2.130

必須の属性
なし

使用可能な属性
inetUserHttpURL, inetUserStatus, memberOf, uid, userPassword

ipUser

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
メールやカレンダーなどのサービス用のオブジェクトクラス。inetOrgPerson および inetUser によって作成されるベースエントリを拡張するために使用されます。このオブジェクトクラスで、個人のアドレスブックのコンテナとサービスクラス指示子への参照を保持します。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
2.16.840.1.113730.3.2.135

必須の属性
なし

使用可能な属性
inetCOS, memberOfManagedGroup, maxPabEntries, pabURI

mailDomain

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
ホストドメイン用のメッセージングサービスを有効にするために、domain および inetDomain によって作成されるベースエントリを拡張するために使用される補助的なクラス。メッセージングサービスへのアクセス権付きの、ホストドメインのアカウントを表します。このオブジェクトクラスは、ホストドメインのすべてのエントリに使用する必要があります。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
2.16.840.1.113730.3.2.151

必須の属性
なし

使用可能な属性
mailAccessProxyPreAuth, mailAccessProxyReplay, mailClientAttachmentQuota, mailDomainAllowedServiceAccess, mailDomainConversionTag, mailDomainCatchallAddress, mailDomainDiskQuota, mailDomainMsgMaxBlocks, mailDomainMsgQuota, mailDomainReportAddress, mailDomainSieveRuleSource,mailDomainStatus, mailDomainWelcomeMessage, mailQuota, mailRoutingHosts, mailRoutingSmartHost, preferredLanguage, preferredMailHost, preferredMailMessageStore

msgVanityDomainUser

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
このオブジェクトクラスとその属性は現在のリリースでは推奨されていないため、今後のリリースでもサポートされない場合があります。サイトでこの機能を使用している場合は使用を停止し、現行のバニティドメインからホストドメインへの移行を検討する必要があります。

メッセージ用バニティドメインの概念をサポートする補助的なクラス。バニティドメインをユーザに割り当てることを目的に、ベースメールユーザエントリを拡張するために使用されます。

上位クラス
`top`

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
2.16.840.1.113730.3.2.150

必須の属性
なし

使用可能な属性
`msgVanityDomain`

nsManagedDept

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
管理者以外のグループの情報を格納します。管理者以外のすべてのグループは、iPlanet Delegated Administrator に管理されるように、このオブジェクトクラスを含む必要があります。

上位クラス
groupOfUniqueNames

オブジェクトクラスのタイプ

OID
2.16.840.1.113730.3.2.88

必須の属性
なし

使用可能な属性
nsMaxDepts, nsMaxUsers, nsNumDepts, nsNumUsers, nsdaModifiableBy, owner

nsManagedDeptAdminGroup

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
管理者グループについての情報を格納します。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ

OID
2.16.840.1.113730.3.2.111

必須の属性
objectClass

使用可能な属性
なし

nsManagedDomain

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
組織についての情報を格納します。すべての組織は、iPlanet Delegated Administrator に管理されるように、このオブジェクトクラスを含む必要があります。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ

OID
2.16.840.1.113730.3.2.86

必須の属性
`objectClass`

使用可能な属性
`nsDefaultMaxDeptSize`, `nsMaxDepts`, `nsMaxDomains`, `nsMaxMailLists`, `nsMaxUsers`, `nsNumDepts`, `nsNumDomains`, `nsNumMailLists`, `nsNumUsers`, `nsdaModifiableBy`, `owner`

nsManagedFamilyGroup

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
委任管理者に管理されるファミリーグループについての情報を格納します。ファミリーグループは「グループ」と似ていますが、多少違います。このオブジェクトクラスは主として、Sun Internet Message Service (SIMS) 4.0 を使用して Delegated Administrator の導入をサポートするために追加されました。

上位クラス
top

OID
2.16.840.1.113730.3.2.89

必須の属性
objectClass

使用可能な属性
nsMaxUsers, nsNumUsers, nsdaModifiableBy, owner

nsManagedISP

サポートするソフトウェア

iPlanet Messaging Server 5.0

定義
このオブジェクトに作成できる下位組織の数を追跡します。

上位クラス
top

OID
2.16.840.1.113730.3.2.85

必須の属性
objectClass

使用可能な属性
nsNumDomains

nsManagedMailList

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
有効なユーザによって作成されたメーリングリストについての情報を格納します。メーリングリストは、Delegated Administrator に管理されるように、このオブジェクトクラスを含む必要があります。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ

OID
2.16.840.1.113730.3.2.90

必須の属性
objectClass

使用可能な属性
nsMaxUsers, nsNumUsers, nsdaModifiableBy, owner

nsManagedOrgUnit

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
管理組織単位についての情報を格納します。

上位クラス
top

OID
2.16.840.1.113730.3.2.87

必須の属性
objectClass

使用可能な属性
nsdaModifiableBy, owner

nsManagedPerson

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
ユーザに関する情報を格納します。ユーザエントリは、Delegated Administrator に管理されるように、このオブジェクトクラスを含む必要があります。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ

OID
2.16.840.1.113730.3.2.91

必須の属性
`objectClass`

使用可能な属性
`memberOf`, `nsdaCapability`, `nsdaDomain`, `nsSearchFilter`, `nsdaModifiableBy`, `owner`

nsUniquenessDomain

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
このオブジェクトクラスは、ユーザ ID (uid) の固有性が要求されるサブツリーを識別するためにマーカーとして使用されます。ユーザ ID (uid) の固有性に関するプラグインは、このオブジェクトクラスを使用して、固有性が要求される範囲または影響圏を決定します。

上位クラス
top

OID
2.16.840.1.113730.3.2.115

必須の属性
`objectClass`

使用可能な属性
なし

pab

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
使用されるデータモデルは、次のとおりです。

pabPerson は、個人アドレスブック内のユーザエントリです。

pabGroup は、グループエントリであり、個人用配布リストに対応します。たとえば、pabGroup の「pab-notes」には、pabPersons の「micky」と「john」が含まれている可能性があります。

pab は、ゼロまたは 1 つ以上の pabPerson エントリとゼロまたは 1 つ以上の pabGroup エントリを含むアドレスブックです。これは、最上位の論理コンテナです。pab には、pabPerson または pabGroup、あるいはその両方が含まれている可能性があります。pabPerson は、ゼロまたは 1 つ以上の pabGroup とゼロまたは 1 つ以上の pab に属している可能性があります。

pabPerson は、ゼロまたは 1 つ以上の pabGroup エントリに属している可能性があります。このリンクは、memberOfPABGroup によって確立されます。これは、pabPerson が属している pabGroup の DN を保持している複数の値を持つ属性です。また、pabPerson は、多くの個人アドレスブックに所属している可能性もあります。このリンクは、memberOfPAB 属性の値としてリストされた pab の DN を持つことによって確立されます。

すべてのユーザとグループは、「All」と呼ばれるデフォルトの個人アドレスブックに所属します。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ
structural

OID
2.16.840.1.113730.3.2.140

必須の属性
cn

使用可能な属性
description, un

pabGroup

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
pabGroup は、個人アドレスブック (pab) のグループエントリであり、個人用配布リストに相当します。たとえば、pabGroup の「pab-notes」には、pabPersons の「micky」と「john」が含まれている可能性があります。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ
structural

OID
2.16.840.1.113730.3.2.139

必須の属性
cn

使用可能な属性
description, memberOfPAB, nickName, un

pabPerson

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
個人アドレスブック (pab) 内の 1 つのユーザエントリ

上位クラス
inetOrgPerson

オブジェクトクラスのタイプ
structural

OID
2.16.840.1.113730.3.2.138

必須の属性
なし

使用可能な属性
calCalURI, calFBURL, co, dateOfBirth, mailAlternateAddress, memberOfPAB, memberOfPABGroup, nickName, organizationName, ou (oranizationalUnitName), un

userPresenceProfile

サポートするソフトウェア
iPlanet Messaging Server 5.0

定義
ユーザの出勤情報を格納するために使用されます。

上位クラス
top

オブジェクトクラスのタイプ
auxiliary

OID
2.16.840.1.113730.3.2.136

必須の属性
なし

使用可能な属性
vacationEndDate, vacationStartDate

第 3 章

属性

この章では、Sun ONE/iPlanet™ 製品の LDAP オブジェクトクラスに必須の、または許容される属性について説明します。属性は、アルファベット順に並べてあります。

属性のリスト

この章では、Sun ONE Messaging and Collaboration 製品に関連する次の属性について説明します。

- 「adminRole」62 ページ
- 「aliasedObjectName」63 ページ
- 「businessCategory」63 ページ
- 「calCalURI」64 ページ
- 「calFBURL」65 ページ
- 「cn」65 ページ
- 「co」66 ページ
- 「commonName (「cn」 を参照)」67 ページ
- 「countryName (「co」 を参照)」67 ページ
- 「dataSource」67 ページ
- 「dateOfBirth」67 ページ
- 「dc」68 ページ
- 「description」69 ページ

- 「domainUidSeparator」69 ページ
- 「domOrgMaxUsers」70 ページ
- 「domOrgNumUsers」71 ページ
- 「facsimileTelephoneNumber」71 ページ
- 「givenName」72 ページ
- 「icsAdminRole」72 ページ
- 「icsAlias」73 ページ
- 「icsAllowedServiceAcess」74 ページ
- 「icsAllowRights」76 ページ
- 「icsAnonymousAllowWrite」77 ページ
- 「icsAnonymousCalendar」77 ページ
- 「icsAnonymousDefaultSet」78 ページ
- 「icsAnonymousLogin」78 ページ
- 「icsAnonymousSet」79 ページ
- 「icsCalendar」79 ページ
- 「icsDefaultSet」82 ページ
- 「icsDomainAllowed」83 ページ
- 「icsDomainNames」84 ページ
- 「icsDomainNotAllowed」84 ページ
- 「icsDoubleBook」86 ページ
- 「icsDWPBackEndHosts」87 ページ
- 「icsDWPHost」87 ページ
- 「icsExtended」88 ページ
- 「icsExtendedDomainPrefs」88 ページ
- 「icsExtendedGroupPrefs」89 ページ
- 「icsExtendedResourcePrefs」89 ページ
- 「icsExtendedUserPrefs」90 ページ

- 「icsFirstDay」94 ページ
- 「icsFreeBusy」94 ページ
- 「icsGeo」95 ページ
- 「icsMandatorySubscribed」95 ページ
- 「icsMandatoryView」96 ページ
- 「icsPartition」96 ページ
- 「icsPreferredHost」97 ページ
- 「icsQuota」98 ページ
- 「icsRecurrenceBound」98 ページ
- 「icsRecurrenceDate」99 ページ
- 「icsRegularExpressions」99 ページ
- 「icsSessionTimeout」100 ページ
- 「icsSet」100 ページ
- 「icsSourceHtml」102 ページ
- 「icsStatus」102 ページ
- 「icsSubscribed」103 ページ
- 「icsTimezone」104 ページ
- 「inetCanonicalDomainName」105 ページ
- 「inetCOS」106 ページ
- 「inetDomainBaseDN」106 ページ
- 「inetDomainCertMap」107 ページ
- 「inetDomainSearchFilter」107 ページ
- 「inetDomainStatus」109 ページ
- 「inetMailGroupStatus」110 ページ
- 「inetResourceStatus」111 ページ
- 「inetSubscriberAccountId」111 ページ
- 「inetSubscriberChallenge」112 ページ

- 「inetSubscriberResponse」113 ページ
- 「inetUserHttpURL」113 ページ
- 「inetUserStatus」114 ページ
- 「mail」115 ページ
- 「mailAccessProxyPreAuth」116 ページ
- 「mailAccessProxyReplay」116 ページ
- 「mailAdminRole」118 ページ
- 「mailAllowedServiceAccess」118 ページ
- 「mailAlternateAddress」121 ページ
- 「mailAutoReplyMode」122 ページ
- 「mailAutoReplySubject」123 ページ
- 「mailAutoReplyText」124 ページ
- 「mailAutoReplyTextInternal」124 ページ
- 「mailAutoReplyTimeOut」125 ページ
- 「mailClientAttachmentQuota」125 ページ
- 「mailConversionTag」126 ページ
- 「mailDeferProcessing」127 ページ
- 「mailDeliveryFileURL」128 ページ
- 「mailDeliveryOption」128 ページ
- 「mailDomainAllowedServiceAccess」129 ページ
- 「mailDomainCatchallAddress」132 ページ
- 「mailDomainConversionTag」132 ページ
- 「mailDomainDiskQuota」133 ページ
- 「mailDomainMsgMaxBlocks」134 ページ
- 「mailDomainMsgQuota」134 ページ
- 「mailDomainReportAddress」135 ページ
- 「mailDomainSieveRuleSource」135 ページ

- 「mailDomainStatus」136 ページ
- 「mailDomainWelcomeMessage」137 ページ
- 「mailEquivalentAddress」138 ページ
- 「mailForwardingAddress」139 ページ
- 「mailHost」139 ページ
- 「mailMessageStore」140 ページ
- 「mailMsgMaxBlocks」140 ページ
- 「mailMsgQuota」141 ページ
- 「mailProgramDeliveryInfo」142 ページ
- 「mailQuota」142 ページ
- 「mailRejectText」143 ページ
- 「mailRoutingAddress」144 ページ
- 「mailRoutingHosts」144 ページ
- 「mailRoutingSmartHost」145 ページ
- 「mailSieveRuleSource」146 ページ
- 「mailSMTPSubmitChannel」148 ページ
- 「mailUserStatus」148 ページ
- 「maxPabEntries」150 ページ
- 「memberOf」150 ページ
- 「memberOfManagedGroup」151 ページ
- 「memberOfPAB」151 ページ
- 「memberOfPABGroup」152 ページ
- 「mgmanAllowSubscribe」152 ページ
- 「mgmanDenySubscribe」153 ページ
- 「mgmanGoodbyeText」154 ページ
- 「mgmanHidden」154 ページ
- 「mgmanIntroText」155 ページ

- 「mgmanJoinability」155 ページ
- 「mgmanMemberVisibility」156 ページ
- 「mgmanVisibility」157 ページ
- 「mgrpAddHeader」157 ページ
- 「mgrpAllowedBroadcaster」158 ページ
- 「mgrpAllowedDomain」159 ページ
- 「mgrpAuthPassword」160 ページ
- 「mgrpBroadcasterPolicy」160 ページ
- 「mgrpDeliverTo」161 ページ
- 「mgrpDisallowedBroadcaster」162 ページ
- 「mgrpDisallowedDomain」163 ページ
- 「mgrpErrorsTo」163 ページ
- 「mgrpModerator」164 ページ
- 「mgrpMsgMaxSize」165 ページ
- 「mgrpMsgPrefixText」166 ページ
- 「mgrpMsgRejectAction」166 ページ
- 「mgrpMsgRejectText」167 ページ
- 「mgrpMsgSuffixText」168 ページ
- 「mgrpNoDuplicateChecks」168 ページ
- 「mgrpRemoveHeader」169 ページ
- 「mgrpRequestTo」170 ページ
- 「mgrpRFC822MailMember」170 ページ
- 「mnggrpAdditionPolicy」171 ページ
- 「mnggrpBillableUser」172 ページ
- 「mnggrpCurrentUsers」172 ページ
- 「mnggrpDeletionPolicy」173 ページ
- 「mnggrpMailQuota」173 ページ

- 「mnggrpMaxUsers」174 ページ
- 「mnggrpStatus」174 ページ
- 「mnggrpUserClassOfServices」175 ページ
- 「msgVanityDomain」176 ページ
- 「multiLineDescription」176 ページ
- 「nickName」177 ページ
- 「nsDefaultMaxDeptSize」178 ページ
- 「nsMaxDepts」178 ページ
- 「nsMaxDomains」179 ページ
- 「nsMaxMailLists」179 ページ
- 「nsMaxUsers」180 ページ
- 「nsNumDepts」180 ページ
- 「nsNumDomains」181 ページ
- 「nsNumMailLists」181 ページ
- 「nsNumUsers」182 ページ
- 「nsSearchFilter」182 ページ
- 「nsdaCapability」183 ページ
- 「nsdaDomain」184 ページ
- 「nsdaModifiableBy」184 ページ
- 「nswmExtendedUserPrefs」185 ページ
- 「o」186 ページ
- 「objectClass」187 ページ
- 「organizationName」187 ページ
- 「organizationUnitName (「ou」を参照)」188 ページ
- 「ou」188 ページ
- 「owner」188 ページ
- 「pabURI」189 ページ

- 「postalAddress」190 ページ
- 「preferredLanguage」190 ページ
- 「preferredMailHost」191 ページ
- 「preferredMailMessageStore」192 ページ
- 「seeAlso」192 ページ
- 「sn」193 ページ
- 「telephoneNumber」193 ページ
- 「uid」194 ページ
- 「un」194 ページ
- 「uniqueMember」195 ページ
- 「userid (「uid」 を参照)」196 ページ
- 「userPassword」196 ページ
- 「vacationEndDate」197 ページ
- 「vacationStartDate」197 ページ

属性の定義

adminRole

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis

オブジェクトクラス
`inetAdmin`

定義
この管理者エントリについての管理者の役割を指定します。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.601

aliasedObjectName

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
dn

オブジェクトクラス
`inetDomainAlias`

定義
ディレクトリ内のエイリアスエントリを識別するために、ディレクトリサーバによって使用されます。エントリのエイリアスである、エントリの識別名が含まれます。

例
`aliasedObjectName= cn=jdoe, o=sesta.com`

OID
2.5.4.1

businessCategory

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
groupOfUniqueNames

定義
このエントリがかかわるビジネスのタイプを識別します。これは、会社の部レベルのように大まかな一般化された値にする必要があります。

例
businessCategory = Engineering

OID
2.5.4.15

calCalURI

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
pabPerson

定義
ユーザのデフォルトカレンダー全体への URI を含みます。詳細は、RFC 2739 を参照してください。

例
実装された Calendar Server のバージョンに応じて変化します。詳細は、RFC 2739 を参照してください。

OID
1.2.840.113556.1.4.478

calFBURL

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`pabPerson`

定義
ユーザのデフォルトのビジータイムデータへの URL。詳細は、RFC 2739 を参照してください。

例
実装された calendar server のバージョンに応じて変化します。詳細は、RFC 2739 を参照してください。

OID
1.2.840.113556.1.4.479

cn

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarResource`, `icsCalendarUser`, `inetResource`

定義
ユーザの場合、その人の氏名。リソースの場合、一意の識別子。どちらの場合も、スペースと特殊文字を含んでいてもかまいません。これは、`commonName` の省略形です。

例
ユーザの場合： cn = John Doe リソースの場合 :cn = Conference Room #3

または

```
commonName = John Doe;commonName = Conference Room #3
```

OID
2.5.4.3

co

初出
LDAP

構文
cis

オブジェクトクラス
pabPerson

定義
2 文字のコードを使用した国名を含みます。これは、countryName の省略形です。

friendlyCountryName 属性は、実際の国名を略さずに書くために使用されます。

例
```
co = IE
```

または

```
countryName = IE
friendlyCountryName = Ireland
```

OID
2.5.4.4

commonName (「cn」を参照)

countryName (「co」を参照)

dataSource

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetMailUser`, `inetMailGroup`

定義
タグまたは識別子を格納するためのテキストフィールド。この値が操作に影響を与えることはありません。

例
`dataSource=1.0`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.779

dateOfBirth

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
pabPerson

定義
pabPerson の誕生日。形式は、YYYYMMDD です。

例
dateOfBirth=19740404
(1974 年 4 月 6 日の誕生日)

OID
2.16.840.1.113730.3.1.779

dc

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetDomainAlias

定義
ドメインエイリアスエントリのドメインコンポーネント。

例
ドメインエイリアスエントリの DN が dc=sesta、dc=fr、o=internet の場合、dc の値は sesta です。

OID
0.9.2342.19200300.100.1.25

description

初出
LDAP

構文
cis

オブジェクトクラス
`icsCalendarDWPHost`, `icsCalendarResource`, `groupOfUniqueNames`, `inetManagedGroup`, `pab`, `pabGroup`

定義
人が読むことが可能なオブジェクト記述。対象が人または組織で、役割や仕事の割り当てが含まれることがよくあります。

例
description = Quality control inspector

OID
2.5.4.13

domainUidSeparator

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetDomainAuthInfo`

定義

この属性は、デフォルトのメールボックス (MB) のホームをオーバライドするために、メッセージングサーバによって使用されます。この属性が存在する場合は、複合したユーザ ID (UID) がこのドメイン内で使用されることを示します。また、この属性で区切り文字を指定します。たとえば、+ が区切り文字の場合、このドメインのメールボックス名は、uid の右端の + を @ で置き換えて取得されます。内部のメールボックス名を UID に対応付ける場合は、メールボックス名内の右端の @ が + で置き換えられます。

UID 区切り文字の @ の置換はメールボックス名を生成するには十分ですが、これはユーザの実際の電子メールアドレスと同じでない場合があります。

注 内部メールボックス名のフォーマットは `uid@domain` で、この「domain」は、ネームスペースへの DNS ドメインのマッピングです。この規則に対する唯一の例外は、デフォルトドメイン内のユーザ用のメールボックス名です。ここでは、内部メールボックス名を作成するために `uid` だけが使用されます。ドメイン名が使用するデフォルト値が特定のケースでどのようにしてオーバライドされるかについては、「`inetCanonicalDomainName`」を参照してください。

例

```
domainUIDSeparator=#
```

OID

2.16.840.1.113730.3.1.702

domOrgMaxUsers

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、single-valued

オブジェクトクラス

`inetDomainOrg`

定義
ドメイン組織内のユーザエントリの最大数

例
`domOrgMaxUser=500`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.697

domOrgNumUsers

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetDomainOrg`

定義
ドメイン組織内の現在のユーザエントリ数。

例
`domOrgNumUsers=345`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.698

facsimileTelephoneNumber

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
tel、single-valued

オブジェクトクラス
icsCalendarResource, inetResource

定義
リソースのファックス番号

例
1-800-555-1212

OID
2.5.4.23

givenName

初出
LDAP

構文
cis

オブジェクトクラス
icsCalendarUser

定義
このエントリの名 (given name) を指定します。通常は人のファーストネームになります。

例
givenName = John

OID
2.5.4.42

icsAdminRole

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis

オブジェクトクラス
icsAdministrator

定義
1 つのグループに割り当て可能なカレンダー管理ロール。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.724

icsAlias

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis、UTF8 エンコード

オブジェクトクラス
icsCalendarResource

定義
リソースに関連付けられたエイリアス。エイリアスによりエンドユーザが簡単にリソース名を扱うことができます。

例
「halleyscomet」という名前のリソースは、「Halley's Comet」というエイリアスを作ることができます。

```
icsAlias = Halley’s Comet
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.725

icsAllowedServiceAcess

初出
現在使用されていない

構文
cis、single-valued (「mailAllowedServiceAccess」を参照)

オブジェクトクラス
icsCalendarDomain, icsCalendarUser

定義
アクセスフィルタ (ルール) を使用して、どのカレンダーアクセスプロトコルが使用可能かを指定します。ルールが指定されていないと、ユーザまたはドメインは、すべてのクライアントからすべてのプロトコルにアクセスすることできます。ルールはドル記号 ($) で区切ります。ルールの評価方法は次のとおりです。

- クライアント情報が対象のサービスの許可フィルタに一致した場合は、アクセスが許可される
- クライアント情報がそのサービスの拒否フィルタに一致した場合は、アクセスが拒否される
- 許可フィルタと拒否フィルタのどちらにも一致しない場合は、アクセスが許可される。ただし、許可フィルタが存在し、拒否フィルタがない場合は、一致しないとアクセスが拒否される

構文ルール
"+" または "-" <daemon_list>":"<client_list>

+ (許可フィルタ) は、クライアントリストにデーモンリストサービスが許可されていることを意味します。

- (拒否フィルタ) は、クライアントリストにデーモンリストサービスが拒否されていることを意味します。

daemon_list は、アクセスが許可または拒否されるサービスを、カンマ区切りで列挙します。

有効なサービス名は wcap です。

client_list は、アクセスが許可または拒否されるクライアント (ドメイン) を、カンマ区切りで列挙します。

クライアントリスト (ドメイン) の代わりにワイルドカードを使用することができます。次の表に有効なワイルドカードとその意味を示します。

表 3-1 有効なワイルドカードおよびその意味

ワイルドカード	意味
ALL, *	汎用のワイルドカード。すべての名前に一致する。
DNSSPOOFER	IP アドレスと DNS 名が一致しないすべてのホストに一致する。
KNOWN	名前およびアドレスが既知のすべてのホストに一致する。使用するときは十分注意する。
LOCAL	すべてのローカルホスト (ドット文字を含まない名前を持つホスト) に一致する。標準名のみを使用しているシステムの場合は、ローカルホスト名にもドットがあるため、このワイルドカードに一致しない。
UNKNOWN	名前またはアドレスが不明なすべてのホストに一致する。使用するときは十分注意する。

デーモンリスト (サービス) の代わりに次のワイルドカードを使用できます。*, ALL

Except 演算子

アクセス制御システムは演算子 EXCEPT だけをサポートしています。この EXCEPT 演算子をルールのデーモンリストおよびクライアントリストで見つかったパターンの例外を作成するために使用できます。EXCEPT 節はネストすることができます。ルールに複数の EXCEPT 節がある場合、それらは右から左へ評価します。

EXCEPT の書式は次のとおりです。

```
list 1 EXCEPT list 2
```

リストはサービスまたはクライアントのカンマ区切りリストです。

例

```
icsAllowedServiceAccess = +wcap:*
```

OID

2.16.840.1.113730.3.1.726

icsAllowRights

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarDomain`

定義
特定のユーザ権利を許可しないビットフィールドとして評価される、32 ビットの整数。このフィールドが設定されていると (1)、権利は許可されません。このビットが設定されていない場合 (0) は、権利は許可されます。

ビットの定義は次のとおりです。

0	カレンダーの作成の許可および拒否
1	カレンダーの削除の許可および拒否
2	公に書き込み可能なカレンダーの許可および拒否
3	公に読み込み可能なカレンダーの許可および拒否
4	ユーザ設定の変更の許可および拒否
5	ユーザパスワードの変更の許可および拒否
6	ユーザのデフォルトのカレンダーに関する変更の許可および拒否
7	URL としての CALID の許可および拒否
8	ユーザカレンダーの重複の許可および拒否
9	リソースカレンダーの重複の許可および拒否
10 - 15	保留

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.727

icsAnonymousAllowWrite

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
ブール型 (Yes または No)

オブジェクトクラス
`icsCalendarDomain`

定義
匿名ユーザが公開カレンダーにイベントを書き込めるかどうかを指定します。

例
```
icsAnonymousAllowWrite = Yes
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.728

icsAnonymousCalendar

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
ces

オブジェクトクラス
`icsCalendarDomain`

定義
匿名ユーザのカレンダー ID。

例
```
icsAnonymousCalendar = Guest1
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.729

icsAnonymousDefaultSet

初出
実装されていません。

構文
ces、UTF8 エンコード

オブジェクトクラス
`icsCalendarDomain`

定義
匿名ユーザのデフォルトのカレンダーセット。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.730

icsAnonymousLogin

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
ブール型 (Yes または No)

オブジェクトクラス
`icsCalendarDomain`

定義
匿名ログインを許可するかどうかを指定します。

例
```
icsAnonymousLogin = Yes
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.798

icsAnonymousSet

初出
実装されていません。

構文
ces、UTF8 エンコード

オブジェクトクラス
`icsCalendarDomain`

定義
匿名ユーザのデフォルトのカレンダーセット。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.732

icsCalendar

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
ces、single-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarResource`, `icsCalendarUser`

定義
ユーザまたはリソースのためのデフォルトのカレンダー

例
`icsCalendar = jdoe`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.731

icsCalendarOwned

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
ces、single-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarUser`

定義
ユーザまたはリソースのためのデフォルトのカレンダー

例
`icsCalendar = jdoe`

OID
1.3.6.1.4.1.42.2.27.9.1.6

icsCapacity

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス

定義
保留。実装されていません。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.800

icsContact

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis、UTF8 エンコード

オブジェクトクラス
`icsCalendarResource`

定義
リソースのコンタクト名。予約済、実装されていません。

例
icsContact = John Doe jdoe@sesta.com

OID
2.16.840.1.113730.3.1.733

icsDefaultAccess

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis

オブジェクトクラス

定義
予約済、実装されていません。

このカレンダーに適用されたデフォルトのアクセス制御。アクセス制御エントリの詳細は、『iPlanet Calendar Server プログラマーズマニュアル』の「WCAP コマンド」章の「アクセス制御エントリ」を参照してください。

例
カレンダーコンポーネントのフリー / ビジーとスケジュール権の両方をユーザに許可する。

icsDefaultAccess = @sesta.com^c^sf^g

OID
2.16.840.1.113730.3.1.734

icsDefaultSet

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
ces、single-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarUser`

定義
ログイン時にどのカレンダーを表示するかについてのユーザ設定。ユーザは、ログイン時に表示されるカレンダーを、単一のカレンダーでなく任意のカレンダーセット (作成したカレンダーのグループ) で指定することができます。

例
```
icsDefaultSet=MyCalendarGroup
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.735

icsDomainAllowed

初出
実装されていません。

構文
cis、single-valued (「mgrpAllowedDomain」を参照)

オブジェクトクラス
icsCalendarDomain

定義
どのドメインが許可されるか。この値の形式は、次のとおりです。

daemon-list:client-list

daemon-list の部分は、空白文字またはカンマで区切られた 1 つまたは複数のデーモン名またはワイルドカードのリスト、client-list の部分は空白文字またはカンマで区切られた 1 つまたは複数のホスト名またはアドレス、パターンまたはワイルドカードのリストになります。

システムで認識されている明確なワイルドカードは次のとおりです。

ALL	常に一致する
LOCAL	ドット文字を含まない名前を持つホストに一致する
UNKNOWN	名前またはアドレスが不明なすべてのホストに一致する。使用するときは十分注意する
KNOWN	名前およびアドレスが既知のすべてのホストに一致する。使用するときは十分注意する
DNSSPOOFER	ホストのアドレスと一致しない名前を持つすべてのホストに一致する。

daemon-list および client-list で使用できる演算子は 1 つだけです。

EXCEPT	リスト 2 で一致しない限り、リスト 1 で一致する。 形式は次のようになります。list1 EXCEPT list2. list1 と list2 は、カンマで区切られています。

パターンを使用して、接続可能なネットワークアドレスでクライアントを識別することができます。例 : daemon@host_pattern:client-list

例
sesta.com ドメインの誰にでもローカルアクセスを許可します。

icsDomainAllowed = ALL:sesta.com

OID
2.16.840.1.113730.3.1.736

icsDomainNames

初出
iPlanet Calendar Server 5.1.1

構文
cis、multi-valued、ASCII

オブジェクトクラス
`icsCalendarDWPHost`

定義
このホストがカレンダーを持つ、カンマで区切られたすべてのドメイン名のリスト。属性が空の場合、どのドメインも許可されません。1 つのドメインが許可されると、許可されたドメインをここで明確に列挙する必要があります。

例
icsDomainNames = sesta.com,company22.com

OID
1.3.6.1.4.1.42.2.27.9.1.3

icsDomainNotAllowed

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis、single-valued (「mgrpDisallowedDomain」を参照)

オブジェクトクラス
icsCalendarDomain

定義
許可されないドメイン。形式は、次のとおりです。

daemon-list:client-list

daemon-list の部分は、空白文字またはカンマで区切られた 1 つまたは複数のデーモン名またはワイルドカードのリスト、client-list の部分は空白文字またはカンマで区切られた 1 つまたは複数のホスト名、アドレス、パターン、またはワイルドカードのリストになります。

システムで認識されている明示的なワイルドカードは次のとおりです。

ALL	常に一致する
LOCAL	ドット文字を含まない名前を持つホストに一致する
UNKNOWN	名前またはアドレスが不明なすべてのホストに一致する。使用するときは十分注意する
KNOWN	名前およびアドレスが既知のホストに一致する。使用するときは十分注意する
DNSSPOOFER	ホストのアドレスと一致しない名前を持つすべてのホストに一致する

daemon-list および client-list で使用できる演算子は 1 つだけです。

EXCEPT	リスト 2 で一致しない限り、リスト 1 で一致する。 形式は次のようになります。list1 EXCEPT list2. list1 と list2 は、カンマで区切られています。

例 1 :
選択した少数のホスト以外のすべてにアクセスできるようにする場合、次の例のように明示的にアクセスを拒否できます。

company22.com ドメインのアクセスはいずれも拒否します。

icsDomainNotAllowed = ALL:company22.com

この場合、icsDomainAllowed 属性を持つ必要はありません。

例 2 :
デフォルトをアクセスなしにする場合、この属性の 1 つのインスタンスで可能になります。これは、icsDomainAllowed 属性で特別にアクセスを許可されていない限り、すべてのホストに対するすべてのサービスを拒否します。

icsDomainNotAllowed = ALL:ALL

例 3 :
次の例は、未知のユーザに対するアクセスの拒否方法を示しています。

icsDomainNotAllowed = ALL:UNKNOWN@ALL

OID
2.16.840.1.113730.3.1.737

icsDoubleBook

初出
Sun ONE Calendar Server 5.1.1

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarResource`, `icsCalendarUser`

定義
まだ実装されていません。

この機能は、次の 2 つの `ics.conf` の 設定で扱われています。`resource.allow.doublebook`、および `user.allow.doublebook` リソースのデフォルト設定が「no」になっている場合、リソースの重複ができないことを示しています。ユーザのデフォルト設定が「yes」になっている場合、ユーザのカレンダーで重複が可能になっていることを示しています。

これらの設定値は、管理者が変更できます。

例

OID

icsDWPBackEndHosts

初出
Sun ONE Calendar Server 5.1.1

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarDomain`

定義
可能なバックエンドホストを格納します。

例
`icsDWPBackEndHosts = machine1, machine2`

完全指定ホスト名になるマシン名。

OID
1.3.6.1.4.1.42.2.27.9.1.5

icsDWPHost

初出
iPlanet Calendar Server 5.1.1

構文
cis、single-valued、ASCII

オブジェクトクラス
`icsCalendarDWPHost`, `icsCalendarResource`, `icsCalendarUser`

定義
カレンダー ID がカレンダーとそのデータを格納する DWP サーバで解決できるように、DWP ホスト名を格納します。

例
```
icsDWPHost = calserv1
```

OID
1.3.6.1.4.1.42.2.27.9.1.1

icsExtended

初出
Sun ONE Calendar Server 5.1.1

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarDWPHost`

定義
カレンダーの拡張機能。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.738

icsExtendedDomainPrefs

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarDomain`

定義
各設定ごとに、この属性のインスタンスが 1 ずつ存在します。

例
icsExtendedDomainPrefs =

OID
2.16.840.1.113730.3.1.739

icsExtendedGroupPrefs

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis

オブジェクトクラス
`icsAdministrator`

定義
カレンダーのグループ設定についての拡張。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.740

icsExtendedResourcePrefs

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis

オブジェクトクラス

定義
保留。実装されていません。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.741

icsExtendedUserPrefs

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarUser`

定義
カレンダーのユーザ設定についての拡張。次に示すのは、設定とその値です。

設定	値	定義
ceAllCalendarTZIDS	標準のタイムゾーン	このカレンダーのタイムゾーン TZID
ceClock	`12,24`	12 時間形式または 24 時間形式のどちらを使用するかを定義します。

ceColorSet	`pref_group1`
	`pref_group2`
	`pref_group3`
	`pref_group4`
	`pref_group7`
		5 つの UI カラースキーマのどれを使用するかを定義します。

ceDateOrder	`M/D/Y`
	`D/M/Y`
	`Y/M/D`
		日付の 3 つの要素 (月 (M)、日 (D)、年 (Y)) が表示される順序を指定します。

設定	値	定義
ceDateSeparator	印刷可能な単一の文字。例 : / または -	表示される日付の要素 (M、D、Y) を区切るために使用される単一の文字です。 たとえば、日付は「12/22/2002」のように表示できます。12/22/2002.
ceDayHead	`0 - 23`	カレンダー情報の表示の開始時刻 (1 日 24 時間のうちの 1 つで表示)
ceDayTail	`0 - 23`	カレンダー情報の表示の終了時刻 (1 日 24 時間のうちの 1 つで表示)
cdDefaultAgenda		
cdDefaultAlarmEmail	空白スペースで区切られた電子メールアドレス	イベントアラームの送信先の電子メールアドレス
ceDefaultAlarmStart	P[unit count][unit type]	イベントアラームが送信されるまでの時間。`unit count` は任意の数値で、`unit type` は「M (分)」、「H (時)」、または「D (日)」のどれかにします。 例 :`P10M`
ceDefaultTZID	標準のタイムゾーンのうちの 1 つ タイムゾーンの一覧は、「標準のタイムゾーン」を参照	カレンダーにタイムゾーンが割り当てられない場合に使用するタイムゾーン

ceDefaultView	`dayview`
	`weekview`
	`monthview`
	`yearview`
	`groupview`
		ログイン時に表示されるビュー
		このパラメータが存在しないと、デフォルトとして `overview` が使用されます。
		(「groupview」は、ユーザインタフェースの「比較ビュー」です)

ceExludeSatSun		

設定	値	定義
ceFontFace	次の値のうちの 1 つ 1) `Times New Roman、Times、serif` 2) `Courier New、Courier、noon` 3) `PrimaSans BT、Verdana、sans-serif`	ユーザインタフェースで使用するフォントの種類を 3 つの中から選択できます。
ceFontSizeDelta	`pref_font_size_group_2` (標準) `pref_font_size_group_1` (大) `pref_font_size_group_3` (小)	ユーザインタフェースに 3 つのフォントサイズを定義します。インタフェース内では次のように定義されます。 `normal、larger、smaller`
ceGroupInviteAll		
ceInterval	PT0H15M PT0H30M PT1H0M PT2H0M PT4H0M	カレンダー情報の表示に使用される時間間隔を定義します。 時間間隔は、15 分、30 分、1 時間、2 時間、4 時間です
ceNotifyEmail	RFC 822 の有効な電子メールアドレス	カレンダーがイベントへの出席依頼を受信したときに通知がメールされる電子メールアドレス。
ceNotifyEnable	`0,1`	カレンダーがイベントへの出席依頼を受信したときに、電子メールで通知を送信します、または送信しません。 `0` = 通知を送信しない `1` = 通知を送信する
ceSingleCalendarTZID	任意の有効なタイムゾーン 有効なタイムゾーンの一覧は、「標準のタイムゾーン」を参照	このカレンダーに割り当てるタイムゾーンのリスト このパラメータが指定されないと、デフォルトのタイムゾーンが使用されます。 例 :America/Los_Angeles
ceToolImage	`0,1`	ユーザインタフェースで、ツールバー上にアイコンを表示するかどうかを切り替えます。 `0` = アイコンを表示しない `1` = アイコンを表示する (デフォルト)

設定	値	定義
ceToolText	0, 1	ユーザインタフェースで、ツールバー上にアイコンテキストを表示するかどうかを切り替えます。 0 = アイコンにテキストを表示しない 1 = アイコンにテキストを表示する (デフォルト)

注 ceToolImage および ceToolText に関して、ユーザインタフェースでは、ツールバーに対する選択肢は 3 つしかありません。アイコンとテキストの両方を表示するか (属性値は 1、1)、アイコンだけを表示するか (属性値は 1、0)、またはテキストだけを表示するか (属性値は 0、1) です。アイコンとテキストの両方を表示しないようにする (属性値が 0、0) ことは、ユーザに許可されていません。

例

```
icsextendeduserprefs= ceClock=12

icsextendeduserprefs= ceColorSet=pref_group_1

icsextendeduserprefs= ceDateOrder=D/M/Y

icsextendeduserprefs= cdDateSeparator=/

icsextendeduserprefs= ceDayHead=10

icsextendeduserprefs= ceDayTail=17

icsextendeduserprefs= ceDefaultAlarmEmail=jdoe@sesta.com

icsextendeduserprefs= ceDefaultAlarmStart=P30H

icsextendeduserprefs= cdDefaultTZID=America/New_York

icsextendeduserprefs= ceDefaultView=groupview

icsextendeduserprefs= ceFontFace=PrimaSans BT,Verdana,sans-serif

icsextendeduserprefs= ceFontSizeDelta=pref_font_size_group_3

icsextendeduserprefs= ceInterval=PT2H0M

icsextendeduserprefs= ceNotifyEmail=jdoe@sesta.com

icsextendeduserprefs= ceNotifyEnable=0

icsextendeduserprefs= ceSingleCalendarTZID=America/Los_Angeles
```

```
icsextendeduserprefs= ceToolText=1
icsextendeduserprefs= ceToolImage=1
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.742

icsFirstDay

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarUser`

定義
ユーザのカレンダーに表示される週の最初の日

値の範囲 : 1-7、1 = 日、2 = 月、3= 火、4 = 水、5 = 木、6 = 金、7 = 土

例
`icsFirstDay = 1`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.743

icsFreeBusy

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
ces、single-valued

オブジェクトクラス

定義
保留。実装されていません。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.744

icsGeo

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis、single-valued

緯度、経度

オブジェクトクラス

定義
ユーザまたはリソースの地理的な位置。保留。実装されていません。

例
このクラスは RFC 仕様に準拠するためにだけ存在し、使用されていません。

OID
2.16.840.1.113730.3.1.745

icsMandatorySubscribed

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
ces

オブジェクトクラス
icsCalendarDomain

定義
あるドメインの全ユーザに必須の購読カレンダーの有効なカレンダー ID。

例
icsMandatorySubscribed = ConfRm1@sesta.com:meetings

OID
2.16.840.1.113730.3.1.746

icsMandatoryView

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis

オブジェクトクラス
icsCalendarDomain

定義
1 ドメインでのすべてのカレンダーに必須のデフォルトのビュー。ビューには、概要、日別、週別、月別、年別、比較があります。

例
icsMandatoryView = overview

OID
2.16.840.1.113730.3.1.747

icsPartition

初出
iPlanet Calendar Server 5.1.1

構文
cis、single-valued、ASCII

オブジェクトクラス
`icsCalendarResource`, `icsCalendarUser`

定義
保留。実装されていません。

カレンダーデータベースを持つパーティションの名前。デフォルト値はありません。

例
`icsPartition=partition1`

OID
1.3.6.1.4.1.42.2.27.9.1.4

icsPreferredHost

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス

定義
保留。実装されていません。

このカレンダーの優先ホストを指定します。この属性は、フロントエンドホストサーバ名を抽出するためにクライアントによって使用されます。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.749

icsQuota

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス

定義
保留。実装されていません。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.748

icsRecurrenceBound

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarDomain`

定義
イベントに作成されたインスタンスおよび無限に繰り返される todo の数。

例
```
icsRecurrenceBound = 60
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.750

icsRecurrenceDate

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarDomain`

定義
無限の繰り返されるイベントおよび toda の最大日数を指定する ISO8601 日付 / 時間文字列。

例
icsRecurrenceDate = 20300365T115959Z

OID
2.16.840.1.113730.3.1.751

icsRegularExpressions

初出
iPlanet Calendar Server 5.1.1

構文
ces、multi-valued、UTF8

オブジェクトクラス
`icsCalendarDWPHost`

定義
LDAP データベースを複数のサーバに分割するために使用する正規表現を格納します。

例
`icsRegularExpressions=A-F,G-L,M-T,U-Z`

A-F、G-L、M-T、U-Z は、この属性のインスタンスに使用可能な値であり、データベースがアルファベット順に 4 つのサーバに分けられているのを表しています。

OID

1.3.6.1.4.1.42.2.27.9.1.2

icsSessionTimeout

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarDomain`

定義
一定秒数アクティブでない場合、ユーザセッションがタイムアウトする。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.752

icsSet

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
`icsAnonymousSet,icsCalendarUser,icsDefaultAnonymousSet`

定義

カレンダーの 1 グループを定義します。さまざまな作業用にエンドユーザがこのようなグループを作成します。各グループは 1 つの icsSet 属性で表されます。つまり、ユーザが作成するグループごとに、1 つの icsSet 属性があります。たとえば、ユーザが 3 つのグループを定義すると、3 つの icsSet 属性ができます。

この属性の値は 6 つの部分に分かれた文字列で、各部分はドル記号 ($) で区切ります。

この属性の 6 つの各部の値は次のとおりです。

name	必須	このグループの表示名
calendars	必須	このグループを形成するカレンダーのカレンダー ID (calid) をセミコロンで区切ったリスト
tzmode	必須	「default」、「inherit」、「specify」の 3 つの値が可能です。この値で、このグループのタイムゾーンが何に由来しているかを示します。 default = ユーザのデフォルトのタイムゾーンから inherit = グループ内の最初のカレンダーから specify = 次の「tz」の値から
tz	「tzmode = specify」以外は不要	このグループの有効なタイムゾーン。受け入れ可能な値の一覧は、「標準のタイムゾーン」を参照。「tzmode = specify」が指定されていれば必須ですが、それ以外のときはオプションです。
mergeInDayView	必須	論理値 (TRUE/FALSE)。この値で、このグループを「日別」に表示するか (TRUE)、「比較ビュー」に表示するか (FALSE) を示します。
description	オプション	文字列。カレンダーの説明で、オプションです。

例

この属性の値は 1 行に収まるはずですが、複数行にわたる場合は、1 個のスペースまたはタブで次の行を始めます。

```
icsSet = name = GroupName$ calendars = calid1;
calid2; calid3$tzmode = specify$tz = America/
Los_Angeles$mergeInDayView = FALSE$description
= Example group of calendars.
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.753

icsSourceHtml

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
ces、single-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarDomain`

定義
すべてのクライアント HTML ファイルの代替場所。インストールされたクライアント HTML ファイルに相対するディレクトリパス。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.754

icsStatus

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス

定義
保留。実装されていません。

次の有効値のうちのいずれかを持つカレンダーステータス。

active	このユーザカレンダー、リソース、またはドメインが有効になっています
inactive	このユーザカレンダー、リソース、またはドメインは使用できません
deleted	このユーザカレンダー、リソース、またはドメインは削除対象としてマークされます。リソースの場合、このオブジェクトに関連するリソースがカレンダーシステムから削除されることを示していますが、エントリはディレクトリの中に残ります。ドメインの場合、そのドメイン内のすべてのユーザとリソースに関連するすべてのカレンダーが削除されます すべてのエントリがディレクトリ内に残りますが、これらのユーザ、リソース、ドメインのカレンダーだけに関連するオブジェクトクラスが削除されます。 たとえば、icsCalendarUser、icsCalendarResource、icsCalendarDomain は削除されます。これ以外に、ics 接頭辞が付いた属性はすべて削除されます

この属性がなければアクティブになります。

カレンダーサービスによって、次のステータス属性が順に評価されます。`inetDomainStatus`、(icsCalendarDomain の) icsStatus 、`inetResourceStatus`、または `inetUserStatus` および (icsCalendarResource または icsCalendarUser の) icsStatus

ルール：これらの属性のうちで 最初に `active` 以外に設定された属性が、ほかのすべての属性より優先されます。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.755

icsSubscribed

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
ces、multi-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarUser`

定義
このユーザが購読しているカレンダー ID のリスト

この属性の値はカレンダー ID であり、オプションで、ドル記号 ($) で区切られてカレンダー名が続きます。

例
```
icsSubscribed=jdoe$MyHomeCalendar
icsSubscribed=jsmith
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.756

icsTimezone

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis

オブジェクトクラス
`icsCalendarResource`, `icsCalendarUser`

定義
このユーザ、リソース、またはドメインのデフォルトのタイムゾーン。特に、201 ページの「オブジェクト識別子」でに掲載されているリストの有効なタイムゾーン。

例
```
icsTimezone = America/Chicago
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.757

inetCanonicalDomainName

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetDomainAuthInfo`

定義
この属性は、完全指定ドメイン名です。1 つの DC ツリー内の複数の DC ノードが組織ツリー内の同じ組織ノードを参照している場合、この属性はユーザのメールボックスを開くメール処理で使用する、標準ドメイン名の指定に使用されます。(標準ドメイン名は組織ノードにつき 1 つだけですが、このドメイン名を参照する DC ノードは複数存在できます。)

1 つの組織ノードを参照する DC ノードが 1 つしかない場合、この属性は必要ありません。属性がない場合、DC ノードエントリは標準ドメイン名を採用します。

この属性がなく、同じ組織ノードを参照する複数の DC ノードが存在する場合、メール処理はユーザのメールボックスを開くときに間違った名前を使用する可能性があります。

例
企業 `sesta.com` の場合、`dc=sesta` と `dc=sesta2` の 2 つの DC ノードが存在すると、両方とも組織ノード `o=sesta` を参照するため、2 つのうちの一方に次の属性を指定する必要があります。

```
inetCanonicalDomainName=sesta.com
```

したがって、次のようになります。

dn:dc=sesta,dc=com,o=internet
inetdomainbasedn:o=sesta.com
inetcanonicaldomainname:sesta.com

dn:dc=sesta2,dc=com,o=internet
inetdomainbasedn:o=sesta.com

OID
2.16.840.1.113730.3.1.701

inetCOS

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`ipUser`

定義
(組織ツリードメイン) ユーザエントリ内の属性に値を与える COS (サービスクラス) テンプレートの名前を指定します。 COS テンプレートの RDN が、この属性の値です。 テンプレートから与えられる属性値とそれらをオーバライドする規則は、 COS 定義内に指定されています。 COS 定義は、オブジェクトクラスの `cosDefinition` を使用して作成されます。 COS 定義のエントリ内にある `cosSpecifier` 属性の値が `inetCOS` に設定されます。 そのドメインのサブツリー内にある `ou=COS` コンテナに、 COS 定義とテンプレートを作成します。 詳細は、『*iPlanet Messaging Server Provisioning Guide*』を参照してください。

例
`inetCos=HallofFame`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.706

inetDomainBaseDN

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
dn、single-valued

オブジェクトクラス
`inetDomain`

定義
すべてのユーザおよびグループのエントリが格納される、カスタマの組織サブツリーの DN (DC ツリー)。この属性は必須であり、有効な組織サブツリーの DN を示す必要があります。Messaging Server のコンポーネントは、ホスト組織に対応するユーザエントリおよびグループエントリを検索するために、この DN を解決する必要があります。

例
`inetDomainBaseDN=o=sesta.com,o=siroe-isp.com`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.690

inetDomainCertMap

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
`inetDomainAuthInfo`

定義
予約済

例
TBD

OID
2.16.840.1.113730.3.1.700

inetDomainSearchFilter

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetDomainAuthInfo

定義
inetDomainBaseDN に指定されたサブツリー内でユーザを検索するときに使用する LDAP 検索フィルタ。ドメイン内のログイン名を LDAP エントリにマップするために、認証中に使用されます。フィルタの作成に次の変数を使用することができます。

- %U - ログイン名の名前の部分 (サーバ構成に格納されているログイン区切り文字より前の部分)
- %V - ログイン文字列のドメイン部分

この属性を指定しない場合は、uid=%U と等価になります。uid=john_siroe.com などの複合 uid でユーザが規定されるネームスペースでは、uid=%U_%V の検索フィルタが使用されます。ここで、john はユーザ ID、siroe.com はドメインです。これによって、ログイン文字列の john@siroe.com (@ はサービスのログイン区切り文字) が、siroe.com のエントリのネームスペースのサービスによって、検索要求にマップされます。ここでは、uid=john_siroe.com となります。この属性を使用する別の例として、社員を社員 ID に基づいてログインするサイトが挙げられます。ユーザエントリ内の empID 属性に社員 ID が格納されていると想定すると、検索フィルタは empID=%U になります。

この属性によって、 inetDomainBaseDN サブツリー内で完全に一致した有効ユーザが返されます。 この属性が設定されていない場合は、 uid 属性が inetDomainBaseDN サブツリー内で一意である必要があります。

例
inetDomainSearchFilter=uid=%U

OID
2.16.840.1.113730.3.1.699

inetDomainStatus

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetDomain`

定義
ドメインのグローバルステータスを指定します。この属性の目的は、管理者が、ドメインとドメイン内のすべてのユーザがドメインで有効なすべてのサービスに、一時的にアクセスを停止して再開すること、または永久に削除できるようにすることです。この属性は、3 つの値のうちの 1 つをとります。サポートされる値は、次のとおりです。

active	ドメインはアクティブであり、ドメイン内のユーザは、サービス特有のオブジェクトクラスのオーバーレイ、およびそのサービス特有のステータス属性に示されたサービス状態によって、有効にされたサービスを使用することができます。
inactive	ドメインはアクティブでありません。アカウントは、サービス特有のオブジェクトクラスにより許可されたいずれのサービスも使用できない場合があります。この状態は、サービスのステータス属性を使用して設定された個々のサービスステータスをオーバライドします。
deleted	ドメインは削除済みとマークされます。アカウントは、ディレクトリ内でこの状態にしばらくとどまります (削除されたユーザのパージは保留されます)。削除済みとマークが付けられたドメイン内のすべてのユーザが要求するサービスに対して、永続的な失敗が返されます。

値がないと、ステータスは `active` として扱われます。不正な値はすべて、`inactive` として扱われます。

メールサービスが確認する ステータス属性は 4 つあり、`inetDomainStatus`、`mailDomainStatus`、`inetUserStatus`、`mailUserStatus` の順に評価されます。ルール：これらの属性のうちで最初に `active` 以外に設定された属性が、ほかのすべての属性に優先します。

同様に、この属性はステータスを評価するときのカレンダーサービスにも使用されます。使用されるステータス属性は、(icsCalendarDomain の) inetDomainStatus、icsStatus、inetResourceStatus または inetUserStatus 、および (icsCalendarResource または icsCalendarUser の) icsStatus となります。

例
inetDomainStatus=active

OID
2.16.840.1.113730.3.1.691

inetMailGroupStatus

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroup

定義
メールグループの現在のステータスであり、active、inactive、または deleted になります。ステータスが active の場合、メーリングリストのメンバーにメッセージが配信されます。ステータスが inactive では、メーリングリストへ送信されたメッセージが一時的に失敗になります。deleted ステータスは、メーリングリストがディレクトリからパージされる可能性があることを意味します。このグループにメッセージが送信されると、永続的に失敗のメッセージが返されます。値がないと、ステータスは active とみなされます。不正な値はすべて、inactive として扱われます。

3 つのステータス属性 inetDomainStatus、mailDomainStatus、および inetMailGroupStatus は、相互に作用します。これらの属性は、ここに挙げた順に評価されます。最初に active であるステータスが、ほかのステータスの設定に優先します。

例
```
inetMailGroupStatus=active
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.786

inetResourceStatus

初出
iPlanet Calendar Server 5.1

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
```
inetResource
```

定義
現在のリソースステータス、active、inactive、または deleted のいずれかの値になります。

ステータスを決定するために評価されるいくつかのステータス属性があります。これらの属性は、`inetDomainStatus`、`icsStatus` (`icsCalendarDomain` の場合)、`inetResourceStatus`、`icsStatus` (`icsCalendarResource` の場合) の順に評価されます。これらの属性は、ここに挙げた順に評価されます。最初に `active` であるステータスが、ほかのステータスの設定に優先します。

例
```
inetResourceStatus = active
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.758

inetSubscriberAccountId

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
inetSubscriber

定義
宣伝の目的で使用される一意のアカウント ID。

例
inetSubscriberAccountId=A3560B0

OID
2.16.840.1.113730.3.1.694

inetSubscriberChallenge

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetSubscriber

定義
加入者を識別するために使用されるチャレンジフレーズを格納するための属性。inetSubscriberResponse とともに使用されます。

例
inetSubscriberChallenge=Mother's Maiden Name

OID
2.16.840.1.113730.3.1.695

inetSubscriberResponse

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetSubscriber`

定義
チャレンジフレーズへの応答を格納するための属性。

例
`inetSubscriberResponse=Mamasita`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.696

inetUserHttpURL

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetUser`

定義
Web コンテンツを公開するための、ユーザのプライマリ URL。これは情報を示す属性であり、電話帳タイプのアプリケーションで使用することができます。操作に影響を与えるものではありません。

例
`inetUserHttpURL=http://www.siroe.com/theotis`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.693

inetUserStatus

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetUser`

定義
ユーザアカウントのステータスをグローバルサーバのアクセスに関連して指定します。管理者は、この属性で指定したユーザアカウントによって、指定したユーザアカウントのすべてのサービスへのアクセスを一時的に停止、再開、または永久に削除したりすることができます。この属性は、次の 3 つの値のうちの 1 つをとります。

active	ユーザアカウントはアクティブであり、ユーザは、サービス特有のオブジェクトクラスのオーバーレイ、およびそのサービスのための特定のステータス属性に示されたサービス状態によって、有効にされたサービスをすべて使用することができます。たとえば、`mailUserStatus` と `inetDomainStatus` の両方が `active` に設定されていると、ユーザは電子メールシステムを使用することができます
inactive	ユーザアカウントはアクティブになっていません。アカウントは、サービス指向のオブジェクトクラスにより許可されたいずれのサービスも使用できません。この状態は、サービスのステータス属性を使用して設定された個々のサービスステータスをオーバライドします。
deleted	アカウントは削除済みとマークされます。アカウントは、ディレクトリ内でこの状態のまましばらくとどまります (削除されたユーザのパージは保留されます)。削除済みとマークが付けられたユーザが要求するサービスに対して、永続的な失敗が返されます。

値がないと、ステータスは active として扱われます。不正な値はすべて、inactive として扱われます。

メールサービスが確認する ステータス属性は４つあり、inetDomainStatus、mailDomainStatus、inetUserStatus、mailUserStatus の順に評価されます。ルール：これらの属性のうちで 最初に active 以外に設定された属性が、ほかのすべての属性に優先します。

カレンダーサービスの場合、評価される属性は、inetDomainStatus、icsStatus (icsCalendarDomain の場合)、inetUserStatus、icsStatus (icsCalendarUser の場合) です。

例
```
inetUserStatus=inactive
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.692

mail

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetLocalMailRecipient, icsCalendarResource, icsCalendarUser

定義
ユーザのプライマリ電子メールアドレスを識別します (ホワイトページ 検索アプリケーションによって取り出され、 表示される電子メールアドレス)。

例
```
mail=jdoe@sesta.com
```

OID
0.9.2342.19200300.100.1.3

mailAccessProxyPreAuth

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`mailDomain`

定義
このドメイン内のユーザを事前に認証が必要な場合は、この属性によって MMP に伝わります。指定できる値は、`yes` または `no` です。

例
`mailAccessProxyPreAuth=yes`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.769

mailAccessProxyReplay

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`mailDomain`

定義

この属性によって、バックエンドのメールサーバでログインシーケンスをやり直す場合の、ログイン文字列の再構成方法を Messaging Multiplexor (MMP) に伝えます。この属性を指定しないと、メッセージアクセスプロキシは、クライアントに使用されるログイン名、クライアントのドメイン、およびこのサービスで使用されるログイン区切り文字に基づいて、応答文字列を構成します。メッセージアクセスプロキシが Sun ONE 以外のバックエンドサーバを使用している場合は、このデフォルト動作を、`mailAccessProxyReplay` 属性でオーバライドします。

構文はログイン文字列の構文であり、次のように置き換えられます。

- `%U`: ログイン名。つまり、{name,domain} を複合している場合のログイン文字列の名前部分
- `%V`: ログイン文字列のドメイン部分
- `%[attr]`:LDAP ユーザ属性の値

例

1. クライアントが `hugo` としてログインし、使用されるサーバの IP アドレスに関連するドメインが `yoyo.com` で、しかも `mailAccessProxyReplay=%U@%V` が指定されている場合、応答されるログイン文字列は `hugo@yoyo.com` になります。
2. クライアントが `hugo` としてログインし、使用されるサーバの IP アドレスに関連するドメインが `yoyo.com` で、さらに `mailAccessProxyReplay=%[surname]@%V` が指定されている場合、応答されるログイン文字列は、クライアントの surname 属性の値になります。
3. クライアントが `hugo+yoyo.com` としてログインし、使用されるサービス用のログイン区切り文字が `+` で、さらに `mailAccessProxyReplay=%U@%V` が指定されている場合、応答されるログイン文字列は `hugo@yoyo.com` になります。
4. クライアントが `hugo` としてログインし、使用されるサーバの IP アドレスに関連するドメインが `yoyo.com` のときに `mailAccessProxyReplay` が指定されておらず、しかも使用されるサービス用のログイン区切り文字が `+` の場合、応答されるログイン文字列は `hugo+yoyo.com` になります。

OID

2.16.840.1.113730.3.1.763

mailAdminRole

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetMailAdministrator`

定義
グループのメンバーに割り当てられる管理ロールを指定します。この属性のための唯一の有効な値は、`storeAdmin` です。この属性 (`inetMailAdministrator`) を含むオブジェクトクラスは、グループのメンバーにメールサーバ部分への管理権限を与えるために、グループエントリでオーバーレイされます。現在のところ、グループのメンバーが継承する唯一の権限は、ドメイン内のどのユーザに対してもプロキシ認証を実行する権限です。このような権限は、グループが定義されているドメインと同じドメイン内のユーザに拡張されます。このような権限の許可には、`mailAdminRole` を `storeAdmin` の値に設定する必要があります。

例
mailAdminRole=`storeAdmin`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.780

mailAllowedServiceAccess

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetMailUser`

定義

アクセスフィルタ (ルール) を格納します。ルールが指定されていない場合、ユーザはすべてのクライアントからすべてのサービスにアクセスできます。ルールはドル記号 ($) で区切ります。ルールの評価方法は次のとおりです。

- クライアント情報がサービスの許可フィルタに一致した場合は、アクセスが許可される
- クライアント情報がサービスの拒否フィルタに一致した場合は、アクセスが拒否される
- 許可フィルタと拒否フィルタのどちらにも一致しない場合は、アクセスが許可される。ただし、許可フィルタが存在し、拒否フィルタがない場合は、一致しないものはアクセスが拒否される。

アクセスフィルタの詳細説明と、管理コンソールまたは config ユーティリティでアクセスを制御するほかの方法については、『iPlanet Messaging Server 管理者ガイド』の「POP、IMAP、および HTTP サービスの設定」を参照してください。

構文ルール

"+" または "-" <daemon_list>":"<client_list>

+ (許可フィルタ) は、クライアントリストにデーモンリストサービスが許可されていることを意味します。

- (拒否フィルタ) は、クライアントリストにデーモンリストサービスが拒否されていることを意味します。

daemon_list は、アクセスが許可または拒否されるサービスを、カンマ区切りで列挙します。

有効なサービス名は、imap、imaps、pop、pops、smtp、smtps、および http です。MMP では、imap、imaps、pop, pops、および smtp をサポートしています。バックエンドでは、imap、pop、smtp、および http をサポートしています。

client_list は、アクセスが許可または拒否されるクライアント (ドメイン) を、カンマ区切りで列挙します。

クライアントリスト (ドメイン) の代わりにワイルドカードを使用することができます。次の表に有効なワイルドカードとその意味を示しています。

表 3-2 有効なワイルドカードおよびその意味

ワイルドカード	意味
ALL, *	汎用のワイルドカード。すべての名前に一致する

表 3-2 有効なワイルドカードおよびその意味

ワイルドカード	意味
DNSSPOOFER	IP アドレスと DNS 名が一致しないすべてのホストに一致する
KNOWN	名前およびアドレスが既知のすべてのホストに一致する。使用するときは十分に注意する
LOCAL	すべてのローカルホスト (ドット文字を含まない名前を持つホスト) に一致する。正規名のみを使用しているシステムの場合は、ローカルホスト名もドットを含むため、このワイルドカードに一致しない
UNKNOWN	名前またはアドレスが不明なすべてのホストに一致する。使用するときは十分に注意する

デーモンリスト (サービス) の代わりに次のワイルドカードを使用できます。ALL, *

Except 演算子

アクセス制御システムは演算子 EXCEPT だけをサポートしています。この EXCEPT 演算子を使用して、ルールのデーモンリストおよびクライアントリストにあるパターンの例外を作成することができます。EXCEPT 節はネストすることができます。ルールに複数の EXCEPT 節がある場合、それらは右から左へ評価します。

EXCEPT の形式は次のとおりです。

```
list 1 EXCEPT list 2
```

リストはサービスまたはクライアントのカンマ区切りリストになります。

例

この例では、複数のサービスでの単一ルールとクライアントリストの 単一ワイルドカードを示しています。

```
mailAllowedServiceAccess=+imap,pop,http:*
```

この例では複数のルールを示していますが、ルールのそれぞれはサービス名を 1 つだけ持つように簡略化しており、クライアントリストに複数のワイルドカードを使用しています。

```
mailAllowedServiceAccess= +imap:ALL$+pop:ALL$+http:ALL
```

2 番目の例は、一般的に Messaging Server LDIF ファイルで主に使用されることが多いものです。

EXCEPT 演算子を使用したルールの例は次のとおりです。

```
mailAllowedServiceAccess=-ALL:ALL EXCEPT server1.sesta.com
```

この例は、ホストマシン server1.sesta.com. のものを除いて、すべてのクライアントのすべてのサービスへのアクセスを拒否しています。

OID
2.16.840.1.113730.3.1.777

mailAlternateAddress

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
inetLocalMailRecipient, pabPerson

定義
この受取人のその他の RFC 822 電子メールアドレス。MTA がこのメールアドレスで 「from」ヘッダーがついたメールを受信した場合、mail 属性の値でヘッダーを書き換えてメールを受信箱に配信します。mailEquivalentAddress 属性も同じように電子メールを配信しますが、ヘッダーは書き換えません。

キャッチオールアドレスとしてユーザまたはグループを示すため、 アドレスのローカル部分を省略することができます。 キャッチオールドメインアドレスは、 MTA が指定されたドメインで正確に一致するユーザアドレスを検出できない場合に、 そのドメインに対してメールを受信するアドレスです。 あらゆるユーザについてバニティドメイン (「軽量ドメイン」ともいう) を示すために、 msgVanityDomainUser の使用によってユーザのプライマリドメインをオーバライドする方法の詳細を確認してください。

例
```
mailAlternateAddress=thief@florizel.com
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.13

mailAntiUBEService

初出
iPlanet Messaging Server 5.2

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
`inetMailUser`

定義
この属性は、次の 2 つの値を取ることができます。

- `spam` - UBE 防止サービスによりスパムメッセージが検出された場合、システム全域の構成オプションで指定された処置を行う
- `virus` - UBE 防止サービスによりメッセージ中のウィルスが検出された場合、システム全域の構成オプションで指定された処置を行う

カスタマは `option.dat` ファイルで次のように指定して、この属性の使用を選択できます。`LDAP_OPTIN=mailAntiUBEService`

例
```
mailAntiUBEService=virus
```

```
mailAntiUBEService=spam
```

OID

mailAutoReplyMode

初出
iPlanet Messaging Server 5.0 (応答モード)、iPlanet Messaging Server 5.2 p1 (エコーモード)

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailUser

定義
ユーザのメールアカウントに自動返信モードを指定します。これは、自動返信がアクティブなメール配信オプションである場合に使用される、自動返信属性のうちの 1 つです。自動返信には次の 2 つのモードがあります。

- echo - このモードは完全には実装されておらず (iPlanet Messaging Server 5.2 p1 に部分的に実装されている)、推奨していない

  mailAutoReplyText または mailAutoReplyTextInternal を追加して、元のメッセージを送信者に返す (エコーする)

- reply - mailAutoReplyText または mailAutoReplyTextInternal 属性にある固定応答を送信者に送る

例
```
mailAutoReplyMode=reply
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.14

mailAutoReplySubject

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailUser

定義
自動返信の件名のテキスト。$SUBJECT を使用して、元のメッセージの件名を応答に挿入することができます。

例
```
mailAutoreplySubject=I am on vacation
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.772

mailAutoReplyText

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailUser

定義
受取人のドメイン内のユーザを除くすべての送信者に送信する自動返信のテキスト。指定しないと、外部ユーザは自動応答を受信しません。

例
```
mailAutoreplyText=Please contact me later.
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.15

mailAutoReplyTextInternal

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailUser

定義
受取人のドメインから送信者に送られる自動返信のテキスト。指定しなければ、内部ユーザがメールの自動返信テキストのメッセージを受け取ります。

例
```
mailAutoreplyTextInternal=Please contact me later.
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.773

mailAutoReplyTimeOut

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
`inetMailUser`

定義
任意の差出人への自動返信の応答に成功するまでの時間間隔 (時間単位)。`mailAutoReplyMode=reply` の場合にだけ、使用します。値が `0` の場合は、メッセージ受信のたびに応答が送り返されます。元のメッセージの「to」または「Cc:」に受取人がリストされた場合のみ、自動返信の応答が送信されます。

例
```
mailAutoreplyTimeout=48
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.771

mailClientAttachmentQuota

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
`mailDomain`

定義
このドメイン内で Messenger Express ユーザが 1 メッセージにつき送信できる添付ファイルの数を示す、正の整数値。値が `-1` の場合、添付ファイルの数に制限はありません。

例
`mailClientAttachmentQuota=12`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.768

mailConversionTag

初出
iPlanet Messaging Server 5.2

構文
cis、multi-valued (ASCII 文字列)

オブジェクトクラス
`inetMailGroup, inetMailUser`

定義
このユーザまたはグループへのメッセージに添付される変換タグ。タグ特有の変換動作は、MTA 構成内で指定されます。

例

OID

mailDeferProcessing

初出
iPlanet Messaging Server 5.2

構文
cis、single-valued (ASCII 文字列)

オブジェクトクラス
inetMailGroup, inetMailUser

定義
現在のユーザエントリまたはグループエントリのアドレス拡張がただちに実行されるか (値は「No」)、またはあとで実行するか (値は「Yes」) を制御します。

値が「Yes」で、しかも現在のソースチャネルが再処理チャネルでない場合は、延期されます。延期は、ユーザまたはグループのアドレスを再処理チャネルに指定することで実行されます。つまり、エイリアスの拡張は中止され、元のアドレス (user@domain) が再処理チャネルのキューに入れられます。

この属性は、MTA オプションの LDAP_REPROCESS を使用して設定することができます。

この属性が存在しない場合、配信オプション処理に関連する延期処理フラグの設定値がチェックされます。属性が設定されると、処理が延期されます。設定されていない場合は、ユーザのデフォルトでは (値が「No」である場合は) すぐに処理することになっています。(メーリングリストなどの) グループのデフォルトは、MTA オプション DEFER_GROUP_PROCESSING によって制御され、デフォルトでは 1

(yes) になります。

例
mailDeferProcessing=No

OID
TBD

mailDeliveryFileURL

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
ces、single-valued

オブジェクトクラス
`inetMailGroup`

定義
メーリングリストに送信されたすべてのメッセージに付加される、ファイルの完全指定ローカルパス。`mailDeliveryOption=file` とともに使用されます。

例
`mailDeliveryFileURL=/home/dreamteam/mail_archive`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.787

mailDeliveryOption

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
`inetMailGroup, inetMailUser`

定義
メール受取人の配信オプションを指定します。受信メッセージの複数の配信経路をサポートするために、ユーザエントリ、およびグループエントリに、複数の値を指定できます。この属性が使用されるオブジェクトクラスが `inetMailGroup` か、または `inetMailUser` かによって、異なる値が適用されます。有効な値は、次のとおりです。

inetMailUser:

- autoreply - autoreply の指定は、ユーザにより定まる。受取人がメッセージの「To:」または「Cc:」ヘッダーフィールドにリストされているメッセージは、自動返信チャネルに送られ、そこで、自動返信メッセージが生成され、元の送信者へ返信されます
- forward - メッセージが転送されるように指定する。転送先のアドレスは、mailForwardingAddress 属性に指定されています
- hold - 受取人は、メッセージの受信を一時的に中止する
- mailbox - ユーザの IMA/POP ストアにメッセージを配信する
- native - ユーザの /var/mail ストアである INBOX にメッセージを配信する。このストアは、バークレー版のメールボックスのフォーマットになっています

inetMailGroup:

- file - mailDeliveryFileURL 属性で指定されたファイルにメッセージが付加される
- members - メッセージがメーリングリストのメンバーに送信される。指定がない場合、デフォルトである members とみなされます。
- members_offline - このグループへの処理を延期させるには、属性にこの値を設定して、option.dat ファイルオプションの DEFER_GROUP_PROCESSING にゼロ (0) を設定します

inetMailUser と inetMailGroup に共通:

- program - MTA の構成で指定されたプログラム承認リストにあるプログラムに、メッセージが配信される。プログラムの名前は、mailProgramdeliveryInfo 属性に指定されます。

例
mailDeliveryOption=mailbox

OID
2.16.840.1.113730.3.1.16

mailDomainAllowedServiceAccess

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
mailDomain

定義
アクセスフィルタ (ルール) を格納します。ルールが指定されていない場合、ドメインはすべてのクライアントからすべてのサービスにアクセスできます。ルールはドル記号 ($) で区切ります。ルールの評価方法は次のとおりです。

- クライアント情報がサービスの許可フィルタに一致した場合は、アクセスが許可される
- クライアント情報がサービスの拒否フィルタに一致した場合は、アクセスが拒否される
- 許可フィルタと拒否フィルタのどちらにも一致しない場合は、アクセスが許可される。ただし、許可フィルタが存在し、拒否フィルタがない場合は、一致しないものはアクセスが拒否される。

アクセスフィルタの詳細説明と、管理コンソールまたは config ユーティリティでアクセスを制御するほかの方法については、『iPlanet Messaging Server 管理者ガイド』の「POP、IMAP、および HTTP サービス設定」を参照してください。

構文ルール
"+" または "-" <daemon_list>":"<client_list>

+ (許可フィルタ) は、クライアントリストにデーモンリストサービスが許可されていることを意味します。

- (拒否フィルタ) は、クライアントリストにデーモンリストサービスが拒否されていることを意味します。

daemon_list は、アクセスが許可または拒否されるサービスを、カンマ区切りで列挙します。

有効なサービス名は、imap、imaps、pop、pops、smtp、smtps、および http です。MMP では、imap、imaps、pop, pops、および smtp をサポートしています。バックエンドでは、imap、pop、smtp、および http をサポートしています。

client_list は、アクセスが許可または拒否されるクライアント (ドメイン) を、カンマ区切りで列挙します。

クライアントリスト (ドメイン) の代わりにワイルドカードを使用することができます。次の表に有効なワイルドカードとその意味を示しています。

表 3-3 有効なワイルドカードおよびその意味

ワイルドカード	意味
ALL, *	汎用のワイルドカード。すべての名前に一致する
DNSSPOOFER	IP アドレスと DNS 名が一致しないすべてのホストに一致する
KNOWN	名前およびアドレスが既知のすべてのホストに一致する。使用するときは十分に注意する
LOCAL	すべてのローカルホスト (ドット文字を含まない名前を持つホスト) に一致する。正規名のみを使用しているシステムの場合は、ローカルホスト名もドットを含むため、このワイルドカードに一致しない
UNKNOWN	名前またはアドレスが不明なすべてのホストに一致する。使用するときは十分に注意する

デーモンリスト (サービス) の代わりに次のワイルドカードを使用できます。*, ALL

Except 演算子

アクセス制御システムは演算子 EXCEPT だけをサポートしています。この EXCEPT 演算子を使用して、ルールのデーモンリストおよびクライアントリストにあるパターンの例外を作成することができます。EXCEPT 節はネストすることができます。ルールに複数の EXCEPT 節がある場合、それらは右から左へ評価します。

EXCEPT の形式は次のとおりです。

```
list 1 EXCEPT list 2
```

リストはサービスまたはクライアントのカンマ区切りリストになります。

例

この例では、複数のサービスでの単一ルールとクライアントリストの 単一ワイルドカードを示しています。

```
mailDomainAllowedServiceAccess=+imap,pop,http:*
```

この例では複数のルールを示していますが、ルールのそれぞれはサービス名を 1 つだけ持つように簡略化しており、クライアントリストに複数のワイルドカードを使用しています。

```
mailDomainAllowedServiceAccess= +imap:ALL$+pop:ALL$+http:ALL
```

2 番目の例は、一般的に Messaging Server LDIF ファイルで主に使用されることが多いものです。

EXCEPT 演算子を使用したルールの例は次のとおりです。

```
mailDomainAllowedServiceAccess=-ALL:ALL EXCEPT server1.sesta.com
```

この例は、ホストマシン `server1.sesta.com` のものを除いて、すべてのクライアントのすべてのサービスへのアクセスを拒否しています。

OID
2.16.840.1.113730.3.1.764

mailDomainCatchallAddress

初出
iPlanet Messaging Server 5.2

構文
cis、single-valued (RFC 822 メールボックス)

オブジェクトクラス
`mailDomain`

定義
ドメイン内のどのユーザまたはグループとも一致しないアドレスを置き換えるアドレスを指定します。

例

OID
TBD

mailDomainConversionTag

初出
iPlanet Messaging Server 5.2

構文
cis、multi-valued (ASCII 文字列)

オブジェクトクラス
`mailDomain`

定義
ドメイン内の任意のユーザへのメッセージに添付する 1 つ以上の変換タグ。タグ特有の変換動作は、MTA 構成内で指定されます。

例

OID
TBD

mailDomainDiskQuota

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
`mailDomain`

定義
内部の監視のためだけに使用されます。このドメイン内のすべてのユーザに許可されているディスク容量 (バイト単位)。これは容量レポートツールで使用されますが、ドメイン全体の容量制限を強制するためには使用されません。

例
```
mailDomainDiskQuota=50000000000
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.766

mailDomainMsgMaxBlocks

初出
iPlanet Messaging Server 5.2

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
`mailDomain`

定義
このドメイン内のアドレスに送信されるすべてのメッセージのサイズを、MTA ブロック単位で制限します。この制限は、このドメインからユーザが送信するメッセージには適用されません。

この属性の値は、`mailMsgMaxBlocks` の値が設定されている場合はその値でオーバライドされます。

例

OID
TBD

mailDomainMsgQuota

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
`mailDomain`

定義
このドメイン内のすべてのユーザに許可されるメッセージの割り当て数。これは容量レポートツールに使用されるもので、ドメイン全体の容量制限を強制するものではありません。

例
```
mailDomainMsgQuota=2000000
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.767

mailDomainReportAddress

初出
iPlanet Messaging Server 5.2

構文
cis、single-valued (RFC 822 メールボックス)

オブジェクトクラス
```
mailDomain
```

定義
この値は、ドメイン内の受取人アドレスに関連する問題を報告するために、DSN 内の「From:」アドレスヘッダーとして使用されます。また、ローカル以外のアドレスに関連するエラーについて、ドメイン内のユーザに問題を報告するときにも使用されます。

この属性が設定されない場合、報告アドレスは、デフォルトの「postmaster@domain」になります。

例

OID
TBD

mailDomainSieveRuleSource

初出
iPlanet Messaging Server 5.2

構文
cis、single-valued (RFC 3028 sieve フィルタ)

オブジェクトクラス
mailDomain

定義
ドメイン内のすべてのユーザの sieve フィルタ。

例

OID
TBD

mailDomainStatus

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
mailDomain

定義
メールドメインの現在のステータス。active、inactive、deleted、または hold の、いずれかの値をとります。この属性は、メールサービスドメインのステータスです。値がないと、ステータスは active として扱われます。不正な値は、inactive とみなされます。

active	このドメイン内のすべてのユーザと、「active」とマークされたドメイン内のすべてのユーザに対し、メールサービスが「active」とマークされます (詳細は、「inetUserStatus」および「mailUserStatus」を参照)。 ただし、「mailAllowedServiceAccess」および「mailDomainAllowedServiceAccess」に指定された制限は引き続き適用されます
inactive	ドメイン内のすべてのユーザに対し、メールサービスが「inactive」とマークされます。ログインしようとしたすべてのユーザは拒否され、ユーザに送信されたメッセージは、一時的な失敗になります。

deleted	メイルドメインが「deleted」とマークされ、猶予期間が経過したあとのパージユーティリティによるクリーンアップ中に削除されます。メールボックスとユーザのメールサービスのオブジェクトクラスは、クリーンアップに含まれます。
hold	ドメイン内のすべてのユーザに送信されたメッセージは、ホールドチャネルへリダイレクトされます。移動中に送信者へメッセージを戻す必要がないようにして、ドメイン内のユーザがあるサーバから別のサーバへ移動する際に、通常この値が使用されます。このステータスでは、すべての受信メッセージがホールドチャネルに送られるので、メッセージを失うおそれがなく、メールボックスを移動することができます。移動が終了するとステータスは「hold」から「active」に変更され、メッセージは、ホールドチャネルから取り除かれ、ユーザのメールボックスが新しく存在する MTA に送信されます。

メールサービスが確認するステータス属性は 4 つあり、`inetDomainStatus`、`mailDomainStatus`、`inetUserStatus`、`mailUserStatus` の順に評価されます。ルール：これらの属性のうちで最初に `active` 以外に設定された属性が、ほかのすべての属性に優先します。

例
```
mailDomainStatus=active
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.770

mailDomainWelcomeMessage

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`mailDomain`

定義
このドメインに追加された新規ユーザに送信されるようこそメッセージ。「$」は、キャリッジリターンを示す記号です。この属性の BNF 構文は、次のとおりです。

```
value::<subjectline>'$'[<opt_headers>]'$$'<body>
subjectline::'Subject:'[<TEXT>]
opt_headers::<header_line>'$'[<opt_headers>]
header_line::<header_name>':'<TEXT>
header_name::<TEXT>
body::[<lines>]
lines::<line>'$'[<lines>]
line::<TEXT>
```

例
```
mailDomainWelcomeMessage=Subject:Welcome!!$X-Endorsement: We'e
good.$$Welcome to the mail system.
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.765

mailEquivalentAddress

初出
iPlanet Messaging Server 5.2

構文
cis、multi-valued (RFC 822 アドレス仕様)

オブジェクトクラス
`inetMailGroup, inetMailUser`

定義
メールのルーティングに関しては `mailAlternateAddress` と同じですが、この属性では、アドレスがヘッダーでプライマリメールアドレスに書き直されません。

例

OID
TBD

mailForwardingAddress

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
`inetMailUser`

定義
この属性には、インバウンドメッセージのための 1 つ以上の転送アドレスが格納されます。 アドレスは、 RFC822 のフォーマットで指定します。
`mailDeliveryOption=forward` が設定されていると、メッセージはリストに載っているアドレスに転送されます。

例
`mailForwardingAddress=kokomo@sesta.com`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.17

mailHost

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetLocalMailRecipient`

定義
この受取人に送信されたメッセージの最終的な宛先を示す、MTA の完全指定ホスト名。

例
mailHost=mail.siroe.com

OID
2.16.840.1.113730.3.1.18

mailMessageStore

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailUser

定義
ユーザのメッセージストアパーティション名を指定します。パーティション名と、ストアのファイルシステムの位置とのマッピングは、メッセージストア構成に保存されます。指定しないと、サーバ構成に指定されたデフォルトのストアパーティションが使用されます。

例
mailMessageStore=secondary

OID
2.16.840.1.113730.3.1.19

mailMsgMaxBlocks

初出
iPlanet Messaging Server 5.2

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroup, inetMailUser

定義
このユーザまたはグループに送信可能なメッセージの最大サイズを MTA ブロック単位で示します。この制限は、ユーザが送信するメッセージには適用されません。

この属性が設定されている場合、mailDomainMsgMaxBlocks の値はオーバライドされます。

例

OID
TBD

mailMsgQuota

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailUser

定義
ユーザに許可される最大メッセージ数は、mailMsgQuota で設定されます。この属性は、ストア内にあるすべてのフォルダの累積値です。の値、または何も指定しなかった場合は、システムのデフォルトの割り当てが適用され、-1 を指定した場合は、メッセージ数に制限を受けません。mailMsgQuota を有効にするには、サーバを構成する際に割り当ての制限を設ける必要があります。ソフトとハード両方の割り当てを設定することができます。詳細は、『iPlanet Message Server 管理者ガイド』を参照してください。

例
mailMsgQuota=2000

OID
2.16.840.1.113730.3.1.774

mailProgramDeliveryInfo

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
ces、multi-valued

オブジェクトクラス
`inetMailGroup,inetMailUser`

定義
プログラムの配信に使用される 1 つ以上のプログラムを指定します。指定されるプログラムは、メッセージングサーバが該当ドメインで実行することを許可した承認リストに入っている必要があります。属性の値で、プログラムへの参照を指定します。その参照は、プログラムの承認リストから解釈されます。解釈された参照から、プログラムのパラメータと実行権も提供されます。
`mailDeliveryOption=program` とともに使用されます。プログラム承認プロセスは、『iPlanet Message Server 管理者ガイド』の第 3 章で詳しく説明されています。

例
`mailProgramDeliveryInfo=procmail`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.20

mailQuota

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailUser, mailDomain

定義
ユーザのメールボックスに割り当てられたディスク領域をバイト単位で指定します。マイナス 1 (-1) という値は、領域の使用率に制限がないことを示しています。ゼロ (0) という値は、ユーザのメールボックスにディスク領域が割り当てられていないことを示しています。

この値が指定されていない (値が空白) 場合は、システムのデフォルトの容量が使用されます。システムのデフォルトは、サーバ構成パラメータの store.defaultmailboxquota に指定されています。構成パラメータの store.quotaenforcement の設定を「on」にすると、メッセージストアに容量を強制することになります。

注 以前のバージョンの Messaging Server では、-2 を使用してシステムのデフォルト容量を示すことができました。現在、これはシステムのデフォルト容量を示す方法としては推奨しておりません。

例
```
mailQuota=5000000
```

または、システムのデフォルト容量の場合 :

```
mailQuota=
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.21

mailRejectText

初出

構文
ces、multi-valued

オブジェクトクラス

定義
この属性の最初の値に格納された最初の行が保存されます。任意の認証属性が原因でメッセージが拒否された場合、このテキストが返されます。このテキストは SMTP の応答に現われる可能性があるので、メッセージング標準に準拠するために、指定する値は US-ASCII 文字に限定されます。

例

OID
TBD

mailRoutingAddress

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetLocalMailRecipient`

定義
予約済

例
TBD

OID
2.16.840.1.113730.3.1.24

mailRoutingHosts

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
mailDomain

定義
このドメイン内のユーザ、および他のドメイン内に含まれているすべてのユーザのルーティングを決定する MTA の、完全指定ホスト名。この属性を指定しないと、すべての MTA がこのドメイン内や他のドメイン内に含まれるユーザ、およびグループのメッセージのルーティングを決定するものとみなされます。

この属性は、管理するドメインが属性に示されている場合にだけシステムに使用されますが、それ以外は無視されます。

例
mailRoutingHosts=mail.siroe.com

OID
2.16.840.1.113730.3.1.759

mailRoutingSmartHost

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
mailDomain

定義
ローカルディレクトリ内で検出されないユーザのメール処理を実行するメールサーバの、完全指定ホスト名。メッセージングサーバのディレクトリ内にないユーザへ送信されたメッセージは、この属性で指定されたメールサーバへ転送されます。この属性は、あるメールシステムから別のメールシステムへの移行処理

が行われ、すべてのユーザがまだメッセージングサーバのディレクトリに移動していないときに便利です。属性が指定されていない場合や値が空だった場合は、ドメイン内のユーザへのすべてのメッセージのルーティングと配信を、ローカルの MTA が実行します。

この属性は、管理するドメインが属性に示されている場合にだけシステムに使用されますが、それ以外は無視されます。

例
`mailRoutingSmartHost=mail.siroe.com`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.760

mailSieveRuleSource

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
`inetMailUser`

定義
iPlanet Delegated Adminstrator for Messaging には、この属性を変更するためのインタフェースが用意されています。ただし、iPlanet Delegated Adminstrator for Messaging を使用しないで SIEVE 規則を追加した場合は、そのユーザ用の SIEVE 規則を作成 / 変更するために続けて使用すると、不安定な SIEVE 規則ができる可能性があります。

この属性の値には、2 つの可能な形式があります。1 つは、RFC 3028 に準拠した完全な sieve スクリプトを含んだ単一の値であり、もう 1 つは、それぞれが sieve スクリプトの断片を含んだ (RFC 3028 に準拠していない) 複数の値です。後者の形式は、Web フィルタ作成インタフェースによって作成されます。それぞれの値を順番に並べて適切につなげるための特別なコードが使用されます。

スクリプトの形式は、次のとおりです。

```
require ["fileinto", "reject"];
# $Rule Info:Order=(1-infinity, or 0 for disabled)
Template=(template-name) Name=(rule name)
if header :is "Sender" "owner-ietf-mta-filters@imc.org"
{ fileinto "filter"; # move to "filter" folder }
if header :is "Subject" "SPAM!"
{ delete }
```

複数の値 (multi-valued) がある形式

ユーザごとに複数の Sieve スクリプトを LDAP に格納することができます。ユーザのすべての規則を含む 1 つの大きなスクリプトでなく、いくつかのより小さな規則スクリプトをユーザインタフェースが取り扱えるようにするために、この属性は複数の値 (つまり、複数の規則) をとります。サーバは、`mailSieveRuleSource` 内のすべての規則を調べます。

順序の指定と情報の編集が可能なユーザインタフェースを提供するために、各規則内にオプションの Sieve コメント行があります。この行の形式は、次のとおりです。

```
# $Rule Info: Order=(1-infinity, or 0 for disabled)
Template=(template-name) Name=(rule name)
```

`Order` フィールドだけがメッセージングサーバに使用されます。その他のフィールドが、ユーザインタフェースに役立つ可能性のあるフィールドのマーカーとして追加されます。`Rule Info` 行のあるすべての規則は、メッセージングサーバに最初に処理されます。`Order=0` の場合、Sieve の評価にこの規則は使用されません。それ以外の場合、規則は提供された順に処理されます (1 が最優先)。`Rule Info` の拡張機能を使用して入力されなかった可能性のある Sieve 規則を適用するために、対応する順序の値ですべての規則が処理されたあとに、検出されたほかの規則が LDAP から受け取った順にサーバによって実行されます。

例

```
mailSieveRuleSource:
require ["fileinto", "reject", "redirect", "discard]
if header :contains "Subject" "New Rules Suggestion
    {redirect "rules@sesta.com" # Forward message }
if header :contains "Sender" "porn.com"
    {discard text:
Your message has been rejected. Please remove this address from your
mailing list.# Reject message, send reply message.}
if size :over 1M
    { reject text:
Please do not send me large attachments.
```

```
Put your file on a server and send me the URL.
Thank you.# Discard message, send reply message.}
if header :contains "Sender" "barkley@sesta.com
    { fileinto complaints.refs # File message}
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.775

mailSMTPSubmitChannel

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetMailUser`

定義
通常、この属性は、保証付きメッセージ配信の設定、またはその他の特別なサービスクラスの設定に関連する要因となります。定義する際に、SMTP の AUTH が成功した場合、この属性によって名前が付けられたチャネルを有効な送信チャネルとみなすように MTA に知らせることです。

例
`mailSMTPSubmitChannel=tcp_tas`

OID

2.16.840.1.113730.3.1.776

mailUserStatus

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス

inetMailUser

定義

次のメールユーザステータスのどちらか 1 つを格納します。値がないと、ステータスは inactive とみなされます。

active	正常な状態。inetUserStatus もアクティブな場合、メールは、mailDeliveryOption や mailSieveRuleSource などのほかのユーザ属性に格納された値ごとに処理されます。active に設定されていない場合は、inetUserStatus のステータスが優先されます。ほかに考慮すべきステータス属性は、inetDomainStatus および mailDomainStatus です。inetDomainStatus と mailDomainStatus の組み合わせでメール配信とドメインへのアクセスが許可されている場合は、inetUserStatus および mailUserStatus からユーザのステータスが決定されます
inactive	ユーザのメールアカウントはアクティブでありません。送信側の MTA へ一時的な失敗が返されます。
deleted	ユーザのメールアカウントが「deleted」とマークされます。送信側の MTA へ永続的な失敗が返され、ユーザメールアカウントがパージユーティリティによるクリーンアップの候補になります。メールボックスへのユーザのアクセスは拒否されます。
hold	ユーザのメールは保留キューに送信され、IMAP、POP、および HTTP 経由のメールボックスへのアクセスが許可されなくなります。ストアサーバ上の MTA と Message Access Server は、この要件に従う必要があります。

値がないと、ステータスは active として扱われます。不正な値はすべて、inactive として扱われます。

メールサービスが確認する ステータス属性は 4 つあり、inetDomainStatus、mailDomainStatus、inetUserStatus、mailUserStatus の順に評価されます。ルール：これらの属性のうちで最初に active 以外に設定された属性が、ほかのすべての属性に優先します。

例

```
mailUserStatus=active
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.778

maxPabEntries

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
ipUser

定義
ユーザが個人アドレスブックのストア内に入れることのできるエントリの最大数を指定します。値が -1 の場合は、エントリ数に制限はありません。この属性が存在しない場合は、個人アドレスブックの構成で指定されたシステムのデフォルトが使用されます。

例
maxPabEntries=1000

OID
2.16.840.1.113730.3.1.705

memberOf

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
dn、multi-valued

オブジェクトクラス
inetAdmin, inetUser

定義
ユーザが所属するメーリングリストの DN を指定します。バックポインタとしてグループのメンバーシップを示します。

例
```
memberOf=cn=Administrators,ou=groups o=sesta.com,o=siroe-isp.com
```

OID
1.2.840.113556.1.2.102

memberOfManagedGroup

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
dn、single-valued

オブジェクトクラス
`ipUser`

定義
このユーザがメンバーであるファミリーアカウントの DN を指定します。

例
```
memberOfManagedGroup=cn=Addams Family, ou=groups,o=sesta.com,o=isp
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.704

memberOfPAB

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
pabPerson, pabGroup

定義
このエントリが属する個人アドレスブックの一意名 (un)。

例
abab=addressbook122FA7

OID
2.16.840.1.113730.3.1.718

memberOfPABGroup

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
pabPerson

定義
このユーザが属する個人グループの一意名。

例
memberOfPabGroup=testgroup15577F2D

OID
2.16.840.1.113730.3.1.719

mgmanAllowSubscribe

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroupManagement

定義
このメーリングリストへの加入を許可されたユーザのドメイン名または電子メールアドレス。

例
mgmanAllowSubscribe=sestsa.com (sesta.com のすべてのユーザがリストに加入できる)

OID
2.16.840.1.113730.3.1.790

mgmanDenySubscribe

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroupManagement

定義
このメーリングリストへの加入を拒否されたユーザのドメイン名または電子メールアドレス。mgmanDenySubscribe 属性は、mgmanAllowSubscribe 属性に優先します。

例
mgmanDenySubscribe=siroe.com

OID
2.16.840.1.113730.3.1.791

mgmanGoodbyeText

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetMailGroupManagement`

定義
予約済

例
TBD

OID
2.16.840.1.113730.3.1.797

mgmanHidden

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetMailGroupManagement`

定義
グループの所有者以外の人々から要求されたリスト内にグループを表示する必要があるかないかを指定する、論理型のフラグ。値が `true` の場合は、グループは隠されます。つまり、リストは表示されません。値が `false` の場合は、リストが表示されます。値がない場合は、`false` の値と同じです。

例
mgmanHidden=true

OID
2.16.840.1.113730.3.1.792

mgmanIntroText

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroupManagement

定義
予約済

例
TBD

OID
2.16.840.1.113730.3.1.796

mgmanJoinability

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroupManagement

定義
グループに加入できるユーザを指定します。指定できる値は、ANYONE、ALL、および NONE です。この属性が指定されない場合のデフォルトは、NONE です。

- ANYONE - 誰でも加入できる
- ALL - ディレクトリまたは iPlanet Delegated Adminstrator for Messaging に認証されたユーザなら誰でも加入できる
- NONE - 所有者だけが非公開の配布リストにメンバーを追加できる

例
```
mgmanJoinability=All
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.793

mgmanMemberVisibility

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
```
inetMailGroupManagement
```

定義
グループのメンバーシップリストを表示する (グループをエクスパンドする) 権利を持つユーザを定義します。属性 mgmanJoinability と同様に、この属性にも、none、all、true、anyone というキーワード値があります。この属性にどのような値を設定しても、グループの所有者は常に、メンバーシップを表示および変更する権利を保持しています。

この属性は、SMTP の EXPN コマンドの一部として、グループをエクスパンドする際にチェックされます。

anyone	誰でもグループをエクスパンドして、メーリングリスト内のメンバーを表示することができます。また、EXPN コマンドが実行されると、MTA がメンバーのアドレスを返します。

all または true	エクスパンションが許可される前に、ディレクトリまたは iPlanet Delegated Aministrator for Messaging へのアクセスが認証される必要があります。
none	グループの所有者だけがグループをエクスパンドできます。

認識不能な値は、none と解釈されます。

例
mgmanMemberVisibility=all

OID
2.16.840.1.113730.3.1.795

mgmanVisibility

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroupManagement

定義

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.794

mgrpAddHeader

初出
Netscape Messaging Server

構文
ces、multi-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroup

定義
各属性値で、メッセージヘッダーが存在する場合にヘッダーに追加するヘッダーフィールドを指定します。

MTA の場合、この属性の値はヘッダーの値です。この属性のこの値は、ヘッダートリミングの ADD オプションを設定するために使用されます。

例
mgrpAddHeader=Reply-To: thisgroup@sesta.com

OID
2.16.840.1.113730.3.1.781

mgrpAllowedBroadcaster

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
ces、multi-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroup

定義
メッセージをメールグループに送信することを許可されたメールユーザを識別します。Messaging Server では、この属性に識別名、あるいは LDAP URI または mailto アドレスを使用する RFC822address のどちらかが入っていることを想定しています (例を参照)。識別名が使用される場合は、group または groupOfUniqueNames タイプのメール可能なエントリ (複数も可) を表している必要があります。この属性のインスタンスが inetMailGroup エントリに存在しない場合は、mgrpAllowedDomain および mgrpDisallowedDomain 属性が使用されないかぎり、メッセージをメールグループに送信できるユーザの制限はありません。

複数の値を使用する場合は、各 URL がアドレスのリストにエクスパンドされ、各アドレスは、現在のエンベロープの送信元のアドレスに対照してチェックされます。一致した場合は、そのメッセージが許可されます。

例

```
mgrpAllowedBroadcaster: ldap:///uid=bjensen, o=siroe.com
mgrpAllowedBroadcaster: mailto:sys50@siroe.com
```

OID

2.16.840.1.113730.3.1.22

mgrpAllowedDomain

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

cis、multi-valued

オブジェクトクラス

`inetMailGroup`

定義

ユーザがそこからメッセージをメールグループに送信することを許可されるドメイン (サブドメインも含む) を識別します。この属性のインスタンスが `inetMailGroup` エントリに存在しない場合は、`mgrpAllowedBroadcaster`、`mgrpDisallowedBroadcaster`、および `mgrpDisallowedDomain` 属性が使用されないかぎり、メッセージをメールグループに送信できるユーザの制限はありません。

例

```
mgrpAllowedDomain=siroe.com
```

この例では、*.siroe.com から送信するすべてのユーザに一致します。

OID

2.16.840.1.113730.3.1.23

mgrpAuthPassword

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
ces、single-valued

オブジェクトクラス
`inetMailGroup`

定義
(メーリング) リストに投稿するために必要なパスワードを指定します。`mgrpBroadcasterPolicy` 属性がパスワードを要求するように設定されている場合は、この属性の値が保存されます。ヘッダーが利用可能になると、「`approved :`」フィールドに対照してこの値が確認されます。確認が終了すると、ヘッダーから「`approved :`」フィールドが削除されます。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.783

mgrpBroadcasterPolicy

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetMailGroup`

定義
許可されるブロードキャスタを決定するためのポリシー。ブロードキャスタのアドレスのリストにアクセスするために必要な、認証のレベルを指定します。指定できる値は、次のとおりです。

- AUTH_REQ, SMTP_AUTH_REQUIRED

  リストに投稿するために、送信者は SMTP の AUTH コマンドを使用して認証される必要があります。

- PASSWORD_REQUIRED, PASSWD_REQUIRED, PASSWD_REQ

  すべての値は、mgrpAuthPassword 属性によって指定されたブロードキャスタリストへのパスワードが、メッセージ内の「approved :header」フィールドになければならないことを示しています。

- NO_REQUIREMENTS

  この値は、特殊な要件が適用されないことを示しています。

例
```
mgrpBroadcasterPolicy=AUTH_REQ
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.3

mgrpDeliverTo

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
ces、multi-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroup

定義
メールグループのメンバーシップを指定する代替方法として使用されます。この属性の値は URL のリストであり、エクスパンドすると、メーリングリストのメンバーのアドレスが一覧表示されます。

Messaging Server は、この属性に RFC 1959 に説明されているフォーマットを使用した LDAP URL が入っていることを想定します。LDAP 検索の結果返されるエントリは、メーリンググループのメンバーです。これは、動的なメーリングリストを作成するために使用されます。

例

```
mgrpDeliverTo=ldap:///ou=Accounting,o=Sesta,c=US??sub?
(&(objectClass=inetMailUser)(objectClass=inetOrgPerson))
```

OID

2.16.840.1.113730.3.1.25

mgrpDisallowedBroadcaster

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文

ces、multi-valued

オブジェクトクラス

`inetMailGroup`

定義

メッセージをメールグループに送信することを許可されていないメールユーザを識別します。この属性のインスタンスが `inetMailGroup` エントリに存在しない場合は、`mgrpAllowedDomain` および `mgrpDisallowedDomain` 属性が使用されないかぎり、メッセージをメールグループに送信できるユーザの制限はありません。

Messaging Server は、この属性に識別名または `RFC822address` のどちらかが入っていることを想定します。識別名が使用される場合は、グループタイプまたは `groupOfUniqueNames` のメール可能なエントリ (複数も可) を表している必要があります。識別名は、RFC 1959 に説明されているとおりの、LDAP URL の形式で表されている必要があります。

複数の値を使用する場合は、各 URL がアドレスのリストにエクスパンドされ、各アドレスは、現在のエンベロープの送信元のアドレスに対照してチェックされます。一致した場合、そのメッセージは許可されません。

例
```
mgrpDisallowedBroadcaster=ldap:///uid=bjensen, o=sesta.com
mgrpDisallowedBroadcaster=mailto:sys50@sesta.com
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.785

mgrpDisallowedDomain

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
`inetMailGroup`

定義
ユーザがそこからメッセージをメールグループに送信することを許可されないドメインを識別します。 この属性は、 メーリングリストを管理するために Messaging Server に使用される、 非公開のエクステンション (拡張) です。 この属性が存在する場合、リストされたドメインからのメッセージは拒否されます。 この属性のインスタンスが `inetMailGroup` エントリに存在しない場合は、 `mgrpAllowedBroadcaster`、`mgrpDisallowedBroadcaster`、および `mgrpAllowedDomain` 属性が使用されない限り、 メッセージをメールグループに送信できるユーザの制限はありません。

例
```
mgrpDisallowedDomain=florizel.com
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.784

mgrpErrorsTo

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
ces、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroup

定義
メッセージがこの (メーリング) リストに送信されたときに生成されるエラーメッセージの受取人。受取人のアドレスは、mailto 構文を使用して指定できます。この構文には、キーワード「mailto:」が前にある RFC 822 の電子メールアドレス、または単純な RFC 822 の電子メールアドレスが含まれます。また、LDAP URL の構文もサポートします。ただし、LDAP URL を使用する場合は、単一のアドレスを作成する URL であることが必要です。

エンベロープオリジネータのアドレスは、この属性の値に設定されます。

例
```
Example 1: mgrpErrorsTo=mailto:jordan@siroe.com
例 2:mgrpErrorsTo=ldap:///uid=ofanning,ou=people,o=siroe.com,o=isp
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.26

mgrpModerator

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
ces、multi-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroup

定義
この (メーリング) リストにメッセージを送信することを許可されたモデレータを識別するための LDAP URI または `mailto` URL。モデレータによって送信されたメッセージだけが、このリストのメンバーに送信されます。モデレータ以外によって送信されたメッセージは、承認および再送信のためにモデレータに転送されます。

この属性の値として指定された URL が一連のアドレスにエクスパンドされ、エンベロープの「送信元」のアドレスと比較されます。アドレスが一致した場合は、グループ処理が続行されます。一致しなかった場合はこの属性の値がグループの URL となり、RFC 822 アドレスの任意のリスト、またはグループに関連付けられた DN がクリアされ、グループの配信オプションが「members」に設定されて、一致しなかった URL に対してそれ以上のグループ処理は行われません。

例
```
mgrpModerator=jordan@sesta.com
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.33

mgrpMsgMaxSize

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetMailGroup`

定義
グループへ送信できる最大のメッセージサイズ (バイト数)。Messaging Server は、この属性のゼロまたは 1 つのインスタンスが、すべての `mailGroup` エントリに存在することを想定します。エントリがないと、グループへのメールに対し、サイズは制限されません。

この属性は廃止されましたが、後方互換性のため、引き続きサポートされます。この属性の代わりに、`mailMsgMaxBlocks` を使用してください。

例
```
mgrpMsgMaxSize=8000
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.3

mgrpMsgPrefixText

初出
実装されていません。

構文
UTF-8 テキスト、single-valued

オブジェクトクラス
```
inetMailGroup
```

定義
メッセージテキストの先頭に追加されるテキストを指定します。書式を指定する必要があります。つまり、テキスト内で書式を指定する場所に CRLF を挿入する必要があります。

例

OID
TBD

mgrpMsgRejectAction

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroup

定義
予約済

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.28

mgrpMsgRejectText

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroup

定義
グループアクセスの失敗時に int を使用するためのエラーテキストを指定します。このテキストは SMTP の応答に現われる可能性があるので、US-ASCII の単一行のテキストに制限されます。この属性内の最初のテキスト行だけを読み取り、その中に 8 ビット文字が含まれていない場合にだけ、この属性が実装されます。これは、SMTP プロトコルの制限です。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.29

mgrpMsgSuffixText

初出
実装されていません。

構文
UTF-8 テキスト、single-valued

オブジェクトクラス
`inetMailGroup`

定義
テキストメッセージに付加されるテキストを指定します。書式を指定する必要があります。つまり、テキスト内に CRLF (キャリッジリターン、ラインフィーダ) を挿入する必要があります。

例

OID
TBD

mgrpNoDuplicateChecks

初出
iPlanet Messaging Server 5.0。iPlanet Messaging Server 5.2 に移行できるように実装されていません。

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetMailGroup`

定義
この属性は、これ以上サポートされません。重複しているかどうかのチェックは、リスト自体の特徴によって制御されます。結合されるリストもあれば、されないリストもあります。

従来の定義 :Messaging Server に、メールグループのメンバーに重複して配信したかどうかのチェックをさせないようにします。ユーザが複数のリストに登録されている場合は、重複した配信を防ぎます。No を指定すると、システムによって重複配信のチェックが行われます。Yes を指定すると、システムによる重複配信のチェックは行われません。

例
mgrpNoDuplicateChecks=yes

OID
2.16.840.1.113730.3.1.789

mgrpRemoveHeader

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroup

定義
各属性値で、メッセージヘッダーが存在する場合にメッセージヘッダーから削除するヘッダーフィールドを指定します。

MTA の場合、この属性の値は、ヘッダートリミングの MAXLINES=-1 オプションを設定するために使用されます。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.801

mgrpRequestTo

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
ces、multi-valued

オブジェクトクラス
`inetMailGroup`

定義
追加要求のメッセージの受取人を識別する LDAP URL または `mailto`。この属性で、配布リスト用に新しいエイリアスが生成されます。このエイリアスは、*distribution_list_name-request@domain* の形式になり、このエイリアスに送信されたメッセージは、`mgrpRequestsTo` 内のリストにある受取人へ転送されます。

例
`mgrpRequestsTo=jordan@sesta.com`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.782

mgrpRFC822MailMember

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
`inetMailGroup`

定義
メールグループへ送信されるメールの受取人を識別します。この属性と uniqueMember 属性の両方で指定されたメールの受取人は、混合される groupOfUniqueNames のメンバーではありません。この属性は、識別名で表すことのできないメールの受取人、または、このグループからメールを送信されることがあっても一意のグループメンバーの特権を持っていないメールの受取人を表します。Messaging Server では、この属性に RFC 822 のメールアドレスが入ることを想定します。通常は、ローカルディレクトリにないグループメンバーのために使用されます。

後方互換性のために rfc822MailMember もサポートされますが、任意の指定グループ内ではこれらの属性のうちの 1 つだけが使用できます。

例
```
mgrpRFC822MailMember=bjensen@siroe.com
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.30

mnggrpAdditionPolicy

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetManagedGroup

定義
予約済

例
TBD

OID
2.16.840.1.113730.3.1.710

mnggrpBillableUser

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
dn、single-valued

オブジェクトクラス
`inetManagedGroup`

定義
このファミリーアカウントまたはユーザのグループの料金を支払う義務がある
ユーザの DN。

例
`mnggrpBillableUser:uid=John,ou=people,o=sesta.com,o=isp`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.711

mnggrpCurrentUsers

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
`inetManagedGroup`

定義
管理グループ内に許可されている現在のユーザ数。この属性は、報告のみを目的
としています。操作には何の影響もありません。

例
`mnggrpCurrentUsers=20`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.714

mnggrpDeletionPolicy

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetManagedGroup`

定義
予約済

例
TBD

OID
2.16.840.1.113730.3.1.709

mnggrpMailQuota

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
`inetManagedGroup`

定義
管理グループ内のすべてのユーザに許可された累積ディスク割当。値が -1 の場合は、管理グループ内のユーザが使用するディスク容量に制限はありません。この属性は、報告のみを目的としています。操作には何の影響もありません。

例
```
mnggrpMailQuota=-1
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.715

mnggrpMaxUsers

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
```
inetManagedGroup
```

定義
管理グループ内で許可されているユーザの最大数。

例
30

OID
2.16.840.1.113730.3.1.713

mnggrpStatus

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`inetManagedGroup`

定義
予約済

例
TBD

OID
2.16.840.1.113730.3.1.712

mnggrpUserClassOfServices

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
`inetManagedGroup`

定義
予約済

例
TBD

OID
2.16.840.1.113730.3.1.716

msgVanityDomain

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`msgVanityDomainUser`

定義
この属性と属性を使用するオブジェクトクラスは現在のリリースでは推奨されていないため、今後のリリースではサポートされない場合があります。サイトでこの機能を使用している場合は使用を停止して、現行のバニティドメインをホストドメインに移行することを検討する必要があります。

ユーザに関連するバニティドメイン名。MTA によるルーティングのためにだけ使用されます。ユーザには引き続きアカウントに関連するプライマリドメインがあり、ユーザは、メッセージアクセスサービスにログインするためにそのプライマリドメインを使用します。ただし、この属性によって、ユーザはバニティドメイン名で表されるネームスペースに、電子メールアドレスを持つことができます。

例

`msgVanityDomain=sesta.com` の場合、ユーザは、ドメイン部分が `@sesta.com` のアドレスを持つことができます。

OID
2.16.840.1.113730.3.1.799

multiLineDescription

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
inetMailGroupManagement

定義
配布リストの詳細説明。ドル記号 ($) を入れると、改行されます。

例
```
multiLineDescription=People who like cats. $And are ambivalent about
people.
```

OID
1.3.6.1.4.1.250.1.2

nickName

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
pabPerson, pabGroup

定義
pabPerson または pabGroup エントリを検索するために使用する短い名前を識別します。

例
```
nickname=Nick
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.720

nsDefaultMaxDeptSize

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
`nsManagedDomain`

定義
委任管理者に管理される、新しく作成された部署のデフォルトのサイズを、ユーザ数で指定します。

例
`nsDefaultMaxDeptSize=20`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.562

nsMaxDepts

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
`nsManagedDept,nsManagedDomain`

定義
このオブジェクトに作成できる、グループエントリの最大数を指定します。

例
`nsMaxDepts=200`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.557

nsMaxDomains

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
nsManagedDomain

定義
このオブジェクトの下に作成できる下位組織の最大数を指定します。

例
nsMaxDomains=50

OID
2.16.840.1.113730.3.1.561

nsMaxMailLists

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single valued

オブジェクトクラス
nsManagedDomain

定義
このエントリに作成できる、メーリングリストの最大数を指定します。

例
nsMaxMailLists=200

OID
2.16.840.1.113730.3.1.559

nsMaxUsers

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
nsManagedDept

定義
このエントリに作成できる、ユーザの最大数を指定します。

例
nsMaxUsers=750

OID
2.16.840.1.113730.3.1.555

nsNumDepts

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
nsManagedDept, nsManagedDomain

定義
このオブジェクト下に存在する入れ子になっている部署数を追跡します。

例
`nsNumDepts=35`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.556

nsNumDomains

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
`nsManagedDomain`

定義
このオブジェクトの下に存在する下位組織数を追跡します。

例
`nsNumDomains=5`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.560

nsNumMailLists

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
nsManagedDomain

定義
このオブジェクト下に存在するメールリストの数を追跡します。

例
nsNumMailLists=200

OID
2.16.840.1.113730.3.1.558

nsNumUsers

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
int、single-valued

オブジェクトクラス
nsManagedDept, nsManagedDomain

定義
このオブジェクトに作成できるユーザの数を追跡します。

例
nsNumUsers=2000

OID
2.16.840.1.113730.3.1.554

nsSearchFilter

初出
現在使用されていません。

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`nsManagedPerson`

定義
今後の開発のために保留されています。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.564

nsdaCapability

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`nsManagedPerson`

定義
ユーザがメールリストを作成できるかどうかを指定します。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.563

nsdaDomain

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`nsManagedPerson`

定義
ユーザの組織を指定します。

例

OID
2.16.840.113730.3.1.600

nsdaModifiableBy

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
dn、single-valued

オブジェクトクラス
`inetManagedGroup,nsManagedDept,nsManagedDomain`

定義
この属性が表示されるオブジェクトの変更アクセス権を持つユーザを指定します。ほかのグループを管理する権限を与えるために ACI とともに使用される管理者グループの DN です。

例
`nsdaModifiableBy=cn=service administrators, ou=group, o=isp`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.565

nswcalDisallowAccess

初出
Netscape™ Calendar Hosting Server

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
icsCalendarUser

定義
このユーザが使用できないカレンダープロトコルを一覧表示します。

例

OID
2.16.840.1.113730.3.1.539

nswmExtendedUserPrefs

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、multi-valued

オブジェクトクラス
`inetMailUser`

定義
この属性は、「送信元」アドレスの並び順など Messenger Express の設定を定義するペアを保持します。この属性の各インスタンスは、*pref_name=pref_value* のタプルです。これは独自の構文であり、次の例は、この属性の説明のみを目的とします。

例
例 1: nswmExtendedUserPrefs=meColorSet=4
例 2: nswmExtendedUserPrefs=meSort=r
例 3: nswmExtendedUserPrefs=meAutoSign=True
例 4: nswmExtendedUserPrefs=meSignature=Otis Fanning$ofanning@sesta.com
例 5: nswmExtendedUserPrefs=meDraftFolder=Drafts

OID
2.16.840.1.113730.3.1.520

o

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
pabPerson

定義
ユーザが所属する会社または組織の名前。これは、「organizationName」の省略形です。

例
organizationName=Company22 Incorporated

または

o = Company22 Incorporated

OID
2.5.4.10

objectClass

初出

iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis

オブジェクトクラス
`inetAdmin, nsManagedDept`

定義
このオブジェクトクラスのオブジェクトを指定します。

例
```
objectClass = person
```

OID
2.5.4.0

organizationName

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`pabPerson`

定義
ユーザが所属する会社または組織の名前。o と同様。

例
```
organizationName = Company22 Incorporated
```

OID
2.5.4.10

organizationUnitName (「ou」を参照)

ou

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`pabPerson`

定義
ユーザが所属する組織単位の名前。`organizationalUnitName` の省略形。

例
`organizationUnitName=docs`

または

`ou=docs`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.722

owner

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
dn、single-valued

オブジェクトクラス
`inetManagedGroup`

定義
エントリに対して管理権限を持つユーザまたはグループの識別名 (DN) を識別します。

例
```
owner= cn=John Smith, o=Sesta, c=US
```

OID
2.5.4.32

pabURI

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`ipUser`

定義
このユーザ用の個人アドレスブックのエントリのコンテナを指定する LDAP URI。`ldap://`*server*`:`*port*`/`*container_dn* の形式をとり、次のように定義されます。

- *server* - 個人アドレスブックの LDAP サーバのホスト名
- *port* - 個人アドレスブックの LDAP サーバのポート
- *container_dn* - ユーザ用のすべての PAB エントリが作成されるサブツリーの DN

例
```
pabURI=ldap://ldap.siroe.com:389/ou=ed,ou=people,o=sesta.com,o=isp,
o=pab
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.703

postalAddress

初出
LDAP

構文
cis

オブジェクトクラス
`icsCalendarResource`

定義
エントリのメーリングアドレスを識別します。このフィールドには複数の行が含まれることになっています。LDIF フォーマットで表す場合、各行はドル記号 ($) で区切る必要があります。

テキスト内で実際のドル記号 ($) や円記号 (\) を表す場合は、それぞれ \24 と \5c の 16 進数値でエスケープしてください。たとえば、次の文字列を表すとします。

```
The dollar ($) value can be found
in the c:\cost file.
```

実際に指定する文字列は、次のようになります。

The dollar(\24) value can be found$in the c:\5ccost file.

例
`postalAddress = 123 Oak Street$Anytown, CA$90101`

OID
2.5.4.16

preferredLanguage

初出
iPlanet Messaging Server 5.0, iPlanet Calendar Server 5.1

構文
RFC 2798、cis、single-valued

オブジェクトクラス
icsCalendarUser, mailDomain, inetMailGroup

定義
優先されるユーザの書き言葉または話し言葉。この属性の値は、HTTP Accetpt-Language ヘッダー値の構文に準拠していなければなりません。

例
```
preferredLanguage = fr, en-gb;q=0.8, en;q=0.7
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.39

preferredMailHost

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
mailDomain

定義
このメールドメイン内に新しく作成されたユーザとグループの mailHost 属性を設定するため、Delegated Administrator によって使用されます。

例
```
preferredMailHost=mail.siroe.com
```

OID
2.16.840.1.113730.3.1.761

preferredMailMessageStore

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`mailDomain`

定義
新しく作成されたユーザの `mailMessageStore` 属性を設定するため、Delegated Administrator for Messaging によって使用されます。値がない場合、Delegate Administrator は `mailMessageStore` 属性を空のまま残し、アクセスサーバは、ユーザのメールボックスがサーバインスタンスのデフォルトのパーティションにあるとみなします。

例
primary

OID
2.16.840.1.113730.3.1.762

seeAlso

初出
LDAP

構文
dn

オブジェクトクラス
`groupOfUniqueNames`

定義
このエントリに関連する情報を含んでいる可能性のある別の LDAP エントリを識別します。

例
```
seeAlso=cn=Quality Control Inspectors, ou=manufacturing,
o=Company22, c=US
```

OID
2.5.4.34

sn

初出
LDAP

構文
cis

オブジェクトクラス
`icsCalendarUser`

定義
姓または家族名とも言われる、エントリの苗字を識別します。

例
`surname:jones`

OID
2.5.4.4

telephoneNumber

初出
LDAP

構文
tel

オブジェクトクラス
`domain`

定義
エントリの電話番号を識別します。

例
```
telephoneNumber = 800-555-1212
```

OID
2.5.4.20

uid

初出
LDAP

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`icsCalendarResource`, `icsCalendarUser`

定義
エントリのユーザ ID を識別します。これは、「userid」の省略形です。

例
```
userid = jdoe
```

または

```
uid = jdoe
```

OID
0.9.2342.19200300.100.1.1

un

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
pabPerson, pabGroup, pab

定義
PAB エントリに割り当てられた一意の名前。これもこのオブジェクトクラスによって作成されるエントリに名前をつける属性であり、エントリのタイプ (pab、pabPerson、または pabGroup) に関係なく、すべての PAB エントリの DN を形成するために使用されます。

例
un=Nick

OID
2.16.840.1.113730.3.1.717

uniqueMember

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
dn

オブジェクトクラス
groupOfUniqueNames

定義
名前の一意性を確実にするために、各名前に uniqueIdentifier が指定された名前のグループのメンバーを識別します。uniqueMember 属性の値は、uniqueIdentifer が続く DN です。(uniqueIdentifers は、DN が再使用されたときにサーバによって割り当てられます。削除済み DN への参照インスタンスを検出することが目的です。

例
次の例で、uniqueIdentifier は AAAAA です。

```
uniqueMember=cn=Jane Doe, ou=Quality Control, o=Company22, AAAAA
```

OID
2.5.4.50

userid (「uid」を参照)

userPassword

初出
LDAP

構文
bin、single-valued

オブジェクトクラス
`domain`

定義
この属性で、エントリのパスワードと次の形式の暗号化方法を識別します。

{*encryption method*}encrypted password

基盤とするトランスポートサービスが機密性を保証できないならば、クリアテキストのパスワードを送信することはお勧めできません。クリアテキストを送信すると、承認されていないパーティーにパスワードが公開されてしまう可能性があります。

例
`userPassword={sha}FTSLQhxXpA05`

OID
2.5.4.35

vacationEndDate

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
`userPresenceProfile`

定義
休暇終了日時。日付の形式は、`YYYYMMDDHHMMSSZ` です。`YYYY` は 4 桁の西暦年、`MM` は 2 桁の月、`DD` は 2 桁の日、`HH` は 2 桁の時間、`SS` は 2 桁の秒です。時間は GMT を標準にしています。`Z` は、文字 `Z` です。

現在の日付が属性の `vacationStartDate` および `vacationEndDate` で指定した日付の範囲から外れた場合、「^」の接頭辞がついたすべての配信オプション (DELIVERY_OPTIONS リスト) がオプションのアクティブセットから削除されます。たとえば、DELIVERY_OPTIONS のうちの 1 つが「^*autoreply」で今日の日付が休暇日付の範囲から外れている場合、このオプションはアクティブオプションのリストから削除されます。削除されない場合は、自動返信オプションがアクティブになります。

例
`vacationEndDate=20000220000000Z`

OID
2.16.840.1.113730.3.1.708

vacationStartDate

初出
iPlanet Messaging Server 5.0

構文
cis、single-valued

オブジェクトクラス
userPresenceProfile

定義
休暇開始日時。日付の形式は、YYYYMMDDHHMMSSZ です。YYYY は 4 桁の西暦年、MM は 2 桁の月、DD は 2 桁の日、HH は 2 桁の時間、SS は 2 桁の秒です。時間は GMT を標準にしています。Z は、文字 Z です。

例
vacationStartDate=20000215000000Z

OID
2.16.840.1.113730.3.1.707

一般的な情報

この付録には、次の項目があります。

- LDAP の概要
- 属性の構文
- オブジェクト識別子
- 標準のタイムゾーン

LDAP の概要

Sun ONE/iPlanet™ 製品には、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) で定義されたオブジェクトクラスと属性、および LDAP の基本機能を拡張した標準の LDAP スキーマ用の拡張子が含まれています。

LDAP は、当初ミシガン大学で開発された、X.500 ディレクトリアクセスプロトコルの軽量版です。LDAP は、TCP/IP 上で実行されるディレクトリサービスのインターネット標準となっています。

1 つまたは複数の LDAP サーバには、LDAP ディレクトリを作成するデータが含まれています。LDAP ディレクトリには、階層構造になったオブジェクト指向のエントリ形式で、情報が格納されます。各エントリは、識別名、つまり DN で一意に識別されます。DN は、カンマで区切られた一連の属性と、ディレクトリ情報ツリー内のエントリの位置を一意に指定する値から構成されます。この値は、ディレクトリ階層の最上位までエントリをたどることのできるパス名です。

属性の構文

ディレクトリデータは、属性とその値のペアで表わされます。個々の情報は、記述属性に関連付けられています。

各属性には、対応するシンタックスが定義されています。シンタックスの定義は、その属性が提供する情報のタイプを示します。

表 A-1

シンタックスの種類	省略形	定義
Binary (バイナリ)	bin	属性値はバイナリ
Boolean (ブール代数値)	boolean	2 つの値が可能。Yes または No、True または False、On または Off など
Case Exact String (英大小文字を区別する文字列)	ces	値は英大小文字の区別が必要
Case Ignore String (英大小文字を区別しない文字列)	cis	値は英大小文字の区別をしない
Telephone (電話番号)	tel	電話番号 (cis と同じだが、空白とダッシュ (-) が無視される)
Distinguished Name (識別名)	dn	値が DN であることを示す
Integer (整数)	int	値は数値である
Operational (操作)	operational	検索結果に表示されない

各オブジェクトクラスに必須の属性および使用可能な属性については、オブジェクトクラスのリストに含まれています。

特に説明のないかぎり、属性には複数の値を指定できます。つまり、1 つ以上の属性インスタンスを指定できます。単一の値の属性、つまり属性インスタンスを 1 つだけしか指定できない属性は、各属性の定義にある「シンタックス」のヘッダーにそのように記述してあります。

オブジェクト識別子

LDAP および X.500 の標準に準拠するために、すべての属性およびオブジェクトクラスにオブジェクト識別子 (OID) が割り当てられています。OID は整数の連なりであり、通常、ドットで区切った文字列です。OID により、オブジェクト名または属性名を標準規格委員会に最初に申請した者を識別します。

このマニュアルに記載されているオブジェクトおよび属性の中には、まだ OID が割り当てられていないものもあります。

標準のタイムゾーン

次の 92 のタイムゾーンがあります。

Africa/Amman
Africa/Cairo
Africa/Casablanca
Africa/Johannesburg
Africa/Lagos
Africa/Tripoli
Africa/Windhoek
America/Adak
America/Anchorage
America/Buenos_Aires
America/Caracas
America/Chicago
America/Costa_Rica
America/Cuiaba
America/Denver
America/Godthab
America/Grand_Turk
America/Halifax
America/Havana
America/Indianapolis
America/Los_Angeles
America/Miquelon
America/New_York
America/Phoenix
America/Port-au-Prince
America/Santiago
America/Sao_Paulo

America/St_Johns
Asia/Alma-Ata
Asia/Anandyr
Asia/Aqtau
Asia/Aqtobe
Asia/Baku
Asia/Bangkok
Asia/Beirut
Asia/Bishkek
Asia/Calcutta
Asia/Dacca
Asia/Irkutsk
Asia/Jerusalem
Asia/Kabul
Asia/Kamchatka
Asia/Karachi
Asia/Katmandu
Asia/Krasnoyarsk
Asia/Magadan
Asia/Novosibirsk
Asia/Rangoon
Asia/Riyadh
Asia/Shanghai
Asia/Tehran
Asia/Tokyo
Asia/Ulan_Bator
Asia/Vladivostok
Asia/Yakutsk
Asia/Yekaterinburg
Asia/Yerevan
Atlantic/Azores
Atlantic/Cape_Verde
Atlantic/South_Georgia
Atlantic/Stanley
Australia/Adelaide
Australia/Brisbane
Australia/Darwin
Australia/Hobart
Australia/Lord_Howe
Australia/Sydney
Europe/Bucharest
Europe/Istanbul
Europe/London

Europe/Minsk
Europe/Moscow
Europe/Paris
Europe/Riga
Europe/Samara
Europe/Simferopol
Europe/Warsaw
Pacific/Apia
Pacific/Auckland
Pacific/Chatham
Pacific/Easter
Pacific/Fiji
Pacific/Gambier
Pacific/Guadalcanal
Pacific/Honolulu
Pacific/Kiritimati
Pacific/Marquesas
Pacific/Norfolk
Pacific/Noumea
Pacific/Pitcairn
Pacific/Rarotonga
Pacific/Tongatapu

用語集

Administration Server 管理者 (administration server administrator) Directory Server に接続していない場合でも、 サーバの起動および停止を行う管理権限を持つユーザ。 Administration Server 管理者は、 ローカルサーバグループ内のすべてのサーバに対する制限されたサーバに関する作業 (通常はサーバの再起動と停止のみ) を実行できます。 Administration Server をインストールすると、 この管理者のエントリが自動的にローカルに作成されます (この管理者はユーザディレクトリ内のユーザではありません)。

alias 電子メールアドレスの別名。

AUTH SMTP コマンドの 1 つ。 SMTP クライアントがサーバに対して認証方法を指定したり、 認証プロトコル交換を実行したり、 必要に応じて次に続くプロトコルの相互対話で使用するセキュリティ層をネゴシエートしたりできるようにします。

CLI コマンドラインインタフェース。

cn 共通名を表す LDAP エイリアス。

CNAME レコード (CNAME record) ドメイン名のエイリアスをドメイン名にマップする DNS レコードの一種。

Configuration Directory Server 単一サーバまたはサーバのセットの設定情報を保持する Directory Server。

DC ツリー (DC Tree) ドメインコンポーネントツリー。 DNS ネットワーク構造を反映するディレクトリ情報ツリー。 DC ツリー内の識別名は、 `cn=billbob,dc=bridge,dc=net, o=internet` のようになります。

Delegated Administrator for Messaging and Collaboration ドメイン管理者がホストドメインに対してユーザやグループの追加または変更を行うために使用する一連のインタフェース (GUI とユーティリティ)。

Directory Manager　ディレクトリサーバデータベースの管理権限を持つユーザ。 アクセス制御は、 このユーザには適用されません。 Directory Manager はディレクトリのスーパーユーザと考えることができます。

Directory Server　LDAP に基づく iPlanet のディレクトリサービス。 **ディレクトリサービス、Lightweight Directory Access Protocol、Configuration Directory Server、Users and Groups Directory Server** も参照してください。

DIT　**ディレクトリ情報ツリー**を参照してください。

DN　**識別名**を参照してください。

dn　識別名のための LDAP エイリアス。 **識別名**も参照してください。

DNS　**ドメインネームシステム**を参照してください。

DNS エイリアス (DNS alias)　DNS サーバが、 別のホストを指すものとして認識するホスト名 (DNS の CNAME レコードで記述)。 マシンの実際の名前は 1 つだけですが、 1 つまたは複数のエイリアスを持つことができます。 たとえば、 `www.siroe.domain` を現在サーバが置かれている `realthing.siroe.domain` という実際のマシンを指すエイリアスとすることができます。

DNS データベース (DNS database)　ドメイン名 (ホスト名) および対応する IP アドレスのデータベース。

DNS ドメイン (DNS domain)　共通の接尾辞 (ドメイン名) の付いたホスト名を持つコンピュータのグループ。 構文的には、 ピリオド (ドット) で区切られた一連の名前 (ラベル) から成るインターネットドメイン名です。 たとえば `corp.mktng.siroe.com` などです。 **ドメイン**も参照してください。

GUI　グラフィカルユーザインタフェース。

INBOX　メール配信用のユーザのデフォルトメールボックス用に予約されている名前。 `INBOX` は、 大文字と小文字が区別されない唯一のフォルダ名です。 たとえば、 `INBOX`、 `Inbox`、 `inbox` は、 すべてユーザのデフォルトのメールボックスとして有効な名前です。

IP　**インターネットプロトコル**を参照してください。

IP アドレス (IP address)　`198.93.93.10` のような、ドットで区切られた一連の数値で、 イントラネットまたはインターネット上でのマシンの実際の場所を示します。 TCP/IP を使用するホストには、 32 ビットアドレスが割り当てられます。

LDAP　**Lightweight Directory Access Protocol** を参照してください。

LDAP Data Interchange Format (LDIF)　Directory Server (ディレクトリサーバ) エントリをテキスト形式で表すために使用する形式。

LDAP フィルタ (LDAP filter)　特定の属性または属性値の有無に基づいて一連のエントリを指定する方法。

LDAP レフェラル (LDAP referrals)　別の LDAP エントリへのシンボリックリンク (レフェラル) から成る LDAP エントリ。 LDAP レフェラルは、 LDAP ホスト名と識別名で構成されます。 通常、 LDAP レフェラルは、 データを複製せずに、 既存の LDAP データを参照するために使用されます。 また、 移動される可能性のある特定のエントリに依存するプログラムの互換性を維持するためにも使用されます。

LDAP 検索文字列 (LDAP search string)　ディレクトリ検索に使用される属性を定義する、 置換可能なパラメータを含む文字列。 たとえば、「uid=%s」という LDAP 検索文字列は、 ユーザ ID 属性に基づく検索であることを意味します。

LDAP サーバ (LDAP Server)　LDAP ディレクトリを管理し、 そのディレクトリに対するクエリー (問い合わせ) サービスを提供するソフトウェアサーバ。 iPlanet Directory Services は LDAP サーバの実装です。

LDBM　LDAP Data Base Manager の略。

LDIF　**LDAP Data Interchange Format** を参照してください。

Lightweight Directory Access Protocol (LDAP)　TCP/IP を介して複数のプラットフォーム上で実行できるように設計されたディレクトリサービスプロトコル。 X.500 Directory Access Protocol (DAP) を簡素化したもので、 複数の Sun ONE/iPlanet サーバ上のユーザプロファイル、 メールリスト、 設定データなどの情報の格納、 検索、 および配布を単一の場所で管理できるようにします。 iPlanet Directory Server は、 LDAP プロトコルを使用します。

Messaging Server 管理者 (Messaging Server administrator)　iPlanet Messaging Server インスタンスのインストールや管理を含む権限を持つ管理者。

OID　「*オブジェクト識別子 (OID) (object identifier)*」を参照。

OSI ツリー (OSI tree)　Open Systems Interconnect (開放型システム間相互接続) ネットワーク構文を反映するディレクトリ情報ツリー。 OSI ツリー内の識別名は、 `cn=billt,o=bridge,c=us` のようになります。

RDN　相対識別名。 実際のエントリ自体の名前。 この文字列にエントリの祖先を付加すると完全な識別名になります。

RFC　Request For Comments の略。 1969 年に開始されたドキュメントシリーズで、 インターネットの一連のプロトコルと、 関連する実験について記述されています。 インターネット標準について記述した RFC の数はわずかですが、すべてのインターネット標準が RFC として公開されています。 `http://www.imc.org/rfcs.html` を参照。

Sieve　メールのフィルタリング言語。

SIMS　Sun Internet Mail Server の略。

sn　苗字を表すエイリアスディレクトリ属性。

TCP　**Transmission Control Protocol** を参照してください。

TCP/IP　**Transmission Control Protocol/Internet Protocol** を参照してください。

Transmission Control Protocol (TCP)　2 つのホスト間での信頼性の高い接続指向のストリームサービスを提供するインターネットプロトコル群内の基本トランスポートプロトコル。

Transmission Control Protocol/Internet Protocol (TCP/IP)　インターネットプロトコルで使用される複数のネットワークプロトコルの総称。この名前は、トランスポート層のプロトコルである TCP (Transmission Control Protocol) とネットワーク層のプロトコルである IP (Internet Protocol) の 2 つの主要ネットワークプロトコルを指します。

UID　(1) ユーザ識別子。 システムでユーザを識別するための一意の文字列。 ユーザ ID とも呼ばれます。 (2) ユーザ ID (ログイン名) のエイリアスディレクトリ属性。

Users and Groups Directory Server (User/Groups Directory Server)　組織内のユーザおよびグループに関する情報を保持する Directory Server。

アカウント (account)　特定のユーザまたはユーザグループを定義する情報。 この情報には、 ユーザやグループの名前、 1 つまたは複数の有効な電子メールアドレス、 および電子メールの配信方法と配信先が含まれます。

アクセス制御 (access control)　サーバ、 またはサーバ上のフォルダやファイルへのアクセスを制御する方法。

アクセス制御規則 (access control rules)　特定 (指定された) のディレクトリエントリまたは属性のセットに対するユーザの権限を指定する規則。

アクセス制御情報 (access control information)　アクセス制御リストの単一の情報項目 (ACI)。

アクセス制御リスト (access control list)　ディレクトリに対するユーザやグループのアクセス権を定義するためにディレクトリに関連付けられた一連のデータ (ACL)。

アクセスドメイン (access domain)　指定したドメイン内からの Messaging Server への操作のアクセスを制限します。 たとえば、 アクセスドメインを使用すると、 特定のアカウント宛てのメールを収集できる場所を制限できます。

インターネット (Internet)　TCP/IP プロトコルを使用する世界規模のネットワーク。

インターネットプロトコル (IP) (Internet Protocol)　インターネットおよびイントラネットの基礎となる基本ネットワークレイヤープロトコル。

インターネットプロトコルアドレス (internet protocol address)　**IP アドレス**を参照してください。

オブジェクトクラス (object class)　エントリが記述するオブジェクトの種類と、 そのエントリに含まれる属性のセットを指定するテンプレート。 たとえば、 iPlanet Directory Server では、 `commonname`、 `mail` (電子メールアドレス) 、 `mailHost`、 `mailQuota` などの属性を持つ `emailPerson` オブジェクトクラスが指定されます。

オブジェクト識別子 (OID) (object identifier)　OID は整数の連なりであり、 通常、ドットで区切った文字列です。 OID は、 LSAP および X.500 標準に準拠するように、各属性およびオブジェクトクラスに割り当てられます。

仮想ドメイン (virtual domain)　(1) ISP ホストドメイン。 (2) Messaging Multiplexor によってクライアントのユーザ ID に追加されるドメイン名。 LDAP 検索やメールボックスサーバへのログイン。 **ドメイン**、 **ホストドメイン**も参照してください。

完全指定ドメイン名 (FQDN)。　特定のインターネットホストを識別する一意の名前。 **ドメイン名**も参照してください。

管理権限 (administration privileges)　ユーザ管理の役割を定義する一連の権限。

管理者 (administrator)　定義済みの一連の管理権限を持つユーザ。 **構成管理者、Directory Manager、Administration Server 管理者、サーバ管理者、メッセージストア管理者、トップレベル管理者、ドメイン管理者、組織管理者、ファミリーグループ管理者、メールリスト所有者**も参照してください。

管理対象オブジェクト (managed object)　設定可能な属性の集まり。 たとえば、ディレクトリサービスの属性の集まりです。

管理ドメイン (administration domain)　管理制御の対象範囲。 **ドメイン**も参照してください。

共有フォルダ (shared folder)　複数のユーザが読み取り可能なフォルダ。 共有フォルダに対しては所有者が指定されます。所有者は、 フォルダに対する読み取りアクセス権を指定したり、 共有フォルダからメッセージを削除したりできます。 共有フォルダにはモデレータを指定することもできます。モデレータは、 受信メッセージの編集、 ブロック、 転送を行うことができます。 共有できるのは、 IMAP フォルダだけです。 **個人用フォルダ**も参照してください。

グループ　識別名によって編成された LDAP メールエントリのグループ。 通常は、 メールリストとして使用されますが、 グループのメンバーに特定の管理権限を与えるために使用される場合もあります。 **動的グループ**、 **静的グループ**も参照してください。

検索ベース (search base)　**ベース DN** を参照してください。

構成管理者 (configuration administrator)　Sun™ ONE/ iPlanet™ トポロジ全体のサーバおよび構成ディレクトリデータの管理権限を持つユーザ。 構成管理者は、 Sun ONE/iPlanet トポロジ内のすべてのリソースに無制限にアクセスできます。 ほかの管理者にサーバアクセス権を割り当てることができる唯一の管理者です。 構成管理者は、 管理者グループとそのメンバーが配置されるまで初期の管理構成を管理します。

個人用フォルダ (personal folder)　所有者だけが読み取り可能なフォルダ。 **共有フォルダ**も参照してください。

コマンドラインインタフェース　コマンドラインから実行できるコマンド。 ユーティリティとも呼ばれます。

サーバ管理者 (server administrator)　サーバ管理タスクを実行するユーザ。 サーバ管理者は、 タスク ACI に基づいて、 特定のサーバへの作業に制限付きのアクセス権を提供します。 構成管理者が、 ユーザにサーバへのアクセス権を割り当てる必要があります。 サーバへのアクセス権を与えられたユーザは、 サーバ管理者となり、 サーバへのアクセス権をユーザに与えることができます。

サブドメイン (subdomain)　ドメインの一部。 たとえば、 `corp.siroe.com` というドメイン名では、 `corp` は、ドメイン `siroe.com` のサブドメインを示します。 **ホスト名、完全指定ドメイン名**も参照してください。

サブネット (subnet)　ホスト ID のブロックを識別する、 IP アドレスの一部分。

使用可能な属性 (allowed attributes)　特定のオブジェクトクラスを使用するエントリについて指定できるが、 必須ではない属性。 **属性、必須の属性**も参照してください。

識別名 (distinguished name)　ディレクトリ情報ツリー内のエントリの位置を一意に指定する、 カンマで区切られた一連の属性と値。 通常、 DN と略記されます。

上位参照 (upper reference)　ディレクトリ情報ツリー (DIT) 内で、ディレクトリサーバの名前付きコンテキストの上位にある名前付きコンテキストを保持するディレクトリサーバを示します。

スキーマ (schema)　iPlanet Directory Server 内にエントリとして格納できる情報のタイプの定義 (構造と構文を含む)。スキーマと一致しない情報がディレクトリに格納されていると、ディレクトリにアクセスするクライアントが適切な結果を表示できない場合があります。

従属参照 (subordinate reference)　ディレクトリサーバによって保持されている名前付きコンテキストの子となる名前付きコンテキスト。**知識情報**も参照してください。

静的グループ (static group)　各グループメンバーを列挙することにより静的に定義されたメールグループ。**動的グループ**も参照してください。

相対識別名 (relative distinguished name)　**RDN** を参照してください。

属性 (attributes)　LDAP データは、属性と値のペアとして表されます。個々の情報は、記述属性に関連付けられています。**使用可能な属性、必須の属性**も参照してください。

組織管理者 (organization administrator)　Delegated Administrator for Messaging and Collaboration の GUI または CLI を使用して、組織またはサブ組織内のメールユーザとメールリストの作成、変更、および削除を行う管理権限を持つユーザ。

代替アドレス (alternate address)　アカウントの二次的なアドレス。通常はプライマリアドレスを変化させたものです。1 つのアカウントに複数のアドレスがあると便利な場合があります。

知識情報 (knowledge information)　ディレクトリサービスインフラストラクチャ情報の一部。Directory Server は、知識情報を使用して、情報要求をほかのサーバに渡します。

データストア (data store)　ディレクトリ情報の保存場所。通常はディレクトリ情報ツリー全体の情報が含まれます。

ディレクトリコンテキスト (directory context)　メッセージストアへのアクセスに対して、ユーザとパスワードの認証に使用するエントリの検索を開始するディレクトリツリー情報内のポイント。**ベース DN** も参照してください。

ディレクトリエントリ (directory entry)　識別名で特定されるディレクトリ属性とその値のセット。 各エントリには、 エントリが記述するオブジェクトの種類を指定し、 エントリに含まれる属性のセットを定義するオブジェクトクラス属性が含まれています。

ディレクトリ情報ツリー (directory information tree)　ディレクトリエントリを編成する、 ツリー状の階層構造。 DIT とも呼ばれます。 DIT は、 DNS (DC ツリー) または Open Systems Interconnect ネットーワーク (OSI ツリー) にしたがって編成できます。

ディレクトリ検索 (directory lookup)　ユーザやリソースの名前またはその他の特性に基づき、 ディレクトリ内で特定のユーザやリソースに関する情報を検索するプロセス。

ディレクトリスキーマ (directory schema)　ディレクトリに保存できるデータを定義する一連の規則。

ディレクトリサービス (directory service)　組織内の人材とリソースに関する、 論理的に集中化された情報のリポジトリ。 **Lightweight Directory Access Protocol** も参照してください。

同期 (synchronization)　マスターディレクトリサーバによる複製ディレクトリサーバに対するデータの更新。

動的グループ (dynamic group)　LDAP 検索 URL で定義されるメールグループ。 通常、 ユーザはディレクトリエントリ内で LDAP 属性を設定することによってグループに参加します。

トップレベル管理者 (top-level administrator)　Delegated Administrator for Messaging and Collaboration の GUI または CLI を使用して、 Messaging Server ネームスペース全体のメールユーザ、 メールリスト、 ファミリーアカウント、 およびドメインの作成、 変更、 および削除を行うための管理権限を持つユーザ。 デフォルトでは、 このユーザがトポロジ内のすべてのメッセージサーバに対するメッセージストア管理者となります。

ドメイン (domain)　単一のコンピュータシステムの制御下にあるリソース。 **管理ドメイン、DNS ドメイン、ホストドメイン、仮想ドメイン**も参照してください。

ドメインエイリアス (domain alias)　別のドメインを指すドメインエントリ。 ホストドメインはエイリアスを使用することにより、 複数のドメイン名を持つことができます。

ドメイン管理者 (domain administrator)　Delegated Administrator for Messaging and Collaboration の GUI または CLI を使用して、 ホストドメイン内のメールユーザ、 メールリスト、 およびファミリーアカウントの作成、 変更、 および削除を行うための管理権限を持つユーザ。 デフォルトでは、 このユーザがトポロジ内のすべてのメッセージサーバに対するメッセージストア管理者となります。

ドメイン組織 (domain organization)　組織ツリー内のホストドメインの下にあるサブドメイン。ドメイン組織は、 企業内でユーザとグループのエントリを部門別に編成する場合に有用です。

ドメインホスティング (domain hosting)　共有 Messaging Server 上で 1 つまたは複数のドメインをホストする機能。 たとえば、 `siroe.com` と `sesta.org` の両方のドメインを `siroe.net` メールサーバ上でホストできます。 ユーザは、 ホストドメインとの間でメールの送受信を行います。 メールサーバの名前は、 電子メールアドレスには現われません。

ドメイン名　(1) 電子メールアドレス内で使用されるホスト名。 (2) 管理組織を定義する一意の名前。ドメインにはほかのドメインを含めることができます。ドメイン名は右から左の方向に解釈されます。 たとえば、 `siroe.com` は、 Siroe Company のドメイン名であり、 かつトップレベルの `com` ドメインのサブドメインです。 `siroe.com` ドメインをさらに `corp.siroe.com` などのサブドメインに分割することもできます。 **ホスト名**、 **完全指定ドメイン名**も参照してください。

ドメインネームシステム (DNS) (Domain Name System)　コンピュータが、 ネットワークまたはインターネット上のほかのコンピュータをドメイン名で見つけることができるようにする分散型名前解決ソフトウェア。 システムは、 標準 IP アドレスをホスト名 (`www.siroe.com` など) に関連付けます。 通常、 各マシンはこの情報を DNS サーバから取得します。 DNS サーバは、 ホスト名をインターネットアドレスに変換するための、複製された分散型のデータ照会サービスを提供します。 **A レコード**、 **MX レコード**、 **CNAME レコード**も参照してください。

名前解決 (name resolution)　IP アドレスを対応する名前にマップするプロセス。 **DNS** も参照してください。

名前付きコンテキスト (naming context)　ディレクトリ情報ツリーの特定の接尾辞。 DN によって識別されます。 iPlanet Directory Server では、 特定のタイプのディレクトリ情報が名前付きコンテキストに格納されます。 たとえば、 Siroe Corporation のボストンオフィスのマーケティング部門社員すべてのエントリを格納する名前付きコンテキストは、 `ou=mktg, ou=Boston, o=siroe, c=US` のようになります。

名前付き属性 (naming attribute)　ディレクトリ情報ツリーの識別名の最後の属性。 **相対識別名**も参照してください。

認証 (authentication)　(1) iPlanet Messaging Server に対し、 クライアントユーザであることを立証するプロセス。 (2) クライアントまたは別のサーバに対し、 iPlanet Messaging Server であることを立証するプロセス。

ネームスペース (namespace)　LDAP ディレクトリのツリー構造。 **ディレクトリ情報ツリー**も参照してください。

ノード (node)　DIT 内のエントリ。

バインド DN (bind DN)　操作時に Directory Server に対する認証に使用される識別名。

バニティドメイン (vanity domain)　特定のサーバまたはホストドメインではなく、個別のユーザに関連付けられているドメイン名。`MailAlternateAddress` 属性を使用して指定されます。バニティドメインのドメイン名には LDAP エントリがありません。バニティドメインは、個人または小さな組織が、独自のホストドメインをサポートするための管理負荷をかけずに、カスタマイズしたドメイン名を使用する場合に便利です。カスタムドメインとも呼ばれます。

必須の属性 (required attributes)　特定のオブジェクトクラスを使用するエントリ内に存在する必要がある属性。**使用可能な属性、属性**も参照してください。

ベース DN (base DN)　検索が開始されるディレクトリ内の識別名エントリ。検索ベースとも呼ばれます。例 : `ou=people, o=siroe.com`

ファミリーグループ管理者 (family group administrator)　ファミリーグループ内のファミリーメンバーの追加と削除を行うための管理権限を持つユーザ。このユーザは、グループのほかのメンバーにファミリーグループ管理アクセス権を与えることができます。

複製ディレクトリサーバ (replica directory server)　データのすべてまたは一部のコピーを受けとるディレクトリ。

プロトコル (protocol)　情報を交換する 2 つ以上のシステムが従う必要がある規則と、交換されるメッセージに関する公式の記述。

プロビジョニング (provisioning)　iPlanet Directory Server のエントリを追加、変更、または削除するプロセス。これらのエントリには、ユーザ、グループ、およびドメイン情報が含まれます。

ホスト　1 つ以上のサーバが置かれているマシン。

ホストドメイン (hosted domain)　ISP にアウトソースされた電子メールドメイン。ISP は、企業の電子メールサービスを運営および管理し、その企業の電子メールドメインのホスティングを提供します。ホストドメインは、ほかのホストドメインと同一の Messaging Server ホストを共有します。初期の LDAP ベースの電子メールシステムでは、1 つのドメインが 1 つまたは複数の電子メールサーバホストによってサポートされていました。Messaging Server では、複数のドメインを単一のサーバでホストできます。各ホストドメインには、そのドメインのユーザとグループのコンテナを指す LDAP エントリがあります。ホストドメインは、仮想ホストドメインまたは仮想ドメインとも呼ばれます。**ドメイン、仮想ドメイン**も参照してください。

ホスト名 (host name)　ドメイン内の特定マシンの名前。 ホスト名は、 IP ホスト名です。 IP ホスト名としては、「短縮形」のホスト名 (mail など) または完全指定ホスト名が使用されます。 IP ホスト名としては、「短縮形」のホスト名 (mail など) または完全指定ホスト名が使用されます。 完全指定ホスト名は、 ホスト名とドメイン名の 2 つの部分から構成されます。 たとえば、 `mail.siroe.com` は、ドメイン `siroe.com` 内のマシン `mail` を表します。 ホスト名は、ドメイン内で一意にする必要があります。 異なるサブドメイン内にある場合は、 組織は、 `mail` という名前を付けた複数のマシンを持つことができます。 たとえば、 `mail.corp.siroe.com` と `mail.field.siroe.com` を使用できます。 ホスト名は、 常に、 特定の IP アドレスにマップされます。 **ドメイン名**、 **完全指定ドメイン名**、 **IP アドレス**も参照してください。

ポート番号 (port number)　ホストマシン上の個々の TCP/IP アプリケーションを指定する番号。転送されるデータの宛先を提供します。

マスターディレクトリサーバ (master directory server)　複製されるデータを含むディレクトリサーバ。

メールボックス (mailbox)　メッセージの格納と表示を行う場所。 **フォルダ**も参照してください。

メールリスト (mail list)　電子メールアドレスのリスト。 メールリストのアドレスを指定することによってリストの電子メールアドレス宛てにメッセージを送信できます。「グループ」とも呼ばれます。

メールリスト所有者 (mail list owner)　メールリストのメンバーの追加と削除を行う管理権限を持つユーザ。

メッセージ割当 (message quota)　特定のフォルダが消費できるディスク容量を定義する制限。

メンバー (member)　メールリスト宛ての電子メールのコピーを受け取るユーザまたはグループ。 メールリスト、 エクスパンド、 モデレータ、 所有者も参照してください。

ユーザアカウント (user account)　サーバにアクセスするためのアカウント。 ディレクトリサーバ上のエントリとして管理されます。

ユーザエントリまたはユーザプロファイル (user entry or user profile)　各ユーザに関する必須および任意の情報を記述するフィールド。 識別名、 氏名、 役職、 電話番号、 ポケベルの番号、 ログイン名、 パスワード、 ホームディレクトリなどがあります。

ユーザフォルダ (user folders)　ユーザの電子メールのメールボックス。

ユーザ割当 (user quota)　電子メールメッセージ用にユーザに割り当てられる容量で、システム管理者によって設定されます。

リバース DNS 検索 (reverse DNS lookup)　数値 IP アドレスを等価な完全指定ドメイン名に解釈するために DNS に照会するプロセス。

ルートエントリ (root entry)　ディレクトリ情報ツリー (DIT) 階層のトップレベルのエントリ。

レフェラル (referral)　Directory Server が情報要求を送信したクライアントに対し、そのクライアントがその要求に対して通信する必要がある DSA (Directory Service Agent) に関する情報とともに情報要求を返すプロセス。 **知識情報**も参照してください。

ローカル部分 (local part)　電子メールアドレスの受取人を識別する部分。**ドメイン部分**も参照。

索引

A

adminRole、属性 62
aliasedObjectName、属性 63

B

businessCategory、属性 63

C

calCalURI、属性 64
calFBURL、属性 65
cn、属性 65
commonName、属性 67
countryName、属性 67
co、属性 66

D

daemon_list 74, 119, 130
dataSource、属性 67
dateOfBirth、属性 67
dc (domain component)
　ドメインコンポーネントノード 105
dc (domain component)、属性 68
description、属性 69
domainUIDSeparator、属性 69
domain、オブジェクトクラス 27
domOrgMaxUsers、属性 70
domOrgNumUsers、属性 71

F

facsimileTelephoneNumber、属性 71

G

givenName、属性 72
groupOfUniqueNames、オブジェクトクラス 28

I

icsAdministrator、オブジェクトクラス 28
icsAdminRole、属性 72
icsAlias、属性 73
icsAllowedServiceAccess、属性 74
icsAllowRights、属性 76
icsAnonymousAllowWrite、属性 77
icsAnonymousCalendar、属性 77
icsAnonymousDefaultSet、属性 78
icsAnonymousLogin、属性 78
icsAnonymousSet、属性 79
icsCalendarDomain、オブジェクトクラス 29
icsCalendarDWPHost、オブジェクトクラス 30
icsCalendarGroup、オブジェクトクラス 30
icsCalendarOwned、属性 80
icsCalendarResource、オブジェクトクラス 31
icsCalendarUser、オブジェクトクラス 32
icsCalendar、属性 79
icsCapacity、属性 80
icsContact、属性 81
icsDefaultAccess、属性 81
icsDefaultSet、属性 82
icsDomainAllowed、属性 83
icsDomainNames、属性 84
icsDomainNotAllowed、属性 84
icsDWPBackEndHosts、属性 87
icsDWPHost、属性 87
icsExtendedDomainPrefs、属性 88
icsExtendedGroupPrefs、属性 89
icsExtendedResourcePrefs、属性 89
icsExtendedUserPrefs、属性 90
icsExtended、属性 88
icsFirstDay、属性 94
icsFreeBusy、属性 94
icsGeo、属性 95
icsMandatorySubscribed、属性 95
icsMandatoryView、属性 96
icsPartition、属性 96
icsPreferredHost、属性 97
icsQuota、属性 98
icsRecurrenceBound、属性 98
icsRecurrenceDate、属性 99
icsRegularExpressions、属性 99
icsSessionTimeout、属性 100
icsSet、属性 100
icsSourceHtml、属性 102
icsStatus、属性 102
icsSubscribed、属性 103
icsTimezone、属性 104
inetAdmin、オブジェクトクラス 32
inetCanonicalDomainName、属性 105
inetCOS (サービスクラス)、属性
COS の定義 106
inetDomainAlias、オブジェクトクラス 34
inetDomainAuthInfo、オブジェクトクラス 34
inetDomainBaseDN、属性 106
inetDomainCertMap、属性 107
inetDomainOrg、オブジェクトクラス 35
inetDomainSearchFilter、属性 107
inetDomainStatus、属性 109
inetDomain、オブジェクトクラス 33
inetLocalMailRecipient、オブジェクトクラス 36
inetMailAdministrator、オブジェクトクラス 36
inetMailGroup
mgrpDisallowedDomain による接続 163
inetMailGroupManagement、オブジェクトクラス 38
inetMailGroupStatus、属性 110
inetMailGroup、オブジェクトクラス 37
inetMailUser、オブジェクトクラス 39
inetManagedGroup、オブジェクトクラス 40
inetOrgPerson、オブジェクトクラス 40
inetResourceStatus、属性 111
inetResource、オブジェクトクラス 41
inetSubscriberAccountId 111

inetSubscriberAccountId、属性 111
inetSubscriberChallenge、属性 112
inetSubscriberResponse、属性 113
inetSubscriber、オブジェクトクラス 42
inetUserHttpURL、属性 113
inetUserStatus、属性 114
inetUser、オブジェクトクラス 42
ipUser、オブジェクトクラス 43

L

LDAP の概要 199

M

mailAccessProxyPreAuth、属性 116
mailAccessProxyReplay、属性 116
mailAdminRole、属性 118
mailAllowedServiceAccess、属性 118
mailAlternateAddress、属性 121
mailAntiUBEService、属性 122
mailAutoReplyMode、属性
　自動返信 122
mailAutoReplySubject、属性 123
mailAutoReplyText
　自動返信モードのメールへの接続 123
mailAutoReplyTextInternal、属性 124
mailAutoReplyText、属性 124
mailAutoReplyTimeOut、属性 125
mailClientAttachmentQuota 125
mailClientAttachmentQuota、属性 125
mailConversionTag、属性 126
mailDeferProcessing、属性 127
mailDeliveryFileURL、属性 128
mailDeliveryOption 128
　mailDeliveryOption=forward 139
　mailDeliveryOption=program 142
mailDeliveryOption、属性
　mailDeliveryOption=file 128
mailDomainAllowedServiceAccess、属性 129
mailDomainMsgMaxBlocks、属性 134
mailDomainMsgQuota 134
mailDomainMsgQuota、属性 134
mailAllowedServiceAccess
　mailDomainStatus による接続 136
mailDomainAllowedServiceAccess
　mailDomainStatus による接続 136
mailDomainStatus、属性 136
mailDomainWelcomeMessage、属性 137
mailDomain、オブジェクトクラス 44
mailEquivalentAddress、属性 138
mailForwardingAddress、属性 139
mailHost
　設定 191
mailHost、属性 139
mailMessageStore
　設定 192
mailMessageStore、属性 140
mailMsgMaxBlocks、属性 140
mailMsgQuota、属性 141
mailProgramDeliveryInfo、属性 142
mailQuota 142
mailQuota、属性 142
mailRejectText、属性 143
mailRoutingAddress、属性 144
mailRoutingHosts、属性 144
mailRoutingSmartHost、属性 145
mailSieveRuleSource、属性 146
mailSMTPSubmitChannel、属性 148
mailto の構文 164
mailUserStatus、属性 148
mail、属性 115
maxPabEntries、属性 150
memberOfManagedGroup、属性 151
memberOfPABGroup、属性 152

memberOfPAB、属性 151
memberOf、属性 150
mgmanAllowSubscribe、属性 152
mgmanDenySubscribe、属性 153
mgmanGoodbyeText、属性 154
mgmanHidden、属性 154
mgmanIntroText、属性 155
mgmanJoinability、属性 155
mgmanMemberVisibility、属性 156
mgmanVisibility、属性 157
mgrpAddHeader、属性 157
mgrpAllowedBroadcaster、属性 158
mgrpAllowedDomain、属性 159
mgrpAuthPassword、属性 160
mgrpBroadcasterPolicy、属性 160
mgrpDeliverTo、属性 161
mgrpDisallowedBroadcaster、属性 162
mgrpDisallowedDomain、属性 163
mgrpErrorsTo、属性 163
mgrpModerator、属性 164
mgrpMsgMaxSize、属性 165
mgrpMsgPrefixText、属性 166
mgrpMsgRejectAction、属性 166
mgrpMsgRejectText、属性 167
mgrpMsgSuffixText、属性 168
mgrpNoDuplicateChecks、属性 168
mgrpRemoveHeader、属性 169
mgrpRequestTo、属性 170
mgrpRFC822MailMember、属性 170
mnggrpAdditionPolicy、属性 171
mnggrpBillableUser、属性 172
mnggrpCurrentUsers、属性 172
mnggrpDeletionPolicy、属性 173
mnggrpMailQuota、属性 173
mnggrpMaxUsers、属性 174
mnggrpStatus、属性 174
mnggrpUserClassOfServices、属性 175
msgVanityDomainUser
　その他のメールアドレスへの接続 121
msgVanityDomainUser、オブジェクトクラス 45
msgVanityDomain、属性 176
MTA
　ホスト名、最終的な宛先 139
　ホスト名、ユーザのドメイン 145
MTA ブロック単位のサイズ制限 134
multiLineDescription、属性 176

N

nickName、属性 177
nsdaCapability、属性 183
nsdaDomain、属性 184
nsdaModifiableBy、属性 184
nsDefaultMaxDeptSize、属性 178
nsManagedDeptAdminGroup、オブジェクトクラス 46
nsManagedDept、オブジェクトクラス 45
nsManagedDomain、オブジェクトクラス 47
nsManagedFamilyGroup、オブジェクトクラス 47
nsManagedISP、オブジェクトクラス 48
nsManagedMailList、オブジェクトクラス 48
nsManagedOrgUnit、オブジェクトクラス 49
nsManagedPerson、オブジェクトクラス 49
nsMaxDepts、属性 178
nsMaxDomains、属性 179
nsMaxMailingLists、属性 179
nsMaxUsers、属性 180
nsNumDepts、属性 180
nsNumDomains、属性 181
nsNumMailLists、属性 181
nsNumUsers、属性 182
nsSearchFilter、属性 182
nsUniquenessDomain、オブジェクトクラス 50
nswcalDisallowAccess、属性 185
nswmExtendedUserPrefs、属性 185

O

objectClass、属性 187
OID 201
organizationName、属性 187
organizationUnitName 188
organizationUnitName、属性 188
ou (organizationUnitName)、属性 188
owner、属性 188
o、属性 186

P

pabGroup、オブジェクトクラス 52
pabPerson、オブジェクトクラス 52
pabURI、属性 189
pab、オブジェクトクラス 51
postalAddress、属性 190
preferredLanguage、属性 190
preferredMailHost、属性 191
preferredMailMessageStore、属性 192

R

RFC 1959 162
RFC 2256 34
RFC 2739 64
RFC 2798 190
RFC 822 36, 158, 162, 164
  mgrpRFC822MailMember 170
  その他の電子メールアドレス 121

S

seeAlso、属性 192
sieve 規則 146
sn、属性 193

T

telephoneNumber、属性 193

U

uid、属性 194
uniqueMember、属性 195
un、属性 194
userid、属性 196
userPassword、属性 196
userPresenceProfile、オブジェクトクラス 53

V

vacationEndDate、属性 197
vacationStartDate、属性 197

W

Web コンテンツ
  公開 113

あ

アクセス
  再起動 114
  削除 114
  中断 114
アクセスフィルタ
  ユーザ 119, 130

い

一意名 (un)
　個人アドレスブック 152
　個人グループ 152

え

エコー 123
エラーメッセージ 163

お

オブジェクトクラス
　定義 27
オブジェクトクラスのリスト
　オブジェクトクラス
　　リスト 25
オブジェクト識別子 201

か

カレンダー 64
　デフォルトの URI 64
　繁忙時のデータ 65
カレンダーグループ 101
容量
　mnggrpMailQuota 173
管理グループ
　現在のステータス 174
　最大ユーザ数 174
　請求可能なユーザ 172
　ユーザ数 172
　累積ディスク容量 173

き

キャッチオールアドレス 121
共有クラス 15
許可された最大メッセージサイズ
　グループへ 165
許可された最大ユーザ数
　管理グループ 174
　ドメイン (domain) 70
許可されたブロードキャスタ 158
　決定のポリシー 161
拒否フィルタ 119, 130
許容された最大の pub エントリ数
　ユーザ 150
許容される最大メッセージ数
　ユーザ 141

く

グループ
　組織内 188
グループ、カレンダー 101
グループのメンバーシップ
　可視性 156
　制限 155

け

権限
　ほかのグループの管理 184
権限、管理 118
件名のテキスト 123
言語
　ユーザによって優先 190

こ

個人アドレスブック (pab)
pab の一意名 (un) 151
コンテナ 189
最大エントリ 150
個人グループの一意名 (un) 152

さ

サービス固有のオブジェクトクラス 15
サブツリー 106
参照、解釈 142

し

識別名 (DN)
管理者のグループ 184
形成、PAB エントリ内 195
請求可能なユーザ 172
ファミリーアカウント 151
メーリングリスト (mailing list) 151
107
構文、属性 200
事前認証 116
自動応答 124
時間間隔 125
内部 124
自動返信 123, 124, 129
時間間隔 125
内部 124
重複配信 168

す

ステータス
インターネットドメイン 109
インターネットメールグループ 110
インターネットユーザ 114
管理グループ 174
メールドメイン 136
メールユーザ 148
ステータス属性
相互作用 114, 136, 149

せ

請求可能なユーザ 172
制限容量レポートツール
mailDomainMsgQuota 134

そ

組織サブツリー 106
属性
定義 62
リスト 55
属性の構文 200
属性のリスト 55

た

対象読者 11
タイムゾーン、有効値のリスト 201
タグ、プログラム 67
誕生日の属性 67

ち

チャレンジフレーズ 112
応答 113

つ

追加要求メッセージ 170

て

転送先
　モデレータ 165
添付ファイルの容量 125

と

動的なメーリングリスト 162
読者 11
ドメイン (domain)
　バニティ 176
　プライマリ 176
ドメインアクセス
　再起動 109
　削除 109
　中断 109
ドメインエイリアスエントリ 68
　ドメインコンポーネント 68
ドメインコンポーネント 68
ドメイン名
　複数の DC ノード 105
ドメイン名 (DN)
　バニティドメイン (vanity domain) 176
　プライマリドメイン 176
　無効化 70

に

認証 (authentication) 107

は

配信経路 128
配布リスト
　説明 177
バニティドメイン (vanity domain)
　作成 176

ひ

表記上の規則 13
標準のタイムゾーン 201

ふ

ファイル
　ローカルパス 128
ファミリーグループ
　マネージャ 188
フィルタ
　アクセス 119, 130
　拒否 119, 130
プロキシ認証 118
プログラム承認プロセス 142
プログラムの配信 142

ほ

ホスト、定義 214
ホワイトページ検索アプリケーション 115

め

メーリングリスト
　許可されたメンバーシップ 152

拒否されたメンバーシップ 153
グループの表示 154
メールグループ
受信メッセージサイズ 165
メールグループ、許可された受信メールドメイン単位 159
ユーザ単位 158
メールグループ、拒否される受信メールドメイン単位 163
ユーザ単位 162
メールグループのメンバーシップ
可視性 156
制限 155
代替の指定方法 161
メール容量
管理グループ 173
ユーザ 142
メッセージサイズ
メールグループへ 165
メッセージストア
パーティション名 140
メッセージの最大サイズ 141
メッセージ配信、保証 148
メッセージ割当 (message quota) 134

も

モデレータ
メッセージの転送先 165

ゆ

ユーザ 71
ユーザ ID、複合 69
ユーザ ID、複合 108
ユーザ規則 146

よ

容量 142
mailClientAttachmentQuota 125
mailDomainMsgQuota 134
mailMsgQuota 141
ソフト 141
ハード 141

ろ

ローカルパス 128
ログインシーケンス、応答 117
ログイン文字列、再構成 117

わ

割り当てられたディスク領域 143